OLYMPUS

ラジオサーバー
ポケット

PJ-30
PJ-35

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、
製品を正しく安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる
ところに必ず保管してください。

失敗のない録音をするために
試し録りをしてください。

JP

はじめに

・本書の内容については将来予告なしに変更する場合があります。商品名、型番など、最新の情報についてはカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。
・本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点、誤り、記載もれなど、お気づきの点がございましたらカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。
・本書の著作権はオリンパス株式会社、およびオリンパスイメージング株式会社が所有しております。本書を無断で複製したり、複製物を無断で配布したりすることは著作権法により禁じられています。
・本製品の不適当な使用による万一の損害や、逸失利益、または第三者からのいかなる請求に関しても、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。

商標および登録商標について

・IBM、PC/AT は、International Business Machines Corporation の商標または登録商標です。
・Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Media は Microsoft Corporation の登録商標です。
・microSD と microSDHC は、SD Card Association の商標です。
・Apple、Macintosh、Mac OS は米国アップル社の商標です。
・MP3 オーディオ符号化技術は Fraunhofer IIS 社と Thomson 社からのライセンスに基づき製品化されています。
・Dirac™、Dirac HD Sound™ と は Dirac Reseach AB 社の商標です。
・Dirac HD Sound™ 技術は Dirac Reseach AB 社からのライセンスに基づき製品化されています。

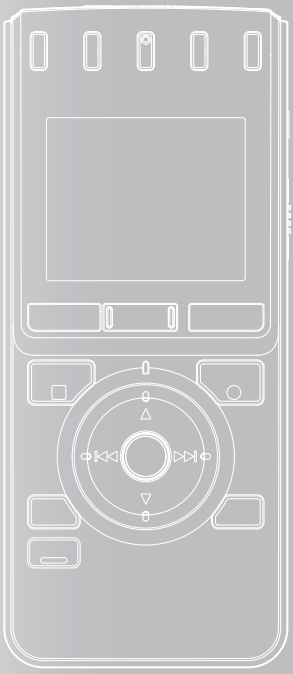
The firmware in this Recorder is based in part on software by the following copyright owner.
Copyright© 2002, Dr Brian Gladman, Worcester, UK. All rights reserved.
LICENSE TERMS
The free distribution and use of this software in both source and binary form is allowed (with or without changes) provided that:

1. distributions of this source code include the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer;
2. distributions in binary form include the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other associated materials;
3. the copyright holder's name is not used to endorse products built using this software without specific written permission.

ALTERNATIVELY, provided that this notice is retained in full, this product may be distributed under the terms of the GNU General Public License (GPL), in which case the provisions of the GPL apply INSTEAD OF those given above.
DISCLAIMER
This software is provided 'as is' with no explicit or implied warranties in respect of its properties, including, but not limited to, correctness and/or fitness for purpose.

その他の本説明書に記載されているすべてのブランド名または商品名は、それらの所有者の商標または登録商標です。

INDEX



目次 P.4

安全に正しくお使いいただくために P.6

お使いいただく前に P.11 1

基本的な機能を使う P.44 2

予約機能を使う P.69 3

設定機能を使う P.82 4

パソコンで使う P.110 5

資料 P.116 6

目次

はじめに

あなたと他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐためにお読みください。

安全に正しくお使いいただくために 6

1 お使いいただく前に

製品に関する基礎的な情報をまとめています。

主な特長 11
各部のなまえ 13
ラジオサーバー本体 13
アンテナステーション 14
表示画面（液晶パネル） 15
ストラップ（市販品）の取り付け ... 18
電源について 19
電池を入れる 19
電源を入れる／切る 21

製品を使う前の準備をしましょう。

初期設定をする 22
使用電池を選択する 22
日付・時刻を合わせる 22
音声ガイドを設定する 23
放送局を地域から登録する 24
電池を充電する 25
アンテナステーションを使って充電する 25
USB 電源を使って充電する 26
ホールドスイッチについて（誤操作を防止する） 28
microSD カードを入れる／取り出す 29
microSD カードを入れる 29
microSD カードを取り出す 30
microSD カードについて 30
アンテナステーションを設置する ... 31
設置のしかた 32
モードの切り替え 36
アンテナステーションを使う 38
本機とアンテナステーションを接続する 38

ファイル管理をする際にお役だてください。

フォルダについて 40
本機録音用フォルダについて 40
フォルダ階層について 41
音楽再生用フォルダについて 42
ラジオのご使用にあたって 43

2 基本的な機能を使う

ラジオを聞いてみましょう。

ラジオまたはワンセグ TV を聞く 44
放送局リストから放送局を選ぶ ... 44
イヤホンで聞く 47
アンテナステーションのスピーカで聞く（PJ-35 のみ） 48
受信中に放送局を変更する 48
マルチチャンネルを聞く（ワンセグ TV のみ） 49
ダイレクトボタン（1 ～ 5）に放送局を登録する 50
リストから放送局を消去する 50

いろんな音源を録音してみましょう。

録音する 51
ラジオまたはワンセグ TV を録音する 51
内蔵マイクで録音する 51
録音終了時間を設定する 54
外部マイクや他の機器から録音する 54

再生してみましょう。

再生する 56

ラジオファイルまたは
音楽ファイルを再生する 56
マイクから録音したファイルを
再生する 57
再生の操作について 58
音楽ファイルについて 61
ワンセグ TV 録音ファイルに
ついて 61

ファイルを操作してみましょう。

**インデックス／テンプマークを
付ける 62**
インデックス／テンプマークを
付ける 62
インデックス／テンプマークを
消去する 62
A-B リピート再生のしかた 63
ファイル検索 64
ファイル検索の操作 64
ファイル検索画面の操作 65
消去する 67
ファイルを消去する 67
フォルダを消去する（ラジオファイ
ルモードのみ） 67

3　予約機能を使う

便利な予約機能を
使ってみましょう。

予約録音の設定 69
予約内容を設定する 69
予約内容を変更する 72
**予約内容のオン・オフを
切り替える 74**
1件ずつ切り替える 74
一括で切り替える 74
予約内容の消去 76
目覚まし機能 77
目覚ましを設定する 77
目覚ましのオン・オフを
切り替える 80
OFF タイマー 81
OFF タイマーを設定する 81

4　設定機能を使う

設定を切り替えることで、より
便利にご使用いただけます。

ラジオ設定 82
ラジオの機能を設定する 82
ファイル設定 87
ファイルにロックをかける 87
ファイルを移動／コピーする 88
ファイルを分割する 89
録音設定 91
マイク録音時の機能を設定する ... 91
再生設定 94
再生時の機能を設定する 94
表示／音設定 99
表示 / 音に関する機能の
設定をする 99
本体設定 103
本機に関する機能を設定する ... 103

5　パソコンで使う

パソコンとの連携操作が
できます。

パソコンの動作環境 110
パソコンに接続する 112
パソコンから取り外す 113
ファイルをパソコンに取り込む ... 114
パソコンの外部メモリとして使う ... 115

6　資料

お困りのことや、製品をもっと知
りたい場合にお役だてください。

警告表示一覧 116
故障かな？と思ったら 118
アクセサリー（別売） 121
用語の説明 122
お手入れ 123
主な仕様 124
NHK 第一放送（周波数リスト） 127
索引 129

安全に正しくお使いいただくために

ご使用前にこの取扱説明書をお読みになって、正しく安全にお使いください。また、お読みになったあとは、いつでも見られるように必ずお手元に保管してください。

安全に関する重要事項

・安全に関する重要事項は、以下の表示と文章で示されます。あなたと他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐために、必ず守ってください。
・表示の意味は、次のようになっています。

⚠ 危険

この表示は、「誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される」内容を示します。

⚠ 警告

この表示は、「誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示します。

⚠ 注意

この表示は、「誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される」内容を示します。

この記号は、決してしてはいけない「禁止」内容を表しています。図または文章で具体的な禁止内容を示します。

この記号は、必ず実行していただく「強制」内容を表しています。

電波障害自主規制について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

使用上のご注意

・直射日光下の車の中や夏の海岸など、高温・多湿の場所に放置しないでください。
・湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。
・水気がついたら、直に乾いた布で水分を拭き取ってください。特に塩分は禁物です。
・テレビ・冷蔵庫などの電気製品の上や近くに置かないでください。
・砂や泥をかぶらないようにご注意ください。修理不可能なほどの故障になることがあります。
・強い振動やショックを与えないでください。
・水気の多い場所で使用しないでください。
・磁気カード（銀行のキャッシュカードなど）をスピーカやイヤホンの近くに置くと、磁気カードに格納されたデータに異常が生じることがあります。

受信に関する注意事項：

・ラジオ / ワンセグ TV 受信の際は、ご使用の場所により受信状態が大きく変わります。受信状態が良好でない場合、窓際に移動したり携帯電話、テレビや蛍光灯などの電化製品から離れて使用してください。また、向きにより受信状態が改善されることがあります。

データ消失に関する注意事項：

・内蔵メモリや microSD カードへの記録内容は、誤操作、機器の故障、修理などで破壊されたり消えることがあります。
・また、内蔵メモリや microSD カードは長時間の保存や繰り返し使用するうちに書き込みや読み出し、消去等ができなくなることがあります。
・大切な記録内容はパソコンのハードディスクや他の記録メディアにバックアップし、保存されることをおすすめします。
・記録されたデータの破壊・消失による損害および逸失利益などに関しては、その内容や原因に関わらず、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。

録音したファイルに関する注意事項：

・本機やパソコンの故障により、録音したファイルが消去されたり再生不能となった場合でも、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
・あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。

本機や microSD カードの廃棄に関する注意事項：

・初期化（☞ P.107）や消去（☞ P.67）を行っても、ファイルの管理情報が更新されるだけで内蔵メモリや microSD カードに記録したデータは完全には消去されません。廃棄の際には、破壊するか、または初期化した後、残り時間がなくなるまで無音録音するなどして、個人情報の流出を防いでください。

本機について

⚠ 警告

分解、修理、改造をしないでください。
感電やケガのおそれがあります。

車両（自転車、バイク、車など）の運転をしながら操作しないでください。
交通事故などの原因となります。

この製品を幼児、子供の手の届く範囲に放置しないでください。
幼児 、子供の近くで使用する場合、細心の注意を払い不用意に製品から離れないでください。幼児、子供には警告・注意の内容の理解ができません。また、加えて以下のような事故のおそれがあります。例えば：
- 誤ってイヤホンコードを首に巻き付け、窒息する。
- 操作を誤りケガや感電事故などを起こす。

microSD ／ microSDHC カード以外は、絶対に本機に入れないでください。
その他のカードを誤って入れた場合は、無理に取り出さず、当社修理センター、またはサービスステーションにご相談ください。

水に落としたり、内部に水や金属、燃えやすい異物が入ったら、
① 速やかに電池を抜いてください。
② お買い上げ店またはオリンパスサービスステーションへ修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の危険があります。

航空機内や病院など使用に制限のある場所でのご使用はお避けになるか、その場所の指示にしたがってください。

異臭、異常音、煙が出ていたりするなどの異常を感じたときは使用を中止してください。
火災・やけどの原因となることがあります。やけどに注意しながらすぐに電池を取り出し、販売店、当社修理センター、またはサービスステーションにご連絡ください（電池を取り外す際は、素手で電池を触らないでください。また可燃物のそばを避け、屋外で行ってください）。

本機をストラップで提げて持ち運んでいるときは、他のものに引っかからないように注意してください。

⚠ 注意

操作のまえから、音量を上げないでください。
聴覚障害、聴力低下を引き起こすおそれがあります。

電池について

⚠ 危険

火の中への投入、加熱、⊕ と ⊖ 極間のショート、分解をしないでください。
火災・破裂・発火・発熱の原因となります。

直射日光のあたる場所、炎天下の車内、ストーブのそばなど高温になる場所で使用・放置しないでください。
液漏れ、発熱、破裂などにより、火災・火傷・ケガの原因となります。

直接ハンダ付けしたり、変形・改造・分解をしないでください。

⊕ と ⊖ 端子を接続しないでください。
発熱や感電・火災の原因になります。

電池を持ち運んだり、保管する際は必ずケースに入れて、端子部分を保護してください。キーホルダーなどの貴金属と一緒に、携帯・保管しないでください。
発熱や感電・火災の原因になります。

電源コンセントや自動車のシガレットライターの差し込み口などに直接接続しないでください。

火気のある場所に電池を置かないでください。

⚠ 警告

電池の極性（⊕ と ⊖）を逆に入れないでください。
電池は、液漏れ、発熱、発火、破裂するおそれがあります。
- 外装シール（絶縁被覆）の破れた電池を使わないでください。
- 長期間使用しない場合、必ず電池を取り出して保管してください。
- 使用済みの電池は接点部分にテープを貼って絶縁し、一般廃棄物として各自治体の指示にしたがって廃棄してください。
- 使えなくなった電池は速やかに本機から取り出してください。液漏れのおそれがあります。

電池の液が目に入った場合は失明のおそれがありますので、こすらず、直ちに水道水などのきれいな水で十分に洗い流したあと、直ちに医師の診断を受けてください。

濡れた手で触ったり持ったりしないでください。
感電・故障の原因となります。

外装に傷や破損がある電池は使用しないでください。
破裂・発熱の原因となります。

充電できないアルカリ電池、リチウム電池などを充電しないでください。

電池は幼児・子供の手の届くところに置かないでください。
電池は幼児・子供が飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだ場合、直ちに医師に相談してください。

万一、使用中に異常な音がする、異常に熱い、焦げ臭い、煙が出るなどの異常を感じたら、
① けがをしないように注意しながら速やかに電池を抜いてください。
② お買い上げ店またはオリンパスサービスステーションへ修理に出してください。放置すると火災や火傷の原因となります。

水や海水などにつけたり、端子部を濡らさないでください。

液漏れ、変色、変形、その他異常が発生した場合、使用を中止してください。

電池の液が皮膚・衣類へ付着すると、皮膚に傷害を起こすおそれがありますので、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。

⚠注意

充電した電池と放電した電池を一緒に混ぜて使用しないでください。

乾電池や容量、種類、銘柄の異なる電池を一緒に混ぜて使用しないでください。

充電池は、同時に充電した充電池をご使用ください。

電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしないでください。

充電池をはじめてご使用になる場合、また長時間使用していなかった場合は、ご使用の前に必ず充電してください。

充電池には寿命があります。指定する条件で充電しても使用時間が短くなったときは寿命と判断し、新しい充電池と取り替えてください。

充電式電池の廃棄に関する注意事項:

使用済みの充電式電池は貴重な資源です。充電式電池を捨てる際には、⊕ と ⊖ 端子をテープなどで絶縁してから最寄の充電式電池リサイクル協力店にお持ちください。

Ni-MH

詳しくは一般社団法人 JBRC ホームページ（http://www.jbrc.com）をご覧ください。

AC アダプタについて

⚠警告

分解、修理、改造をしないでください。

感電やケガのおそれがあります。

内部に水、金属、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

火災や感電の原因となります。

引火性ガスや物質（ガソリン、ベンジン、シンナーなど）の近くで使用しないでください。

爆発や火災、火傷の原因となります。

プラグ先端の ⊕ と ⊖ をショートさせないでください。

火災や火傷、感電の原因となります。

落下や損傷により内部が露出したら、

① 露出した内部に絶対触れないでください。感電、火傷、ケガのおそれがあります。
② 感電 、火傷 、ケガに注意し、直ちに電源プラグをコンセントから抜いてください。
③ お買い上げ店またはオリンパスサービスステーションへ修理に出してください。

水に落としたり、内部に水や金属、燃えやすい異物が入ったら、

① 電源プラグをコンセントから抜いてください。
② お買い上げ店またはオリンパスサービスステーションへ修理に出してください。そのまま使用すると火災や感電の危険があります。

万一、使用中に異常な音がする、異常に熱い、焦げ臭い、煙が出るなどの異常を感じたら、

① 火傷に注意しながら速やかに電源プラグをコンセントから抜いてください。

② お買い上げ店またはオリンパスサービスステーションへ修理に出してください。放置すると火災や火傷の原因となります。

⚠ 注意

濡らしたり、濡れた手で触らないでください。

感電の原因となります。

表示の電源電圧以外で絶対使用しないでください。

電源プラグにほこりをつけたまま、コンセントに差し込まないでください。

電源プラグのコンセントへの差し込みが不完全なまま使用しないでください。

使用しない場合、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源コードを傷つけないでください。

- コードを引っ張って電源プラグをコンセントから抜かないでください。
- コードの上に重いものをのせないでください。
- 熱器具にコードを近づけないでください。
- コードを無理に曲げたり、強く引っ張らないでください。
- 火災や感電の原因となります。

主な特長

- **ワンセグチューナーを搭載。**
  携帯端末向けデジタルテレビ放送（ワンセグ TV）の音声を受信、録音できます（☞ P.44、P.51）。
- **ラジオチューナーを搭載。**
  AM ／ FM ラジオを受信、録音できます（☞ P.44、P.51）。
  ラジオとしてもご使用いただけるほか、IC レコーダーやミュージックプレイヤーとしてもお楽しみいただけます（☞ P.51、P.56）。
- **便利な予約機能を搭載。**
  予約録音：
  日付・時刻での録音や、曜日を指定しての繰り返し予約ができます（☞ P.69、P.74）。
  目覚まし機能：
  設定した時間に合わせてお好きな放送番組や音楽でお目覚めできます（☞ P.77）。
- **便利なファイル検索機能を搭載。**
  ファイルをさまざまな方法で検索できます（☞ P.64）。
- **テレビ受信用アンテナ（UHF アンテナまたはケーブルテレビ）が接続可能。**
  アンテナステーションを同梱。付属の AM ループアンテナや FM ケーブルアンテナおよび TV アンテナのほか、テレビ受信用アンテナ（同軸ケーブル端子）をご使用いただけます（☞ P.31）。
- **放送局の登録で選局が簡単。**
  AM、FM ラジオおよびワンセグ TV は地域を指定すると、選択した地域における代表的な放送局を自動的に登録します（☞ P.82、P.84）。
- **MP3、WMA 形式に対応。**
  MP3（MPEG-1/MPEG-2 Audio Layer3）形式の長時間録音が可能です。外部機器を接続すれば音声入力信号も録音できます（☞ P.54）。
  また、本機で録音したファイルのほか、パソコンから転送した MP3、WMA（Windows Media Audio）形式のファイルを再生できます。
- **記録メディアに対応。**
  メモリ選択機能：
  内蔵メモリのほか、市販の microSD/microSDHC カードにも記録できます（☞ P.29）。
  ファイルの移動／コピー機能：
  内蔵メモリと microSD カード間のファイル移動またはコピーができます（☞ P.88）。
- **高品質な音と大型の操作ボタンを装備したスピーカ付きアンテナステーション（CR19）を同梱（PJ-35 のみ）。**
  アンテナステーションのスピーカに最適化された Dirac HD Sound の高音質効果が楽しめるほか、再生に関する主な操作ボタンを装備しています。語学学習などに便利です。
- **便利な録音機能を搭載。**
  音声起動録音（VCVA）：
  音声に反応して自動的にマイク録音の開始・停止ができます（☞ P.91、P.93）。
  マイク感度の切り替え：
  録音状況に合わせてマイク感度の切り替えができます（☞ P.91、P.92）。
  ノイズフィルタ機能：
  ラジオの耳障りなノイズを低減し、ラジオの受信・録音音声を聞きやすくします（☞ P.82、P.83）。
  OFF タイマー：
  指定した時間で録音が終了します（☞ P.54、P.81）。

- **便利な再生機能を搭載。**
  イントロ再生：
  ファイルのイントロを数秒間再生し、聞きたいファイルを探すことができます（☞ P.99、P.102）。
  早聞き・遅聞き再生：
  放送番組や会議などの内容を早聞きで確認したり、聞き取りにくいところを遅聞きで再生できます（☞ P.60）。
  少し戻る・少し進む再生：
  ファイルの停止中および再生中にボタンを押すと、あらかじめ設定された間隔で戻る、または進みます*。短いフレーズを繰り返し聞くときに便利です（☞ P.59）。
  *「少し進む」機能は PJ-35 のみ。
  シャドーイング再生：
  シャドーイングとは、英語などの音声を聞いた直後に、抑揚およびイントネーションや話すスピードなどをできるだけ正確に再現して話せるまでを繰り返し練習するという語学学習方法のひとつです。
  本機のシャドーイング再生機能は、A-B リピート再生（☞ P.63）の繰り返し区間を、1 回目は通常の音量（ヒアリング練習）で再生し、2 回目は無音または小音量（スピーキング練習）で再生します。この一連の動作を交互に繰り返します。語学学習にお役立てください（☞ P.94、P.96）。
- **音声ガイド機能を搭載。**
  操作状況を音声でお知らせする音声ガイド機能を使用すると、多彩な機能も簡単に操作できます（☞ P.99、P.101）。
- **USB2.0 に対応。**
  パソコンの外部メモリとして、データを高速で転送できます（☞ P.114、P.115）。
- **充電機能を搭載。**
  USB 充電機能またはアンテナステーションを使って充電できます（☞ P.25）。
- **自動時計補正機能を搭載。**
  NHK 第一放送の時報を利用して、設定した時刻に自動で時刻合わせができます（☞ P.103、P.105）。

ワンセグ TV について

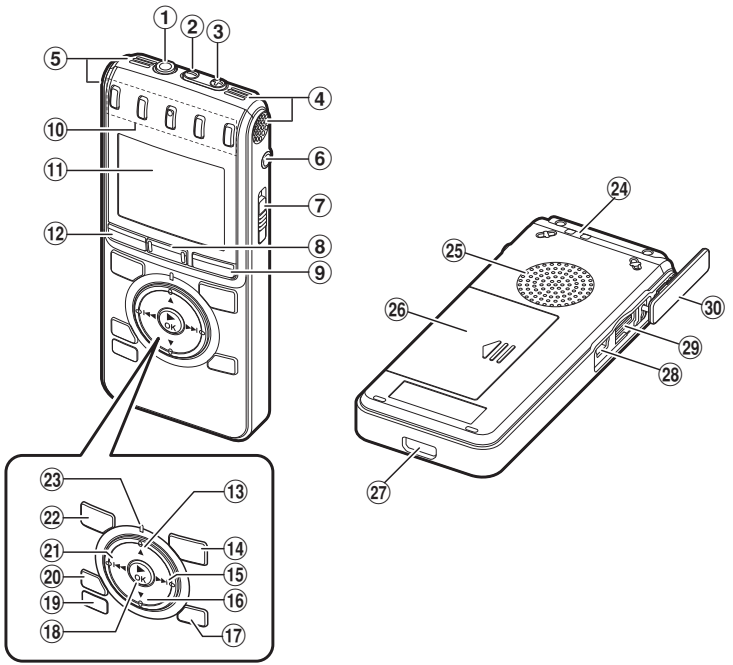
本機では携帯端末向けデジタルテレビ放送であるワンセグ TV の音声を聞くことができます。
「ワンセグ」は地上デジタル放送の 1 つで、移動体端末でも安定して受信ができるように設計されたサービスです。
詳しくは、社団法人デジタル放送推進協会（Dpa）のホームページをご覧ください。
http://www.dpa.or.jp/

ご注意

- 本機は緊急警報放送・データ放送には対応していません。
- ワンセグ TV のサービス地域以外では、ワンセグ TV を楽しむことはできません。また、サービス地域内であっても、地形や構造物などの周囲の環境、本体の設置場所や向き、電波の状況などによっては受信できません。
- 本機は番組名、番組表（EPG）、字幕などの表示機能はありません。
- 通常の地上デジタル放送とワンセグ TV 放送では同じ番組が放送されている場合が多いですが、それぞれ独自の番組が放送されることもあります。

各部のなまえ

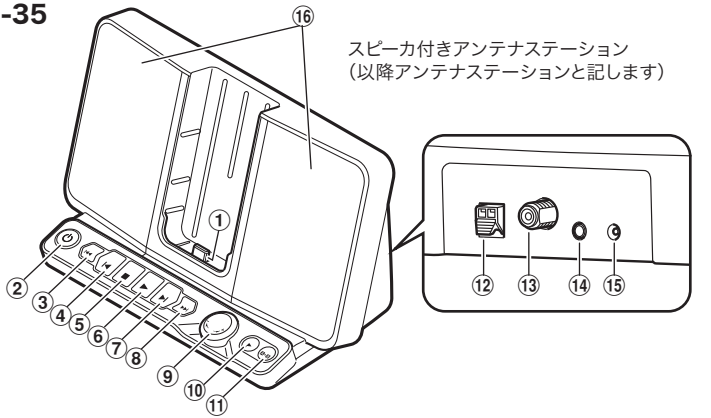
ラジオサーバー本体



① **イヤホン**ジャック
② **ー**ボタン
③ **＋**ボタン
④ 内蔵ステレオマイク(R)
⑤ 内蔵ステレオマイク(L)
⑥ **マイク**ジャック
⑦ **電源／ホールド**スイッチ
⑧ **ラジオファイル**（🖹）ボタン
⑨ **レコーダー**（🎙）ボタン
⑩ ダイレクトボタン
遅聞き（1）ボタン
早聞き（2）ボタン
少し戻る（3）ボタン
インデックス（4）ボタン
A-B（5）ボタン
⑪ 表示画面（液晶パネル）
⑫ **ラジオ／TV／予約**(🔔)ボタン
⑬ ▲ボタン
⑭ **録音**（●）ボタン
⑮ ▶▶I ボタン
⑯ ▼ボタン
⑰ **設定**ボタン
⑱ ▶OK ボタン
⑲ **消去**ボタン
⑳ **戻る／リスト**ボタン
㉑ I◀◀ ボタン
㉒ **停止**（■）ボタン
㉓ 録音表示ランプ
㉔ ストラップ取り付け部
㉕ 内蔵スピーカ
㉖ 電池カバー
㉗ アンテナステーション端子
㉘ USB 端子
㉙ microSD カードスロット
㉚ microSD カード / USB 端子カバー

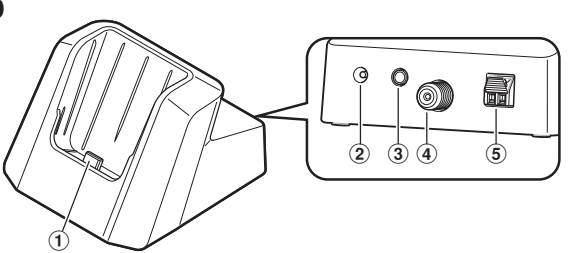
アンテナステーション

PJ -35



① 本機との接続部
② 電源ボタン
LED 表示ランプ
③ **早戻し（I◀◀）**ボタン *
④ **少し戻る（I◀）**ボタン *
⑤ **停止（■）**ボタン *
⑥ **再生（▶）**ボタン *
⑦ **少し進む（▶I）**ボタン
⑧ **早送り（▶▶I）**ボタン *
⑨ **再生スピード**ダイヤル
（セルフリターン式）
⑩ **インデックス**ボタン *
⑪ **A-B リピート**ボタン *
⑫ AM アンテナ接続端子
⑬ 同軸ケーブル接続端子
⑭ 専用 FM アンテナ
接続端子
⑮ AC アダプタ接続端子
⑯ ステレオスピーカ
* 本機と同じ動作をします

PJ -30

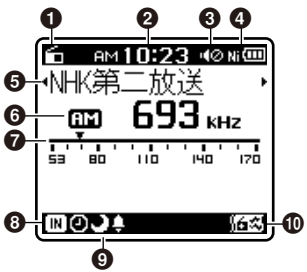


① 本機との接続部
② AC アダプタ接続端子
③ 専用 FM アンテナ接続端子
④ 同軸ケーブル接続端子
⑤ AM アンテナ接続端子

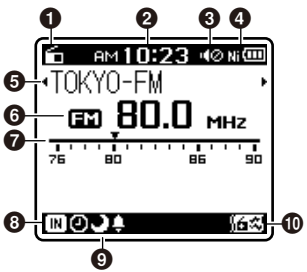
表示画面（液晶パネル）

ラジオモード受信表示画面

AMラジオ受信時：



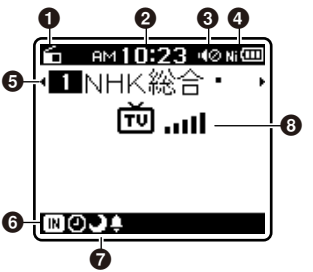
FMラジオ受信時：



❶ ラジオモードアイコン
❷ 時刻表示
❸ 本体スピーカ出力表示
　［］：スピーカ出力する［ON］
　［］：スピーカ出力しない［OFF］
❹ 電池表示
　［］：ニッケル水素充電池表示
　［］：アルカリ電池表示
　［］：AC アダプタ電源表示
❺ 放送局名
❻ 受信バンド表示・周波数表示
❼ 周波数ゲージ
❽ 使用メディア表示
　［］：内蔵メモリ表示
　［］：microSD カード表示
❾ 予約機能表示
　［］：予約録音表示
　［］：OFF タイマー表示
　［］：目覚まし表示
❿ ノイズフィルタ表示

ラジオモード受信表示画面

ワンセグ TV 受信時：

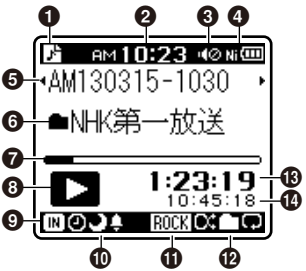


❶ ラジオモードアイコン
❷ 時刻表示
❸ 本体スピーカ出力表示
　［］：スピーカ出力する［ON］
　［］：スピーカ出力しない［OFF］
❹ 電池表示
　［］：ニッケル水素充電池表示
　［］：アルカリ電池表示
　［］：AC アダプタ電源表示
❺ 放送局名
❻ 使用メディア表示
　［］：内蔵メモリ表示
　［］：microSD カード表示
❼ 予約機能表示
　［］：予約録音表示
　［］：OFF タイマー表示
　［］：目覚まし表示
❽ 受信レベル表示

ラジオ・ワンセグ TV 録音時：

❶ 本機の動作状態
　［］：録音表示
　［］：録音一時停止表示
❷ 録音経過時間
❸ 録音可能な残り時間

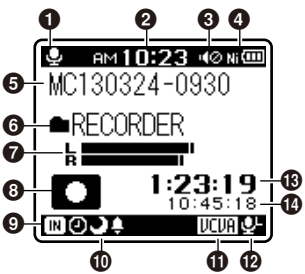
ラジオファイルモード ファイル表示画面



❶ ラジオファイルモードアイコン
❷ 時刻表示
❸ 本体スピーカ出力表示
　［］：スピーカ出力する［ON］
　［］：スピーカ出力しない［OFF］
❹ 電池表示
　［］：ニッケル水素充電池表示
　［］：アルカリ電池表示
　［］：AC アダプタ電源表示
❺ ファイル名
❻ 保存先フォルダ表示
❼ 再生位置バー表示
❽ 本機の動作表示
　［］：停止表示
　［］：再生表示
　［］：早送り表示
　［］：早戻し表示
　［］：早聞き再生表示
　［］：遅聞き再生表示
❾ 使用メディア表示
　［］：内蔵メモリ表示
　［］：microSD カード表示
❿ 予約機能表示
　［］：予約録音表示
　［］：OFF タイマー表示
　［］：目覚まし表示
⓫ イコライザ表示
⓬ 再生モード表示
　［］：フォルダ内再生表示
　［］：リピート表示
　［］：ランダム表示
⓭ 再生経過時間
⓮ ファイル長

レコーダーモード ファイル表示画面

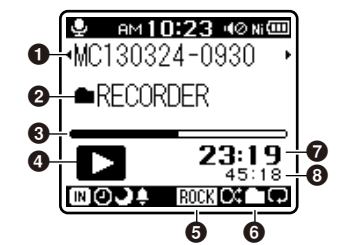
マイク録音時：



❶ レコーダーモードアイコン
❷ 時刻表示
❸ 本体スピーカ出力表示
　［］：スピーカ出力する［ON］
　［］：スピーカ出力しない［OFF］
❹ 電池表示
　［］：ニッケル水素充電池表示
　［］：アルカリ電池表示
　［］：AC アダプタ電源表示
❺ ファイル名
❻ 保存先フォルダ表示
❼ 録音レベルゲージ表示
❽ 本機の動作表示
　［］：録音表示
　［］：録音一時停止表示

❾ 使用メディア表示
　［IN］：内蔵メモリ表示
　［▶］：microSD カード表示
❿ 予約機能表示
　［⊙］：予約録音表示
　［◔］：OFF タイマー表示
　［⏰］：目覚まし表示
⓫ VCVA 表示
⓬ マイク感度表示
　［🎙］：マイク感度表示（高）
　［🎙］：マイク感度表示（低）
⓭ 録音経過時間
⓮ 録音可能な残り時間

再生時、停止時：



❶ ファイル名
❷ 保存先フォルダ表示
❸ 再生位置バー
❹ 本機の動作表示
　［■］：停止表示
　［▶］：再生表示
　［▶▶］：早送り表示
　［◀◀］：早戻し表示
　［▶3］：早聞き再生表示
　［▶3］：遅聞き再生表示
❺ イコライザ表示
❻ 再生モード
❼ 再生経過時間
❽ ファイル長

ストラップ（市販品）の取り付け

ストラップ取り付け部に固定する

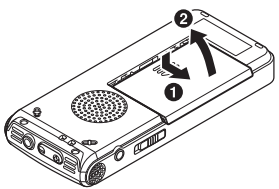
・最後にストラップを少し強めに引っ張り、抜けないことを確認してください。
・ストラップは付属されていません。

電源について

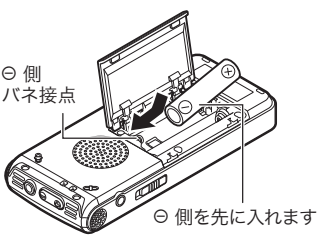
電池を入れる

本機は付属の充電池のほか、市販の単4形アルカリ乾電池を使用できます。

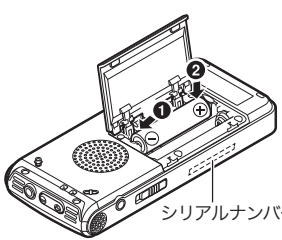
1 電池カバーの矢印部分を上から軽く押しながら、スライドさせて開ける



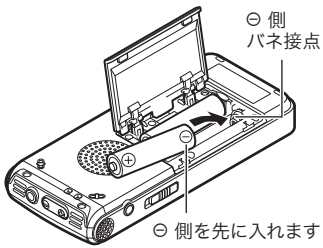
2 単4形電池の ⊖ 側をバネに乗り上げないように、電池ボックスに入れる



3 電池の ⊖ 側でバネを押しながら（❶）、⊕ 側を下に押さえ（❷）、完全に装填する



4 同じように 2 本目の電池を入れる



- 電池が浮いている状態で電池カバーを閉めないでください。
- 電池を入れる際は必ず ⊖ 側から先に入れてください。⊕ 側を先に入れてから ⊖ 側を入れると、電池の外装シール（絶縁被覆）が傷ついて破れる可能性があります。ショートして大きな電流が流れるおそれがあります。

5 電池カバーを完全に閉める

- 本機で充電する場合、必ず付属の専用ニッケル水素充電池（BR404）をご使用ください。
- 付属の充電池は完全に充電されていません。ご使用の前や長期間ご使用にならなかった場合、完全に充電することをおすすめします（☞ P.25）。

シリアルナンバーについて

本機の電池室内にシリアルナンバーが記載されています。巻末の保証書に書き写してください。

ヒント!

・本機から電池を抜いた状態が 1 分以上続いたり、短い間隔で電池の出し入れをすると、初期設定が必要になる場合があります（☞ P.22）。

ご注意

・本機でマンガン電池はご使用になれません。
・交換の際は単 4 形アルカリ乾電池、またはオリンパス製ニッケル水素充電池（BR404）をご使用ください。
・他社製のニッケル水素充電池をご使用になった場合、動作の保証はできません。
・電池の交換は必ず本機の電源を切ってから行ってください。本機が録音、消去などの動作中に電池を抜くと、ファイルが再生できなくなるなどの故障が発生する場合があります。
・長期間本機をご使用にならない場合、電池を取り外してください。

電池表示について

電池の残量に応じて電池表示が次のようにかわります。

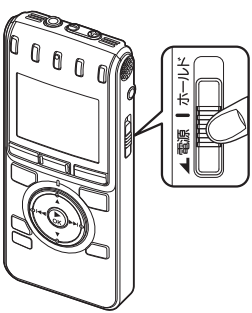
・[▭] 表示にかわった場合、早めに充電池を充電するか新しい電池に交換してください。電池がなくなると、[▭] と［**電池残量がありません**］が表示され、動作が停止します。
・繰り返し使用したニッケル水素充電池の電池持続時間は短くなります。
・microSD カードご使用時は電池持続時間が短くなります。
・ご使用の電池の性能により電池持続時間は異なります。

電源を入れる／切る

本機をご使用にならない場合、電源を切ることで電池の消耗を最小限に抑えられます。電源を切っても既存のデータや各モードの設定、時計設定などは保持されます。

電源を入れる

電源／ホールドスイッチを矢印の方向へスライドさせる

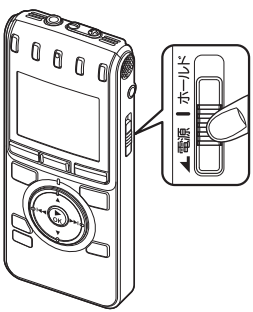


ヒント！

- ご購入後はじめてご使用になる場合や、長い間ご使用のないあとで電池を入れた場合は、初期設定画面が表示されます（☞ P.22）。
- 本機の内蔵メモリまたは microSD カードに保存されているファイルの数が多い場合、起動に時間がかかることがあります。この場合、パソコンや他の記録メディアにデータをコピーし、内蔵メモリまたは microSD カードからファイルを消去することをおすすめします。

電源を切る

ラジオ受信中または停止中に、**電源／ホールド**スイッチを矢印の方向へ 0.5 秒以上スライドさせる



ヒント！

- ［**OFF タイマー**］を設定している場合、設定した時間が経過すると自動的に電源が切れます（☞ P.81）。

省電力機能について［スリープ］

電源を入れて停止状態のまま 10 分以上（初期設定）経過すると、画面表示が消え、スリープ（省電力）モードになります（☞ P.103、P.104）。

- スリープモードを解除するには、いずれかのボタンを押してください。

初期設定をする

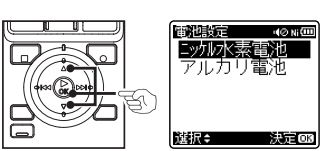
初期設定で使用電池の選択、日付・時刻および音声ガイドの設定と、ご使用になる地域の放送局を登録します。
日付・時刻を設定すると、録音時に「いつ録音した」という情報がファイルごとに自動で記録されます。また、地域設定を行なうと選択した地域における代表的なワンセグ TV、FM/AM ラジオの放送局が登録され、呼び出しが簡単になるほか、放送番組の予約録音もできるようになります。
ご使用になる地域によっては放送局のチャンネル、周波数、および放送局名が異なる場合があります。

ご購入後はじめてご使用になる場合や長い間ご使用のないあとで電池を入れた場合、初期設定画面が表示されます。

［**電池設定**］画面が表示された場合は、「**使用電池を選択する**」、「**日付・時刻を合わせる**」、「**音声ガイドを設定する**」（☞ P.23）および「**放送局を地域から登録する**」（☞ P.24）の操作をします。

使用電池を選択する

1 ▲または▼ボタンを押して［ニッケル水素電池］または［アルカリ電池］を選ぶ



- オリンパス製ニッケル水素充電池（BR404）をご使用の場合、［**ニッケル水素電池**］をお選びください。
- アルカリ乾電池をご使用の場合、［**アルカリ電池**］をお選びください。

2 ▶OK ボタンを押す

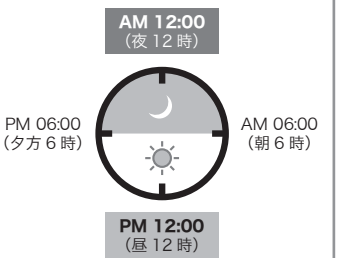
- 電池選択は、［**本体設定**］の［**電池設定**］画面（☞ P.103、P.104）からも行えます。
- 電池交換後は［**電池設定**］画面が表示されます。ご使用の電池を選択してください。

▶OK ボタンを押すと［**時計設定**］画面に入ります。「**日付・時刻を合わせる**」にお進みください。

日付・時刻を合わせる

時刻合わせのときは

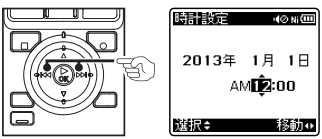
本機の時刻表示は、12時間表示または 24 時間表示を選ぶことができます。12時間表示で時刻を合わせる場合、午前と午後の 12 時を間違えないようご注意ください。



ヒント！

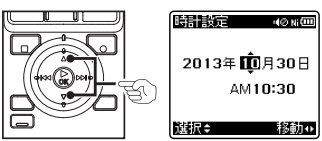
- 昼の 12 時に時刻合わせをする場合、［**PM 12:00**］に設定してください。

1 ▶▶I または I◀◀ ボタンを押して設定項目を選ぶ



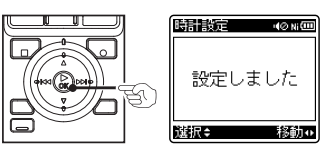
・「**年**」「**月**」「**日**」「**時**」「**分**」の中から、設定したい項目に合わせてください。

2 ▲または▼ボタンを押して数字を変更する



・ 設定項目を変更する場合は、▶▶I または I◀◀ ボタンを押します。
・「**時**」または「**分**」の設定時に**設定**ボタンを押すと、12 時間表示と 24 時間表示が切り替わります。

3 ▶OK ボタンを押す



・ 時報などに合わせて ▶OK ボタンを押してください。設定した日時で本機の時計が動き始めます。

! ▶OK ボタンを押すと[**音声ガイド**]画面に入ります。「**音声ガイドを設定する**」にお進みください。

自動時計補正機能について

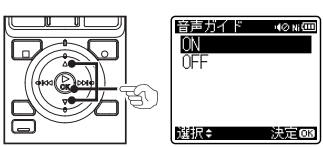
[**時計補正設定**] 機能を設定すると（☞ P.103、P.105）、本機の電源が切れているときに NHK 第一放送の時報を利用して自動的に時刻合わせをします。

ご注意

・ NHK 第一放送が放送局リストに登録されていないと、自動時計補正は機能しません。NHK 第一放送の受信については「**NHK 第一放送（周波数リスト）**」もご覧ください（☞ P.127）。
・ NHK 第一放送の受信状態が良くない場合は機能しません。
・ 本機の時刻と現在の時刻が前後 5 分以上ずれている場合、補正できません。設定画面から日付・時刻を合わせ直してください（☞ P.103、P.104）。

音声ガイドを設定する

1 ▲または▼ボタンを押して［**ON**］または［**OFF**］を選び、▶OK ボタンを押す

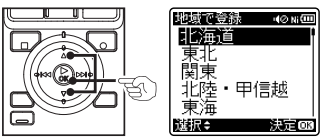


・［**ON**］に設定した場合は、音声ガイドのスピードと音量を設定できます（☞ P.99、P.101）。

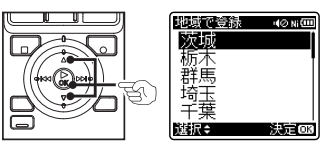
! ▶OK ボタンを押すと[**地域で登録**]画面に入ります。「**放送局を地域から登録する**」にお進みください。

放送局を地域から登録する

1 ▲または▼ボタンを押して お住まいの地方を選び、▶OK ボタンを押す

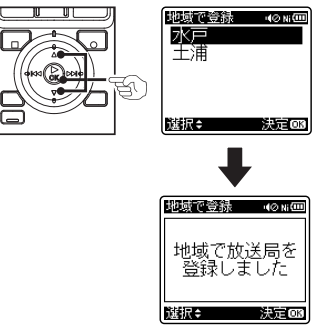


2 ▲または▼ボタンを押して お住まいの都道府県を選び、▶OK ボタンを押す



- お住まいの絞込みの途中で間違えた場合、**戻る / リスト**ボタンを押すと前の画面に戻ります。
- お住まいの地域によってはこの手順で終了し、［**地域で放送局を登録しました**］と表示されます。

3 ▲または▼ボタンを押してお住まいの地域を選び、▶OK ボタンを押す



- ［**地域で放送局を登録しました**］と表示されたら終了です。

ヒント！

- 自動登録されたラジオ局は受信状況に関わらず、選んだ地域の放送局が登録されます。
- 放送局を自動検索したり、現在受信している放送局を登録できます（☞ P.82、P.84）。
- 放送局の自動登録は設定画面からやり直すこともできます（☞ P.82、P.84）。

電池を充電する

本機に付属の充電池は、本機をアンテナステーションまたは USB 電源に接続して充電できます。

ご注意

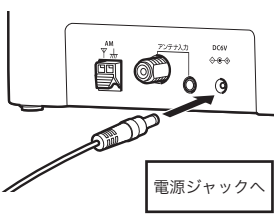
- 市販のアルカリ電池は充電できません。
- 付属の充電池を入れ、［**電池設定**］の設定を［**ニッケル水素電池**］にしてください。［**電池設定**］の設定が［**アルカリ電池**］の場合、充電できません（☞ P.19、P.22、P.103、P.104）。
- オリンパス製 AC アダプタ（A613）以外の AC アダプタは使用しないでください。

アンテナステーションを使って充電する

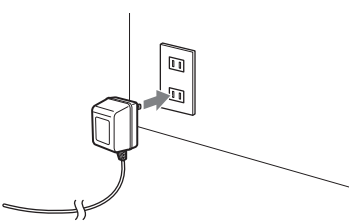
付属のアンテナステーションに本機を接続し、充電池を充電できます。

1 アンテナステーションの電源ジャックにACアダプタのプラグを接続する

PJ-35 の例

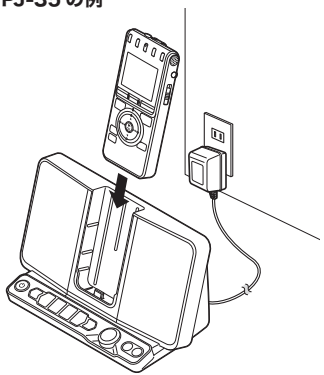


2 ACアダプタの電源プラグを家庭用電源のコンセントに差し込む

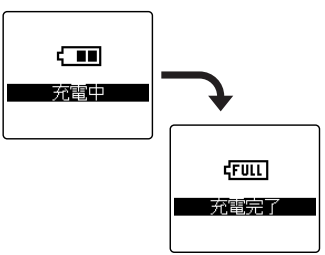


3 本機をアンテナステーションに差し込む

PJ-35 の例



・ 角度が合わないままで、無理にアンテナステーションに差し込まないでください。



・ 本機の電源が切れている状態またはスリープモードのときにアンテナステーションに接続すると、［**充電中**］が表示され充電が開始されます。充電が完了すると［**充電完了**］が表示されます。

・ アンテナステーションに接続して本機を使用しながら充電することもできます。充電が完了すると、[F] が表示されます。

ご注意

・本機をアンテナステーションから取り外す場合は、本機の電源を切ってください（☞ P.21）。PJ-35 では、アンテナステーションの電源ボタンを押し続けると電源が切れます。アンテナステーションの電源が切れると連動して本機の電源も切れます。

USB 電源を使って充電する

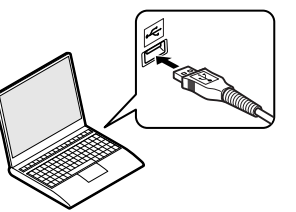
USB 接続ケーブルを使用し、本機をパソコンに接続して充電できます。

USB 接続ケーブルを接続する前にホールドを解除してください（☞ P.28）。

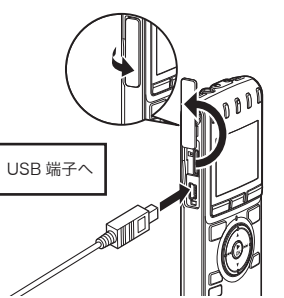
パソコンから充電する

1 パソコンを起動する

2 USB 接続ケーブルをパソコンの USB 端子に接続する

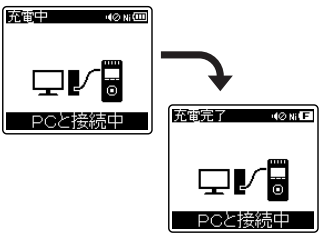


3 本機が停止していることを確認し、本機の USB 端子へ USB 接続ケーブルを接続する



・ 本機が録音中や再生中の場合、パソコンは本機を認識できません。

4 [OK **ボタンで充電を開始します**] が表示されているときに、▶OK ボタンを押す



・［**充電完了**］と表示されたら充電完了です。

ヒント！

・USB 接続したパソコンの電源が入っているときに充電をしてください。パソコンの電源が入っていないときやパソコンがスタンバイ、休止、オートパワーオフモードの場合、充電できません。

ご注意

・パソコンと接続して充電するときは USB ハブを使用しないでください。
・USB コネクタは奥まで確実に差し込んでください。正しく接続されていない場合、正常に動作しません。
・USB 接続ケーブルは必ず付属の専用ケーブルをご使用ください。他社製品をご使用になった場合、動作の保証はできません。

充電について

ニッケル水素充電池（BR404）を使用の際には下記をよくお読みください。

■ 放電：

充電池は、使用しないと自然に放電します。ご使用の前には、必ず充電するようにしてください。

■ 操作温度：

充電池は化学製品です。 推奨温度範囲で使用する場合にも充電池の性能は変化しますが、故障ではありません。

■ 推奨温度範囲：

本機動作時：0 ～ 42℃
充電：5 ～ 35℃
長期保管：－ 20 ～ 30℃

上記の温度範囲外での充電池の使用は、性能・寿命の低下の原因となります。長期間本機をご使用にならない場合、液漏れ・さびを防ぐため、充電池を取り外して保管してください。

■ 充電時間：

約 3 時間

室温で電池残量がない状態から満充電する場合のめやすです。電池の残量や充電の状態などにより異なります。

ご注意

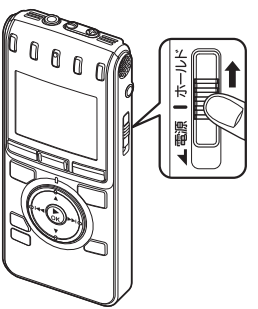
・［C］*1 または［H］*2 が点滅している場合、充電できません。周囲の温度が 5 ～ 35℃の環境で充電してください。
*1［C］：周囲の温度が低い場合
*2［H］：周囲の温度が高い場合
・ニッケル水素充電池自体の性質上、新しく購入した電池や長期間（1カ月以上）使用していない電池は、完全に充電されない場合があります。この場合は充放電を 2、3 回くり返してください。
・満充電しても使用時間が著しく短くなったときは電池の寿命です。新しい電池と取り替えてください。
・充電池は、関係する法令に従って処分してください。充電池を完全に放電しないで処分する場合、ショートしないように電池端子をテープで絶縁するなどの処置をしてください。

ホールドスイッチについて（誤操作を防止する）

ホールドにすると動作中の状態を保ち、ボタン操作を受け付けません。かばんやポケットに入れたときに誤ってボタンが押されても動作しないので、持ち運びなどに便利です。

ホールドにする

ラジオ受信中、録音中または再生中に、電源／ホールドスイッチをホールド側へスライドさせる



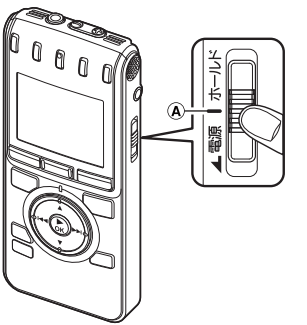
・［**ホールド**］が表示され、ホールド状態になります。

ご注意

・再生（もしくは録音）中にホールドにすると、再生（録音）状態のまま操作ができなくなります（再生が終了またはメモリ残量がなくなって録音が終了すると停止状態になります）。

ホールドを解除する

電源／ホールドスイッチを Ⓐ の位置にスライドさせる

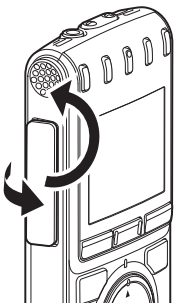


microSD カードを入れる／取り出す

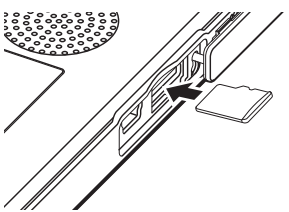
本機は、録音・再生用メモリとして micro SD または microSDHC カードを使用できます。
本書に記載されている「microSD」とは microSD と microSDHC の両方をさします。

microSD カードを入れる

1 microSD カードスロットのカバーを開ける

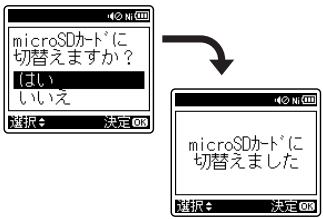


2 microSD カードスロットに、microSD カードの向きを正しく合わせて差し込み、「カチッ」と音がするまで確実に押し込む



- microSD カードを差し込む前に差込口を確認してまっすぐ差し込んでください。
- microSD カードの向きを間違えたり斜めに入れると、接触面が破壊されたり microSD カードが抜けなくなる場合があります。

3 microSD カードスロットのカバーを閉じる



- 本機がラジオ受信中（放送局リスト表示中は除く）、ラジオファイルモードまたはレコーダーモードの停止中に、microSD カードを入れると、記録メディアの切り替え画面が表示されます。▲または▼ボタンを押して［**はい**］を選んで ▶**OK** ボタンを押すと、microSD カードモードに切り替わります。
- 録音中、ファイル再生中（ラジオファイルモードまたはレコーダーモード）のときに microSD カードを入れた場合は、停止すると、記録メディアの切り替え画面が表示されます。
- microSD カードモードに切り替わると、画面に［▶］が表示されます。
- 記録メディアは、［**本体設定**］の［**メモリ選択**］で変更できます（☞ P.103、P.104）。
- microSD カードに保存されているファイルの数が多い場合、カードの認識に時間がかかることがあります。この場合、パソコンや他の記録メディアにデータをコピーし、micro SD カードからファイルを消去することをおすすめします。

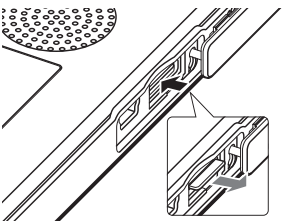
ご注意

- 本機に microSD カードを入れると、［**しばらくお待ちください**］が表示されます。メッセージが表示されている間は絶対に電池を取り外さないでください。データが破損するおそれがあります。また、処理中に電池が切れることがないように、操作の前にあらかじめ充電または新しい電池に交換してください。

microSD カードを取り出す

1 microSD カードスロットのカバーを開ける

2 microSD カードを押し込む



・［**メモリ選択**］の設定を［**microSD カード**］にしていた場合、［**内蔵メモリに切替えました**］と表示されます。

3 microSD カードをゆっくりと引き抜く

4 microSD カードスロットのカバーを閉じる

microSD カードについて

本機で microSD カードを使うときは、microSD カードを初期化してください（☞ P.103、P.107）。

初期化は必ず本機で行ってください。ほかの端末やパソコンで初期化した microSD カードは、使用できないことがあります。

microSD カードの取扱いについて

・microSD カードを取り出す際に、microSD カードを押した指をすぐにはなしたり、指ではじくようにして押し出すと、microSD カードが勢いよく飛び出すことがあります。

・microSD カードが認識されない場合、microSD カードを取り出してからもう一度入れ直し、本機で認識するか試してください。

・microSD カード、microSDHC カードにおいて、本機との相性により製造メーカーやカードの種類によっては正しく認識しないことがあります。

・当社基準において動作確認済の microSD カードについては、当社ホームページのサポートページをご覧ください。
http://olympus-imaging.jp/
ホームページでは当社が動作確認を行った microSD カードの製造メーカーとカードの種類を紹介していますが、当社がお客様に対して microSD カードの動作保障をするものではありません。また、各製造メーカーの仕様変更などにより、正しく認識できなくなる場合があります。あらかじめご了承ください。

・ご利用の際は、microSD カードに付属の取扱説明書を必ずお読みください。

・microSD カードの種類によっては処理速度が遅くなる場合があります。 また、microSD カードは書き込みや削除を繰り返すことによって処理能力が落ちることがあります。この場合、microSD カードを初期化し直してください（☞ P.103、P.107）。

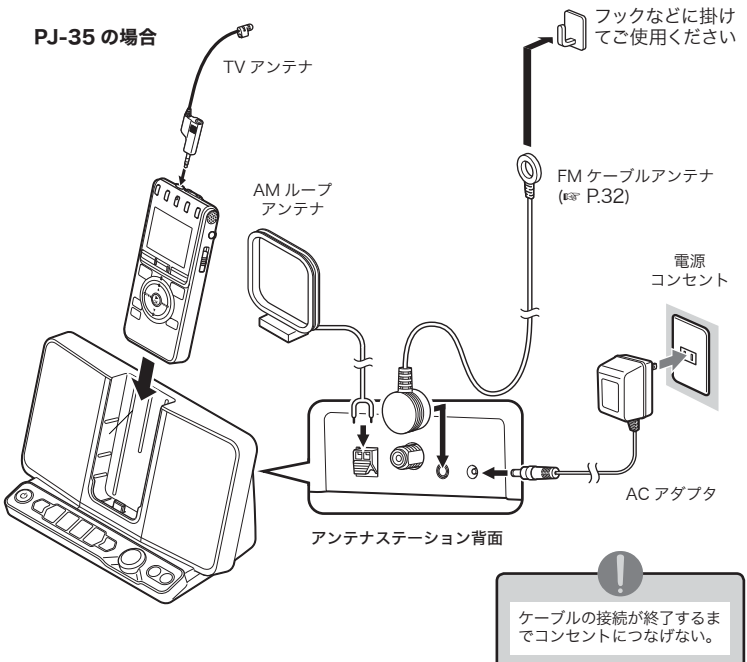
・microSD カード内のデータは、消去や初期化を実行してもファイル管理情報が更新されるだけで完全には消去されません。譲渡・廃棄をする場合には、microSD カード内にあるデータの流出にご注意ください。廃棄の際には、microSD カードを破壊するなどの対処をおすすめします。

アンテナステーションを設置する

アンテナステーション(同梱)を使用すると、家庭用電源から本機に電源を供給できます。また、外部アンテナ端子にAMループアンテナ、FM ケーブルアンテナや同軸ケーブル（市販品）を接続できます。
受信状態の良好な場所に設置してください。

設置前にお読みください：

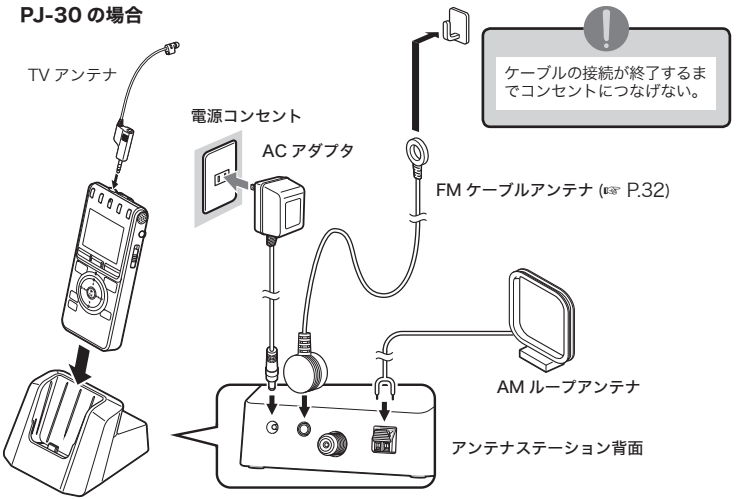
すべてのケーブルの接続が終了するまでは、電源プラグをコンセントにつなげないでください。
また本機の電源は設置が終了するまで入れないでください。



設置場所の選びかた：

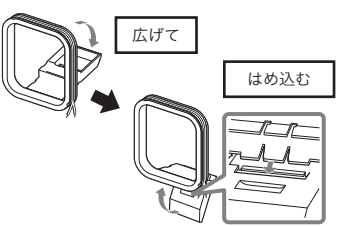
- ✔ 車道に面した部屋を避け、受信状態がもっとも良好な部屋を選び設置してください。
- ✔ 蛍光灯の真下などは避け、他の電気製品から離れた場所を選び設置してください。
- ✔ アンテナステーションを設置する場合、平らで安定した場所を選び設置してください。
- ✔ お部屋のテレビ受信用アンテナ端子をアンテナステーションに接続する場合、事前にアンテナ端子の形状をご確認のうえ同軸ケーブル(市販品) をご用意ください。

PJ-30 の場合



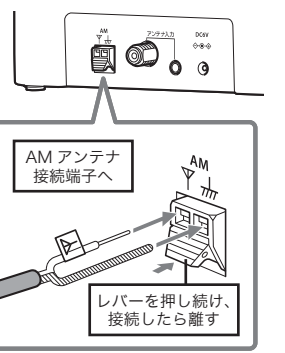
設置のしかた

1 AM ループアンテナを組み立てる



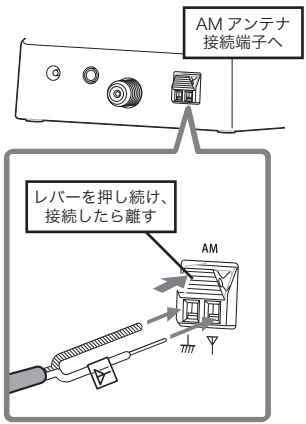
2 AM ループアンテナを接続する

PJ-35 の場合



白い線は [Y] 側の端子に接続してください。

PJ-30 の場合

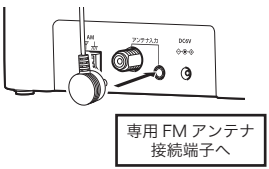


白い線は［ ］側の端子に接続してください。

- 実際にラジオを受信して、より良い受信状態になるように、アンテナの位置や向きを調整してください。
- 受信障害を軽減するため、AM ループアンテナの設置は他の電気製品やアンテナステーションの電源ケーブルからできるだけ離して設置してください。

3 FM ケーブルアンテナを接続する

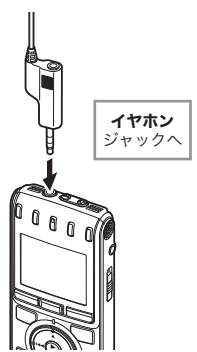
PJ-35 の例



- 付属の FM ケーブルアンテナは簡易アンテナです。窓辺など電波の届きやすい場所で、位置や向きを調整してご使用ください。
- 実際に放送局を受信して、より良い受信状態になるように、アンテナの位置を調整してください。

同軸ケーブル用端子を使う場合：
「その他の接続方法」（☞ P.34）をご覧ください。

4 TV アンテナを接続する



- 付属の TV アンテナは簡易アンテナです。窓辺など電波の届きやすい場所で、位置や向きを調整してご使用ください。
- 実際に放送局を受信して、より良い受信状態になるように、アンテナの位置や設置場所を調整してください。

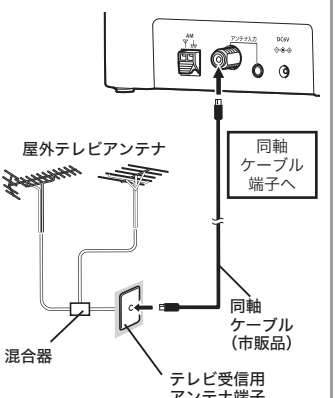
その他の接続方法

同軸ケーブル用端子を使う場合：

・同軸ケーブル端子にデジタルテレビ受信用アンテナまたは FM 受信用アンテナならびにケーブルテレビなどを接続すれば、より安定した受信状態で使用できます。同軸ケーブル端子を使用する場合は本機の［**アンテナ入力**］の設定を変更する必要があります (☞ P.82、P.86)。

PJ-35 の例

・アンテナステーション背面にある専用 FM アンテナ端子と同軸ケーブル端子は同時に使用しないでください。



ヒント！

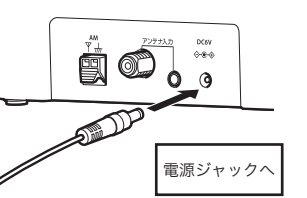
・同軸ケーブル端子にデジタルテレビ受信用アンテナと FM 受信用アンテナを同時に接続する場合は、市販の混合器をお使いください。混合器はデジタルテレビ受信用アンテナ（UHF アンテナ）と FM 受信用アンテナ（FM および VHF アンテナ）を一つにまとめられる混合器を使用してください。詳細は電気店や電気工事店にご相談ください。

アンテナの接続先を設定してください。

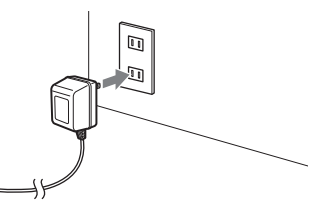
本機をアンテナステーションに接続して使用する場合、使用する FM または TV アンテナの接続先を設定できます。正しく受信できるよう設定を行ってください (☞ P.82、P.86)。

5 アンテナステーションの電源ジャックに AC アダプタのプラグを接続する

PJ-35 の場合



6 AC アダプタの電源プラグを家庭用電源のコンセントに差し込む



ご注意

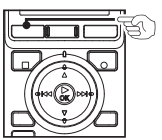
- ラジオ番組などを録音する場合、安定した電源供給ができるアンテナステーションのご使用をおすすめします。電池切れで録音が途切れることもありません。
- 付属の FM ケーブルアンテナおよび TV アンテナは簡易アンテナです。窓辺など電波の届きやすい場所で、位置や向きを調整してご使用ください。受信状態が十分に改善されない場合、設置場所を変えるかアンテナステーションの同軸ケーブル端子に市販品の FM 受信用アンテナまたはデジタルテレビ受信用アンテナを接続してください。
- ご使用のテレビ受信用アンテナがケーブルテレビ局などを経由している場合、同軸ケーブル端子を使用してラジオを受信すると、ラジオ放送局の周波数が通常と異なることがあります。詳しくはケーブルテレビ局などにお問い合わせください。
- アナログテレビ受信用アンテナ（VHF アンテナ）ではワンセグ TV は受信できません。
- デジタルテレビ受信用アンテナ（UHF アンテナ）では FM ラジオは受信できません。
- AMラジオは特に周囲の状況により受信状態が左右されます。電気製品、電源コードや電源コンセントから離れた場所で使用するか、これら電気製品の電源を切ってから使用してください。また、道路や道路に面した部屋などに設置すると、自動車やバイクのウィンカーやイグニッションなどでもノイズが入ってしまうことがありますのでご注意ください。
- 録音中の場合、アンテナステーションから本機を抜き差ししないでください。録音中の内容が再生できなくなるおそれがあります。

モードの切り替え

本機はラジオとしてご使用いただけるほか、IC レコーダーやミュージックプレイヤーとしてもお楽しみいただけます。

AM、FM ラジオおよびワンセグ TV を聞く場合（ラジオモード）：

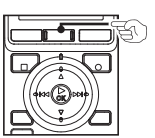
1 ラジオ /TV/ 予約（）ボタンを押す



ラジオ受信モードに切り替わり、放送番組を受信・録音できます。
詳しくは「**ラジオまたはワンセグ TV を聞く**」（☞ P.44）をご覧ください。

ラジオから録音したファイルを聞く、または音楽ファイルを聞く場合（ラジオファイルモード）：

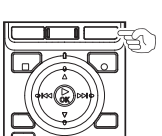
1 ラジオファイル（）ボタンを押す



ラジオファイルモードに切り替わり、ラジオから録音したファイルや転送された音楽ファイルがこの場所に保存されています。
詳しくは「**ラジオファイルまたは音楽ファイルを再生する**」（☞ P.56）をご覧ください。

内蔵マイクで録音する、または内蔵マイクで録音したファイルを聞く場合（レコーダーモード）：

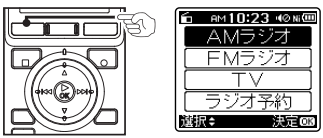
1 レコーダー（）ボタンを押す



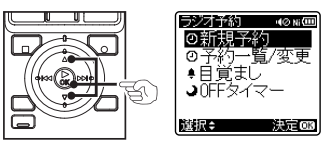
レコーダーモードに切り替わり、録音された最新ファイルを表示します。内蔵マイクで録音、または内蔵マイクで録音したファイルを再生できます。
詳しくは「**マイクから録音したファイルを再生する**」（☞ P.57）をご覧ください。

ラジオを予約録音する、または目覚ましを使う場合（予約モード）：

1 **ラジオ /TV/ 予約（）ボタンを押す**



2 **▲または▼ボタンを押して［ラジオ予約］を選び、▶OK ボタンを押す**



ラジオ予約モードに切り替わり、ラジオの録音を予約したり、目覚ましや時間が経つと自動的に電源が切れるタイマーを設定できます。詳しくは「**予約録音の設定**」（☞ P.69）をご覧ください。

アンテナステーションを使う

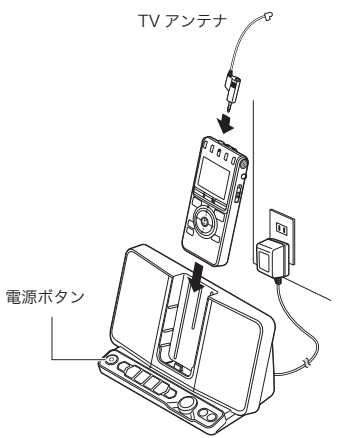
付属のアンテナステーションに本機を接続すると、AC アダプターからの電源供給になり、電池が切れることがありません。加えて PJ-35 の場合は、ラジオ放送や音声ファイルまたは音楽ファイルの再生をアンテナステーションのスピーカから出力できます。

本機とアンテナステーションを接続する

あらかじめ本機の電源を切っておいてください。

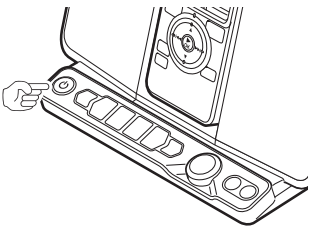
1 本機をアンテナステーションに差し込む

PJ-35 の例

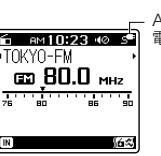


- 角度が合わないままで、無理にアンテナステーションに差し込まないでください。
- 本機に市販のストラップを取り付けている場合は、本機とアンテナステーションとの間にストラップを挟み込まないように注意してください。

2 アンテナステーションの電源ボタンを押して電源を入れる（PJ-35 のみ）



- アンテナステーションの電源を入れると本機も連動して電源が入ります。



- 付属の充電池を使用している場合、充電が始まります（☞ P.25）。
- アンテナステーションの AC アダプタの電源に切り替わると、［ ］が表示されます。

イヤホンで聞くときの注意：（PJ-35 のみ）

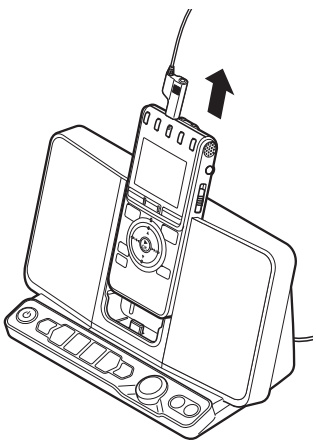
PJ-35 の場合、アンテナステーションに本機を接続してイヤホンで聞くには、あらかじめ［**アンテナステーション出力**］の設定を［**イヤホン**］にする必要があります（☞ P.99、P.102）。

アンテナステーションから本機を取り外す

1 本機の電源を切る

・ PJ-35 の場合はアンテナステーションの電源ボタンを押し続けるとアンテナステーションおよび、本機の電源が切れます。

2 本機をアンテナステーションから取り外す



・ 上方向にゆっくり抜いてください。

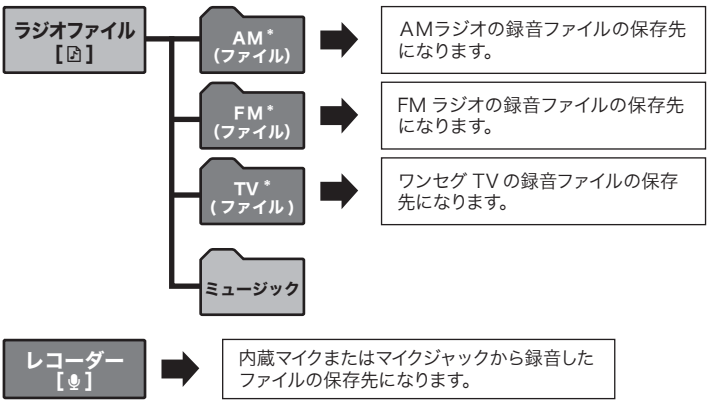
ご注意

・使用後は AC アダプターをコンセントから抜いておくことをおすすめします。

フォルダについて

本機録音用フォルダについて

ラジオ、ワンセグ TV 放送を録音したファイルは、保存先フォルダを自動的に生成し、振り分けて保存されます。



* 放送局リストに登録されている放送局で録音すると、自動的に放送局名のフォルダが生成され、その中にファイルが保存されます。

ファイルのなまえについて

本機で録音したファイルには、自動的に以下のようなファイル名が付けられます。

FM 130324 – 1030 .MP3
① ② ③ ④

① 音源：
本機で録音した場合の音源の略号です。
- AM ラジオ録音 **AM**
- FM ラジオ録音 **FM**
- ワンセグ TV 録音 **TV**
- マイク録音 **MC**

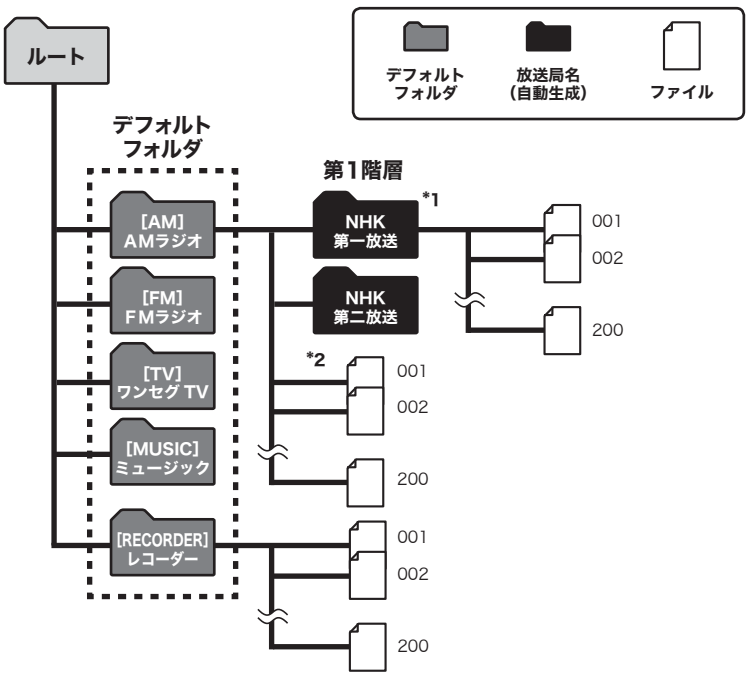
② 録音した日付：
録音した日付を 6 桁の数字であらわします。
例：2013 年 3 月 24 日
130324

③ 録音開始時間：
録音を開始した時間を 4 桁の数字であらわします。
例：10 時 30 分
1030

④ 拡張子：
本機で録音した場合の録音形式(MP3)の拡張子です。
ただし、ワンセグ TV から録音したファイルは独自の録音形式（OL3*）の拡張子となり、著作権保護機能付きの音声ファイルフォーマットになります。
* 録音した本機のみでしか再生できません。パソコンに転送しても再生できません。

フォルダ階層について

パソコンと接続し、ファイル管理ツールなどを使って、本機の録音用フォルダや音楽再生用フォルダを作成できます。［**AM**］、［**FM**］、［**TV**］フォルダには、それぞれ最大 20 フォルダが作成でき、1 フォルダには最大 200 件のファイルを保存できます。［**レコーダー**］には、最大 200 件のファイルを保存できます。



*1　放送局リストに登録されている放送局で録音すると、自動的に放送局名のフォルダが生成され、その中にファイルが保存されます。

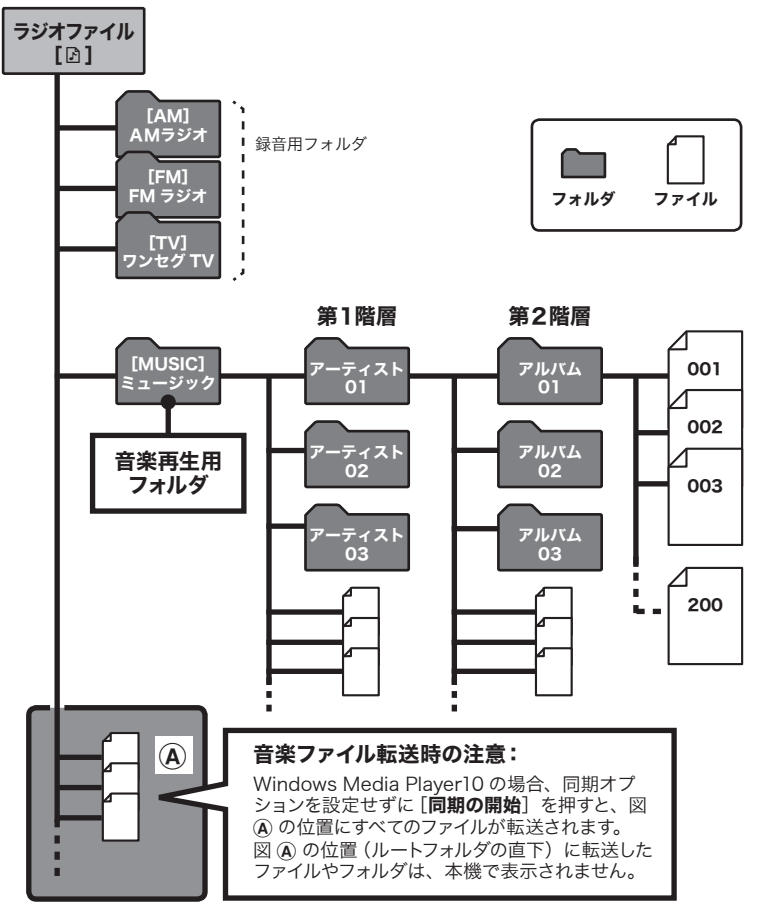
*2　放送局リストに登録されていない放送局で録音した場合は各フォルダの直下に保存されます。ワンセグ TV の場合、放送局リストに登録されていない放送局では録音できません。

ご注意

・本機の最大フォルダ数および最大ファイル数を越えても、メモリ残量がある限りパソコンから本機にファイルを転送して保存できますが、上限を超えたファイルは本機で確認および再生ができません。

音楽再生用フォルダについて

Windows Media Player を使用して音楽ファイルを本機に転送すると、音楽再生用フォルダ（[**ミュージック**]）に下記の図のような階層構造で、フォルダを自動生成します。
[**ミュージック**] フォルダには、最大 200 フォルダが作成でき、1 フォルダには最大 200 件のファイルを保存できます。



ラジオのご使用にあたって

ラジオはご使用の場所により受信状態が大きく変わります。また、受信場所周囲の電気製品などが原因で受信障害が起きる場合もあります。受信状態が良好でない場合、アンテナの位置や向きを調整するか窓辺など電波の届きやすい場所でご使用ください。

● **建物の中やビルの陰では、受信できない場合があります:**

電波の届きやすい場所に移動してください。
建物の中では窓辺に移動すると放送波を受信しやすくなります。

● **電気製品の近くでは、受信できない場合があります:**

電気製品から離れた場所に移動してください。

● **自動車やバイクの近くでは、ノイズが入る場合があります:**

自動車やバイクから離れた場所に移動してください。

基本的な機能を使う

ラジオまたはワンセグ TV を聞く

受信モードを切り替えてラジオおよびワンセグ TV を受信できます。
ただし、放送エリア外や山間部など地形により電波の届かない場所でのラジオ受信はできません。あらかじめご了承ください。
本機単体で FM ラジオまたはワンセグ TV を聞く場合は、本機のイヤホンジャックにイヤホンまたは TV アンテナを接続してお使いください。

放送局リストから放送局を選ぶ

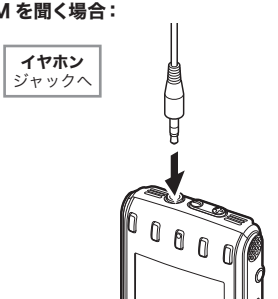
初期設定がお済みでない場合、日付・時刻の設定および放送局の登録をしてください (☞ P.22)。

1 本機のイヤホンジャックにイヤホンまたは TV アンテナを接続する

AM を聞く場合：

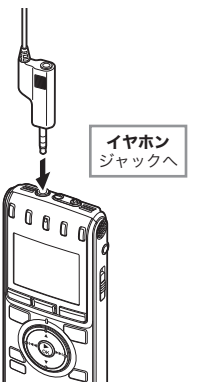
・ 接続する必要はありません。

FM を聞く場合：

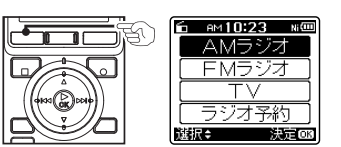


・ 内蔵スピーカから放送音声を出力する場合は、［**本体スピーカ出力**］の設定を［**スピーカ ON**］に設定してください (☞ P.99、P.102)。

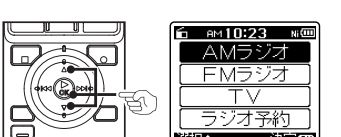
ワンセグ TV を聞く場合：



2 ラジオ /TV/ 予約 (🗀) ボタンを押す

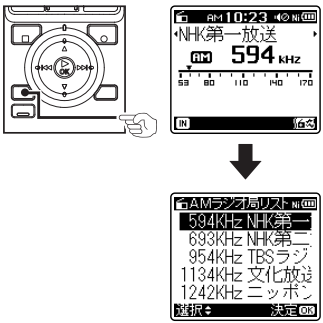


3 ▲または▼ボタンを押して受信モードを選び、▶OK ボタンを押す



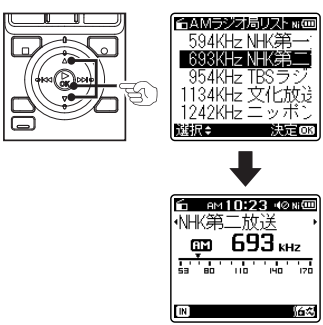
・ **ラジオ /TV/ 予約** (🗀) ボタンを繰り返し押しても受信モードを選べます。

4 戻る / リストボタンを押す



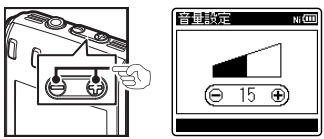
- **戻る / リスト**ボタンを押すと前の画面に戻ります。
- 操作中に 8 秒間何も操作が無かった場合、カーソル位置の放送局に切り替わります。

5 ▲または▼ボタンを押して放送局を選び、▶OK ボタンを押す



- ラジオ／ワンセグＴＶ受信モード表示画面のまま受信する放送局を変更することもできます。
  詳しくは、「**受信中に放送局を変更する**」をご覧ください（☞ P.48）。

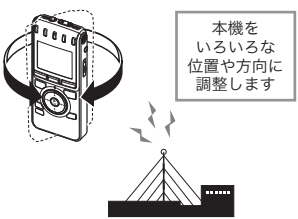
6 ＋または－ボタンを押して聞きやすい音量にする



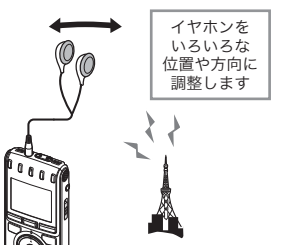
- ［0］～［30］の範囲で調整できます。数字が大きくなると音量が上がります。
- 音がひずむ場合、音量を下げてください。

7 受信状態が良好になるようにアンテナおよび本体の向きを調整する

AM を聞く場合：



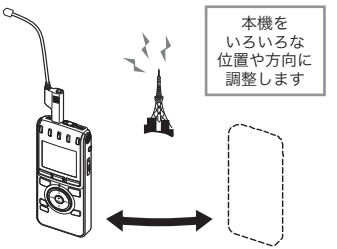
FM を聞く場合：



付属のイヤホンは FM アンテナの役割もしています。

- イヤホンを本機に巻き付けて使用しないでください。

ワンセグ TV を聞く場合：



電波状況が悪い

電波状況が良い

- TV アンテナを接続した場合、ケーブルをなるべく伸ばして位置や向きを調整し、より良い受信状態にしてください。このとき、ケーブルに何も引っかからないよう周囲の状況に十分ご注意ください。また、TV アンテナを本機に巻き付けて使用しないでください。
- 電波状況が良い場合、付属のイヤホンだけでもワンセグ TV が視聴できます。

ご注意

- 放送エリア内でもトンネルや地下道、コンクリートで構造物を覆っているようなビルやマンションの内部や、これら建物の陰などでは電波が届きにくくなる場合が多くあります。このような場所でのラジオおよびワンセグＴVの受信はできません。
- 本機でラジオを受信する場合、携帯電話、パソコンやテレビなど他の電気製品の近くで使用しないでください。ノイズが発生することがあります。
- ワンセグ TV 受信の場合、選局してから音が聞こえるようになるまでに数秒かかります。
- 登録した地域以外の場所でワンセグ TV を受信すると、あらかじめ登録されている放送局以外の放送局を受信する場合があります。この場合、［**登録と違う局を受信しています**］と表示されてから受信を開始します。
- 電波状況が悪い場所でワンセグ TV を録音をすると、視聴できていても無音が録音される場合があります。できるだけ受信状態の良い場所で録音してください。
- 放送局の都合により、放送局を識別するデータに変更があった場合にも、［**登録と違う局を受信しています**］と表示されることがあります。この表示は本機の［**オート登録**］で放送局を登録し直すと、表示されなくなります。また、いつもと違う地域でお使いの場合も地域を設定し直す必要があります（☞ P.82、P.84）。

受信に関する設定

ラジオおよびワンセグ TV では聞きたい周波数を調整して放送局リストに登録できます（☞ P.82、P.84）。

［放送局登録］の設定項目：

［**地域で登録**］	選択した地域における代表的なラジオ、ワンセグ TV の放送局を自動的に登録します。
［**オート登録**］	自動検索された放送局を、放送局リストに登録します。
［**現在の局を登録**］*	受信中の放送局を、放送局リストに登録します。

* AM/FM ラジオ受信時のみ設定できます。

ラジオ・ワンセグ TV はご使用の場所により受信状態が大きく変わります。

- 受信状態が良好でない場合、アンテナの位置や向きを調整するか、窓辺など電波の届きやすい場所でご使用ください（☞ P.43）。
- 携帯電話、パソコン、テレビ、蛍光灯などの電気製品の近くに置いて使用すると、ノイズが発生することがあります。

ノイズフィルタ機能について

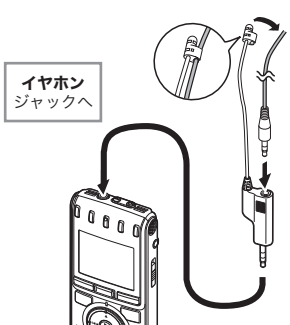
ノイズフィルタ機能を設定すると、ラジオの耳障りなノイズを低減し、受信・録音音声を聞きやすくします（AM/FM ラジオのみ）（☞ P.82、P.83）。

イヤホンで聞く

1 イヤホンジャックにイヤホンを接続する

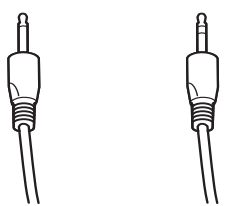
ワンセグ TV を聞く場合：

- ワンセグ TV をイヤホンで聞くには、TV アンテナにイヤホンを接続してから TV アンテナを本機のイヤホンジャックに接続してください。
- 必要に応じて TV アンテナの先端をイヤホンのコードに固定してお使いください。



FM/AM ラジオを聞く場合：

- 付属のイヤホンは TV アンテナと併用してもFMアンテナの役割をします。
- 通常はイヤホンを接続するとスピーカから音はでません。
- モノラルミニプラグ（2 極）およびステレオミニプラグ（3 極）以外のイヤホンは本機では使用できません。



モノラル
ミニプラグ
（2 極）

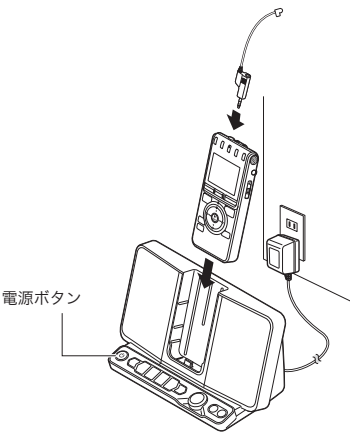
ステレオ
ミニプラグ
（3 極）

ご注意

- 耳への刺激を避けるため、音量を［0］にしてからイヤホンを入れてください。
- イヤホンで聞く場合、音量をあまり上げないでください。聴覚障害、聴力低下を引き起こすおそれがあります。

アンテナステーションのスピーカで聞く(PJ-35 のみ)

1 アンテナステーションに本機を差し込む



2 アンテナステーションの電源を入れる

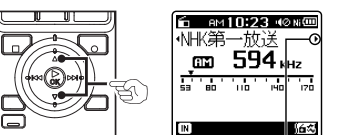
・アンテナステーションに本機を接続すると、アンテナステーションのスピーカから音を出力します。
・本機の電源が入っているときや時計補正時には、アンテナステーションの LED 表示ランプが点灯します。
・アンテナステーションの設置方法については、「**アンテナステーションを設置する**」をご覧ください (☞ P.31)。

受信中に放送局を変更する

ラジオまたはワンセグ TV の受信中にほかの放送局に変更できます。

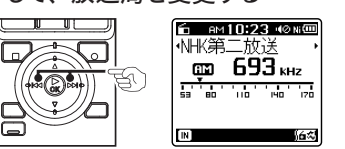
登録されている放送局のラジオまたはワンセグ TV を聞く

1 ラジオ受信モード表示画面で、▲または▼ボタンを押して、▶を放送局名に合わせる (AM/FM ラジオのみ)



▶ マーク

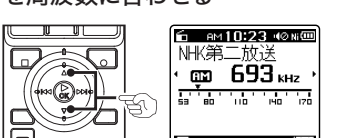
2 ▶▶I または I◀◀ ボタンを押して、放送局を変更する



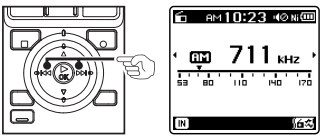
・ ▶▶I または I◀◀ ボタンを押すたびに、リストに登録されている放送局に切り替わります。

登録した放送局以外のラジオを聞く (AM/FM ラジオのみ)

1 ラジオ受信モード表示画面で、▲または▼ボタンを押して、▶を周波数に合わせる



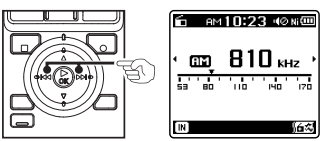
2 ▶▶I または I◀◀ ボタンを押して周波数を調整する



- AM ラジオの場合、▶▶I または I◀◀ ボタンを押すと 9 kHz ステップで周波数が増減します。
- FM ラジオの場合、▶▶I または I◀◀ ボタンを押すと 0.1 MHz ステップで周波数が増減します。
- 調整した周波数は、放送局リストに登録できます（☞ P.82、P.85）。

受信できる放送局をスキャンする（AM/FM ラジオのみ）

1 ラジオ受信モード表示画面で、▶▶I または I◀◀ ボタンを押し続ける

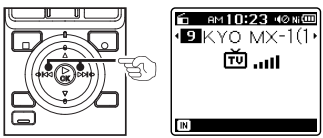


- 受信できる放送局のスキャンを開始します。
- 受信できる放送局を検知するとスキャンが停止します。
- 放送局が見つからない場合は、受信していた放送局に戻りスキャンが停止します。
- スキャンを途中で停止するには、**停止**（■）ボタンまたは **▶OK** ボタンを押します。
- スキャンの感度を設定できます（☞ P.82、P.83）。

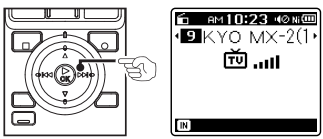
マルチチャンネルを聞く（ワンセグ TV のみ）

ワンセグ TV 放送では、一つのチャンネル分で複数の番組を同時に放送することができます。マルチチャンネルサービスは実施している放送局と実施していない放送局があります。

1 ラジオ受信モード表示画面で、▶▶I または I◀◀ ボタンを押して、マルチチャンネルの放送を行なっている放送局を選局する



2 ▶▶I ボタンを押して、マルチチャンネルの番組を選択する

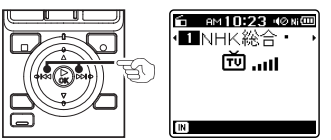


- 選択したマルチチャンネル番組は自動的に放送局リストに追加登録されます。
- 登録されたマルチチャンネル番組は以下のように表示されます。
  9　TOKYO MX-1（16ch）
  9　TOKYO MX-2（16ch）
- 受信した番組が二重音声に対応している場合、音声を副音声に切り替えて聞くことができます（☞ P.82、P.86）。副音声に切り替えても、主音声のみの番組を受信すると主音声を聞くことができます。

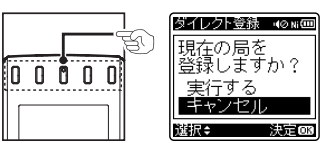
ダイレクトボタン（1 ～ 5）に放送局を登録する

受信中の放送局をダイレクトボタン（1 ～ 5）に登録できます。AM ラジオ、FM ラジオ、ワンセグ TV を含めた5局を登録できます。

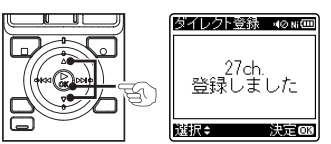
1 ラジオ受信モード表示画面で、▶▶I または I◀◀ ボタンを押して、登録したい放送局を選局する



2 選局した放送局の受信中に、登録したいダイレクトボタン（1 ～ 5）の番号を押し続ける



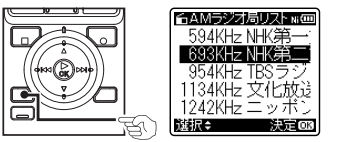
3 ▲または▼ボタンを押して［**実行する**］を選び、▶OK ボタンを押す



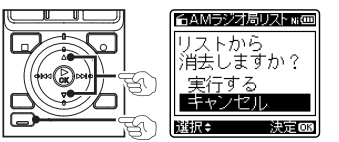
・ ピピッと音が鳴り、放送局が登録されます。

リストから放送局を消去する

1 ラジオ受信モード表示画面で**戻る / リスト**ボタンを押して、放送局リスト表示にする



2 ▲または▼ボタンを押して消去する放送局を選び、**消去**ボタンを押す



3 ▲または▼ボタンを押して［**実行する**］を選び、▶OK ボタンを押す

ご注意

・ワンセグ TV では、リストから全ての放送局を消去することはできません。

録音する

失敗のない録音をするために試し録りをしてください。

FM ラジオを録音するとき

・FM ラジオがきれいに聞こえても、受信環境により録音を開始するとノイズが入ることがあります。ノイズが録音されている場合、アンテナの向きを調整してください。

AM ラジオを録音するとき

・AM ラジオの録音でノイズが多く入る場合、［**AM 画面表示**］の設定を［**OFF**］にするとノイズが軽減することがあります（☞ P.82、P.83）。

ワンセグ TV を録音するとき

・ワンセグ TV はデジタル放送のため、電波状況が悪いと音声が途切れたり音声が聞こえなくなります。受信状態が良好でない場合、アンテナの位置や向きを調整するか、窓辺など電波の届きやすい場所でご使用ください（☞ P.43）。
・ワンセグ TV の録音では、登録リストに無い放送局は録音できません。

ラジオのノイズが気になるとき

・ノイズフィルタ機能を設定すると、ラジオの耳障りなノイズを低減し、受信・録音音声を聞きやすくします（AM/FM ラジオのみ）（☞ P.82、P.83）。

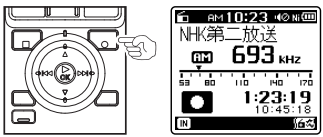
ラジオまたはワンセグ TV を録音する

ラジオまたはワンセグ TV の放送を録音したファイルは自動的に［**ラジオファイル**］に保存されます。

1 録音したい放送番組を受信する

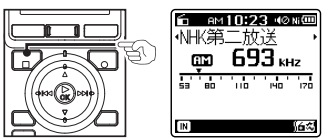
・ 詳しくは「**ラジオまたはワンセグ TV を聞く**」をご覧ください（☞ P.44）。

2 録音（●）ボタンを押して録音を開始する



・ 本機の録音表示ランプが点灯します。
・［●］表示が点灯します。

3 停止（■）ボタンを押して録音を停止する



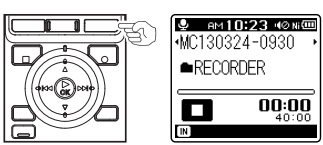
・［●］表示が消灯し、受信表示画面に戻ります。

内蔵マイクで録音する

マイク録音したファイルは自動的に［**レコーダー**］に保存されます。

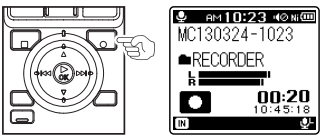
外部マイクや他の機器から録音する場合、あらかじめ接続をしてください（☞ P.54）。

1 レコーダー（🎙）ボタンを押す



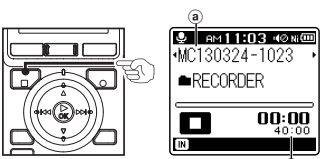
・ レコーダーモードになります。
・ 再生できるファイルが無い場合は［**ファイルがありません**］と表示されます。そのまま手順 2 へ進んでください。

2 録音（●）ボタンを押して録音を開始する



・ 録音したい方向に内蔵マイクを向けます。
・ 本機の録音表示ランプが点灯します。
・［■］表示が点灯します。

3 停止（■）ボタンを押して録音を停止する



ⓐ ファイル名（ファイル名を表示しきれない場合、スクロールします）
ⓑ ファイルの長さ

・［■］表示が消灯し、ファイル表示画面に戻ります。

録音に関する注意事項

・記録媒体（メモリ）は書き込みや削除を繰り返すことによって処理能力が落ち、音飛びした状態で録音されることがあります。このような場合には大切なファイルをパソコンに転送してから使用メモリの初期化をしてください（☞ P.103、P.107、P.114）。
・内蔵マイクや外部マイクまたは他の機器から録音する場合、録音の頭切れを防ぐため、録音表示ランプの点灯を確認してから録音してください。
・録音可能な残り時間が 60 秒になると、録音表示ランプが点滅を開始し、30 秒、10 秒と残量が減るにつれて点滅が早くなります。
・［**最長録音時間になりました**］と表示された場合、自動的に録音が停止します。
・［**ファイル件数がいっぱいになりました**］と表示された場合、選択したフォルダにはこれ以上録音できません。1 フォルダに最大 200 件のファイルを収納できます。ファイルを他のフォルダへ移動するか、不要なファイルを消去してから録音してください（☞ P.67、P.88）。
・［**メモリがいっぱいです**］と表示された場合、空き容量がありません。不要なファイルを消去してから録音してください（☞ P.67）。

録音に関する設定

AM/FM ラジオ、ワンセグ TV、レコーダーの各モードごとに、音質などを設定できます（☞ P.91 ～ P.93）。

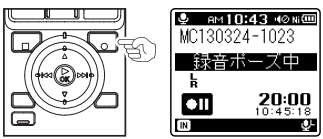
［録音設定］の設定項目：

［**録音音質**］	録音音質を設定します。
［**マイク感度**］	マイクの感度を設定します（マイク録音時のみ設定可能）。
［**VCVA 設定**］	音声起動録音（VCVA）を設定します（マイク録音時のみ設定可能）。

・録音中は［**録音設定**］の変更ができません。停止中に設定してください。
・録音した音源は、1 回の録音ごとに自動的にファイル名が付けられ保存されます（☞ P.40）。
・時間になると自動的に録音が終了する［**OFF タイマー**］を設定できます（☞ P.81）。

一時停止するには

1 録音中に**録音（●）**ボタンを押す



・［ ］表示が点灯します。
・録音一時停止のまま 60 分以上過ぎると停止状態になります。

2 **録音（●）**ボタンを**もう一度押す**
・一時停止した位置から録音を再開します。

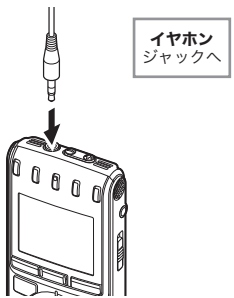
録音可能時間を確認するには

1 **停止状態で停止（■）**ボタンを**押し続ける**

・現在設定されている録音音質の設定で録音可能時間を表示します。
・現在日時が確認できます。
・ボタンを離すと元の画面に戻ります。
・ラジオファイルモードでは確認できません。

録音中の音声を聞くには（録音モニター）

1 本機の**イヤホン**ジャックにイヤホンを接続する
・録音モニターの音量は**＋**または**－**ボタンを押して調整できます。



・音量を変えても録音レベルは変化しません。
・耳への刺激を避けるため、音量を［**00**］にしてからイヤホンを入れてください。
・ハウリングをおこしますので、録音中はイヤホンをマイクに近づけないでください。

録音ファイルについて

本機で録音したファイルのサンプリングレートやビットレートの組み合わせは、設定した録音音質により下記のようになります（☞ P.91、P.92）。

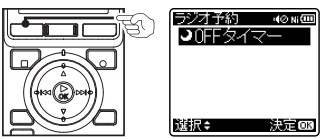
録音音質	サンプリング周波数／ビットレート
［高音質］	44.1 kHz ／ 128 kbps
［長時間音質］	22.05 kHz ／ 48 kbps

・［**録音音質**］の設定で［**高音質**］を選んだ場合、ステレオ形式で録音します。
［**長時間音質**］を選んだ場合、モノラル形式で録音します。

録音終了時間を設定する

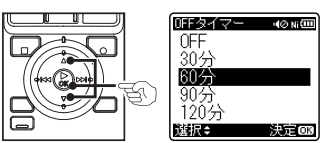
指定した時間で録音を終了できます。

1 録音中または録音一時停止中に**ラジオ /TV/ 予約（）**ボタンを押す



2 ▶OK ボタンを押す

3 ▲または▼ボタンを押して録音終了時間を選び、▶OK ボタンを押す



- 設定した時間が経過すると自動的に録音が終了し電源が切れます。
- 録音終了時間を解除する場合、再度手順1から手順３の操作をして［**OFF**］を選んでください。

外部マイクや他の機器から録音する

外部マイクや他の機器を接続し、音声を録音できます。ご使用の機器により、次のように接続してください。

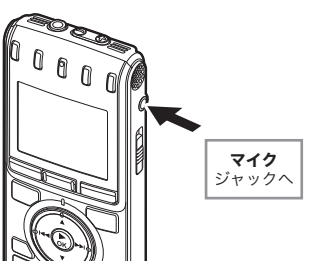
接続前にお読みください：

すべての機器とケーブルの接続が終了するまでは、電源を入れないでください。また、録音中に本機の**マイク**ジャックへの抜き差しはしないでください。

外部マイクや他の機器を使用して録音する場合、［**レコーダー**］モードに切り替えてください。

外部マイクで録音する：

1 **マイク**ジャックに外部マイクを接続する



・ご使用いただける外部マイクについては、「**アクセサリー（別売）**」をご覧ください（☞ P.121）。

ヒント！

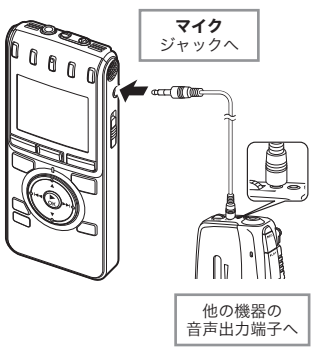
・本機の**マイク**ジャックに外部マイクをつなぐと、内蔵マイクは動作しなくなります。
・本機から電源の供給を受けるプラグインパワー対応のマイクもご使用になれます。

ご注意

・［**録音音質**］の設定で［**高音質**］を選んだ場合、外部モノラルマイクを接続して録音すると L チャンネルのみに音声が録音されます（☞ P.91、P.92）。
・［**録音音質**］の設定で［**長時間音質**］を選んだ場合、外部ステレオマイクを接続して録音しても L 側マイクのみの録音となります（☞ P.91、P.92）。

他の機器の音声を本機で録音する:

他の機器の音声出力端子（イヤホンジャック）と本機の**マイク**ジャックをダビング用コネクティングコード KA333（別売）でつなぐと、接続した機器の音声を録音できます。

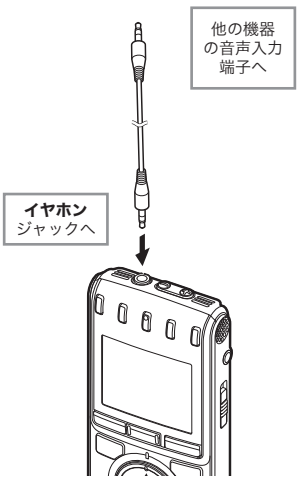


ご注意

・外部機器を接続する場合、試し録音をして外部機器の出力レベルを調整してください。

本機の音声を他の機器で録音する:

他の機器の音声入力端子（マイクジャック）と本機の**イヤホン**ジャックをダビング用コネクティングコード KA333（別売）でつなぐと、本機の音声を接続した機器で録音できます。



再生する

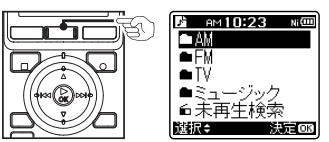
本機で録音したファイルのほか、パソコンから転送した MP3、WMA 形式のファイルを再生できます。

> PJ-35 では、再生機能の一部をアンテナステーションでも操作できます。

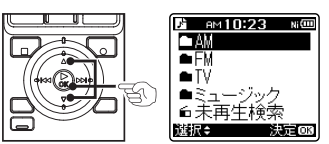
ラジオファイルまたは音楽ファイルを再生する

ラジオから録音したファイルまたは音楽ファイルを再生します。

1 **ラジオファイル**（🎵）ボタンを押す

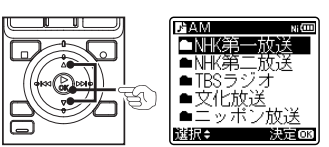


2 ▲または▼ボタンを押して再生したいファイルの保存先を選び、▶OK ボタンを押す

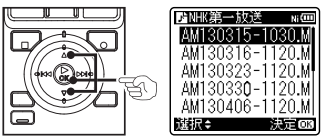


・ **ラジオファイル**（🎵）ボタンを繰り返し押しても保存先を選べます。

3 ▲または▼ボタンで再生したいファイルが保存されているフォルダを選び、▶OK ボタンを押す

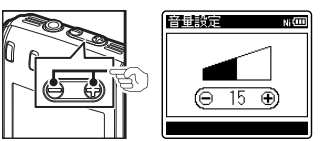


4 ▲または▼ボタンで再生したいファイルを選び、▶OK ボタンを押して再生を開始する



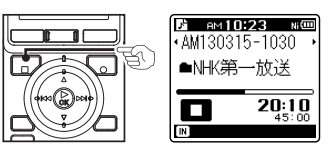
・ **戻る / リスト**ボタンを押すと、前の画面に戻ります。

5 **＋**または**－**ボタンを押して聞きやすい音量にする



・ [**0**] ～[**30**] の範囲で調整できます。数字が大きくなると音量が上がります。

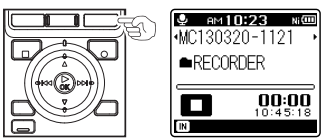
6 **停止**（■）ボタンを押して再生を停止する



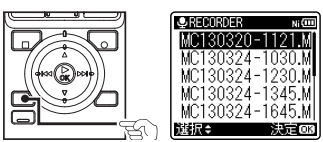
マイクから録音したファイルを再生する

内蔵マイクや**マイク**ジャックから録音したファイルを再生します。

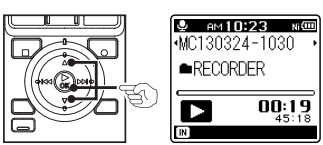
1 レコーダー (🎙) ボタンを押す



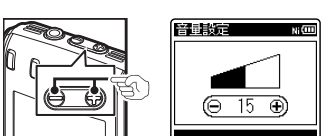
2 戻る / リストボタンを押す



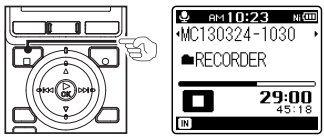
3 ▲または▼ボタンを押して再生したいファイルを選び、▶OK ボタンを押して再生する



4 +または−ボタンを押して聞きやすい音量にする



5 停止 (■) ボタンを押して再生を停止する



ヒント!

・手順 2 で ▶▶| または |◀◀ ボタンを押してファイルを選ぶことができます。

再生に関する設定

［**ラジオファイル**］または［**レコーダー**］モードでの再生方法は、目的やお好みに合わせてお選びいただけます（☞ P.94 ～ P.98）。

［再生設定］の設定項目：

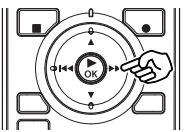
［**再生モード**］	お好みに合わせて再生モードをお選びいただけます。
［**シャドーイング**］	音あり再生と音なし再生を交互に繰り返します。
［**イコライザ**］	お好みに合わせて再生音質をお選びいただけます。
［**Dirac HD**］*1	アンテナステーションのスピーカ使用時にお選びいただけます。
［**少し戻る**］	現在位置から戻る間隔を設定します。
［**少し進む**］*1	現在位置から進む間隔を設定します。
［**しおり機能**］*2	ファイルの途中で再生を中断した位置を記憶できます。

*1 PJ-35（アンテナステーション接続時）のみ選択できます。
*2 AM、FM、ワンセグ TV ファイル再生時のみ機能します。

再生の操作について

PJ-35 では、本機またはアンテナステーションで操作できます。

早送りをするには



ファイル表示画面で停止中に、▶▶I ボタンを押し続ける

・▶▶I ボタンから手を離すと停止します。▶**OK** ボタンを押すと、その位置から再生します。

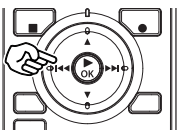
ファイル表示画面で再生中に、▶▶I ボタンを押し続ける

・▶▶I ボタンから手を離すと、その位置から再生します。

ヒント！

・ファイルの終わりまで進むといったん停止します。さらに ▶▶I ボタンを押し続けると、次のファイルの先頭から早送りを続けます。
・ファイルの途中でインデックスやテンプマークの位置にくると、いったん停止します（☞ P.62）。
・[**しおり機能**]*の設定が[**ON**]の場合、ファイルの途中でしおり位置にくると、いったん停止します（☞ P.94、P.98）。
* AM、FM、ワンセグ TV ファイル再生時のみ機能します。

早戻しをするには



ファイル表示画面で停止中に、I◀◀ ボタンを押し続ける

・I◀◀ ボタンから手を離すと停止します。▶**OK** ボタンを押すと、その位置から再生します。

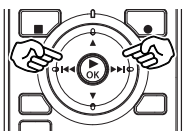
ファイル表示画面で再生中に、I◀◀ ボタンを押し続ける

・I◀◀ ボタンから手を離すと、その位置から再生します。

ヒント！

・ファイルの先頭まで戻るといったん停止します。さらに I◀◀ ボタンを押し続けると、前のファイルの終わりから早戻しを続けます。
・ファイルの途中でインデックスやテンプマークの位置にくると、いったん停止します（☞ P.62）。
・[**しおり機能**]*の設定が[**ON**]の場合、ファイルの途中でしおり位置にくると、いったん停止します（☞ P.94、P.98）。
* AM、FM、ワンセグ TV ファイル再生時のみ機能します。

ファイルの頭出しをするには



停止中または再生中に ▶▶I ボタンを押す

・次のファイルの頭出しをします。

再生中に I◀◀ ボタンを押す

・再生中のファイルの頭出しをします。

停止中に I◀◀ ボタンを押す

・1つ前のファイルの頭出しをします。ファイルの途中で停止している場合、そのファイルの頭出しをします。

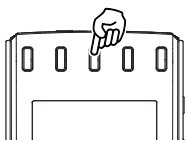
再生中に I◀◀ ボタンを 2 回押す

・1つ前のファイルの頭出しをします。

ご注意

・再生中に頭出しした際に、再生中のファイルにインデックスやテンプマークが設定されている場合はインデックスやテンプマークの位置でいったん停止します。停止中に頭出しをした場合、インデックスやテンプマーク位置は飛び越されます（☞ P.62）。
・［**しおり機能**］* の設定が［**ON**］の場合、再生中に頭出しすると途中にしおり位置があればいったん停止します。停止中の頭出しや、［**しおり機能**］の設定が［**OFF**］の場合、しおり位置は飛び越されます（☞ P.94、P.98）。
* AM、FM、ワンセグ TV ファイル再生時のみ機能します。

短い間隔で早戻しするには



停止中または再生中に少し戻るボタンを押す

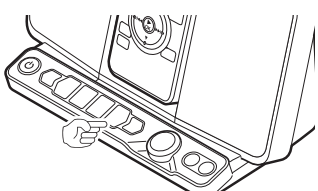
・停止中にボタンを押すと3秒（デフォルト）前に戻り停止します。
・再生中にボタンを押すと3秒（デフォルト）前に戻りその位置から再生します。

ヒント！

少し戻るボタンを押したときの戻る間隔を変更できます（☞ P.94、P.97）。

短い間隔で早送りするには (PJ-35 のみ)

アンテナステーションでのみ操作できます。あらかじめアンテナステーションに本機を接続して電源を入れてください。



停止中または再生中に少し進むボタンを押す

・停止中にボタンを押すと3秒（デフォルト）先に進み停止します。
・再生中にボタンを押すと3秒（デフォルト）先に進みその位置から再生します。

ヒント！

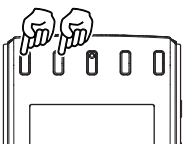
少し進むボタンを押したときの進む間隔を変更できます（☞ P.94、P.97）。

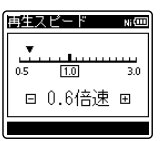
早聞き／遅聞き再生するには

再生スピードを 0.5 ～ 3 倍速の間で変更できます。

本機で操作するには：

1 再生中に**早聞き**ボタンまたは**遅聞き**ボタンを押して再生スピードを切り替える





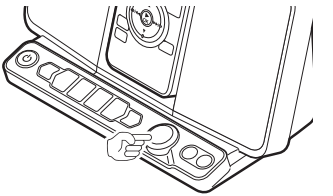
通常再生 (1.0 倍速)：
普通の再生スピードです。
遅聞き再生 (0.5 ～ 0.9 倍速)：
再生スピードが遅くなり、［▶］表示が点灯します。
早聞き再生 (1.1 ～ 3.0 倍速)：
再生スピードが早くなり、［▶］表示が点灯します。

- **早聞き**ボタンを押すたびに再生スピードが速くなります。ボタンを押し続けると変更スピードが上がります。
- **遅聞き**ボタンを押すたびに再生スピードが遅くなります。ボタンを押し続けると変更スピードが上がります。

ヒント！

- 早聞き・遅聞き再生時でも、通常の再生と同じように再生の停止、ファイルの頭出し、インデックスやテンプマーク (☞ P.62) の挿入などの操作ができます。
- 再生を停止しても、変更した再生スピードはそのまま保持されます。次に再生するときも変更した早さを保持します。

アンテナステーションで操作するには (PJ-35)：



再生中に再生スピードダイヤルを**＋**または**－**方向へ回します。ダイヤルは手を離すとセンター位置へ自動的に戻ります。

- **＋**方向に回すたびに再生スピードが速くなります。回したままにすると変更スピードが上がります。
- **－**方向に回すたびに再生スピードが遅くなります。回したままにすると変更スピードが上がります。
- アンテナステーションに接続して再生したときに、以下の条件下では［**通常再生速度に戻しました**］表示されます。
  - 接続する前に本機単体で早聞き・遅聞き再生をしていた場合、かつ［**Dirac HD**］(☞ P.94、P.97) の設定が［**OFF**］以外になっていた場合。
- アンテナステーションに接続して早聞き・遅聞き再生機能を使うときは［**Dirac HD**］(☞ P.94、P.97) の設定を［**OFF**］にしてください。

ご注意

- 再生ファイルのサンプリング周波数やビットレートにより正常に動作しないことがあります。この場合、早聞き再生の速度を落として再生してください。
- 再生ファイルのサンプリング周波数が 48 kHz や 32 kHz、WMA ファイル、ワンセグ TV 録音ファイル(OL3 ファイル) の場合、1.5 倍速までの早聞き再生となります。3 倍速での早聞き再生はできません。
- 再生ファイルのサンプリング周波数やビットレートにより正常に動作しないことがあります。この場合、早聞き再生の速度を落として再生してください。

音楽ファイルについて

本機に転送した音楽ファイルが再生できない場合、サンプリングレートやビットレートが再生できる範囲かご確認ください。本機で再生できる音楽ファイルのサンプリングレートやビットレートの組み合わせは下記のとおりになります。

ファイル形式	サンプリングレート	ビットレート
MP3	**MPEG1 Layer3**：32 kHz、44.1 kHz、48 kHz **MPEG2 Layer3**：16 kHz、22.05 kHz、24 kHz	8 kbps から 320 kbps まで
WMA	8 kHz、11 kHz、16 kHz、22 kHz、32 kHz、44.1 kHz、48 kHz	5 kbps から 320 kbps まで

・可変ビットレート(1 つのファイル内でビットレートを可変させて変換) の MP3 ファイルの再生については、正常に動作しない場合があります。
・本機は Microsoft Corporation の DRM9 に対応していますが、DRM10 には未対応です。

ワンセグ TV 録音ファイルについて

ワンセグ TV から録音したファイルは独自の録音形式 (OL3) の拡張子となり、著作権保護機能付きの音声ファイルフォーマットになります。

・録音した本機のみでしか再生できません。
・本機内のファイル移動 / コピー、ファイル分割はできません。
・パソコンに転送しても再生できません。

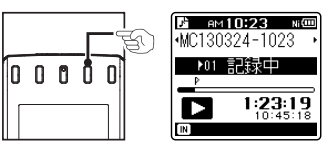
インデックス／テンプマークを付ける

インデックスやテンプマークを付けると、早送り・早戻しやファイルの頭出し操作で、聞きたい位置をすばやく探せます。
本機以外の機器で作成されたファイルにはインデックスマークが付けられませんが、代わりにテンプマークを付けることで聞きたい位置の一時記憶ができます。

インデックス／テンプマークを付ける

PJ-35 では、本機またはアンテナステーションで操作できます。

1 録音中、録音一時停止中または再生中に**インデックス**ボタンを押す



- 画面に番号が表示されインデックス／テンプマークが付きます。
- インデックス／テンプマークを付けたあとも録音または再生は続きますので、同様の操作で別の場所にインデックス／テンプマークを付けることができます。

ヒント！

- インデックス／テンプマークは 1 つのファイル内に 99 件まで付けることができます。99 件を超えてインデックス／テンプマークを付けようとすると［**これ以上記録できません**］が表示されます。

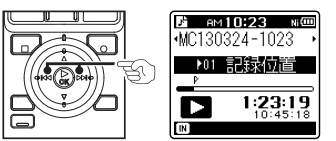
ご注意

- テンプマークは一時的なマーキングです。他のファイルへ切り替えたり、停止中にリスト表示画面への切り替えやパソコンとの接続などを行なうと自動的に消去されます。
- ファイルロックがかかっているファイルにはインデックス／テンプマークを付けることはできません。

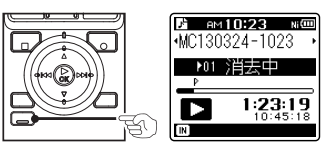
インデックス／テンプマークを消去する

1 消去したいインデックス／テンプマークのあるファイルを再生する（☞ P.56）

2 ▶▶I または I◀◀ ボタンを押して消去したいインデックス／テンプマークを選ぶ



3 インデックス／テンプマーク番号が表示されている間（約 2 秒間）に、**消去**ボタンを押す



- インデックス／テンプマークが消去されます。
- 消去したインデックス／テンプマーク以降のインデックス／テンプマーク番号は自動的に繰り上がります。

ご注意

- ファイルロックがかかっているファイルは、インデックスマーク／テンプマークを消去することはできません。

A-B リピート再生のしかた

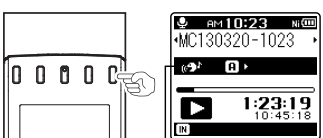
再生中のファイルの一部分を繰り返し再生できます。語学学習のときに便利なシャドーイング再生機能が使用できます。
シャドーイング再生機能を使う場合は、あらかじめ［**シャドーイング**］の設定を［**ON**］にしてください（☞ P.94、P.96）。

> PJ-35 では、本機またはアンテナステーションで操作できます。

1 ファイルを再生をする（☞ P.56）

・ ファイル表示画面では、▶▶I または I◀◀ ボタンを押してファイルを選び、OK ▶ ボタンを押します。

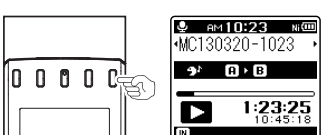
2 A-B リピート再生の開始位置で、A – B ボタンを押す



シャドーイング

・［A ▶］表示が点灯します。
・［**シャドーイング**］を［**ON**］に設定している場合は［ ］が点灯します。

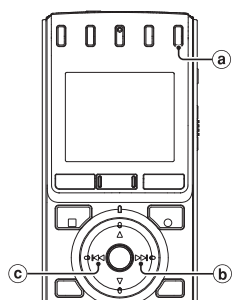
3 A-B リピート再生を終了させたい位置で、もう一度 A – B ボタンを押す



・ A-B リピート再生を解除するまで、繰り返し再生します。
・［**シャドーイング**］が有効になっている場合は、繰り返し区間を通常の音量で再生後に、無音または小音量で繰り返し区間を再生します。解除するまでこの一連の動作を繰り返します。

A-B リピート再生を解除する

下記のいずれかのボタンを押すと、A-B リピート再生は解除されます。



ⓐ A – B ボタンを押す。
・ **A – B** ボタンを押すと、A-B リピート再生が解除され、そのまま再生が継続します。

ⓑ I◀◀ ボタンを押す。
・ I◀◀ ボタンを押すと、A-B リピート再生が解除され、頭出しになります。

ⓒ ▶▶I ボタンを押す。
・ ▶▶I ボタンを押すと、A-B リピート再生が解除され、頭出しになります。

ご注意

・ A-B リピート再生中にインデックス／テンプマークの挿入・消去をした場合、A-B リピート再生が解除され通常の再生に戻ります（☞ P.62）。
・ **停止**（■）ボタンを押すと再生が停止します。A-B リピート再生区間は解除されません。

ファイル検索

ファイルを探すときにいろいろな検索方法を選べます。

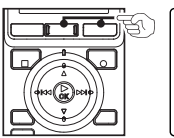
ファイル検索の種類：

フォルダで探す	ラジオファイルモードでは［**AM**］［**FM**］［**TV**］［**ミュージック**］から絞り込みます。 レコーダーモードでは［**レコーダー**］内から探します。録音開始日時がファイル名になっていますので、ファイルリスト表示にすると探しやすくなります。
放送局から探す *	ラジオファイルモードで［**AM**］［**FM**］［**TV**］内の各放送局フォルダから絞り込みます。
未再生ファイルで探す *	1度も再生していないファイルで絞り込みます。［**未再生検索**］を選んでください。
録音した日付で探す *	録音を実施した日付で絞り込みます。［**カレンダー検索**］を選んでください。
すべてのファイルで探す *	［**ラジオファイル**］内に保存されているファイルから絞り込みます。［**すべて**］を選んでください。

* ラジオファイルモードのみ（［**ミュージック**］は除く）

ファイル検索の操作

1 ラジオファイル（）ボタンまたは録音（）ボタンを押す



ラジオファイルモードの場合

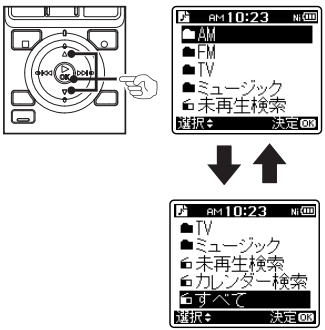
レコーダーモードの場合

- ラジオ放送・ワンセグ TV から録音したファイル、または音楽ファイルを選ぶ場合：**ラジオファイル**（）ボタンを押します。
- 内蔵マイクまたはマイクジャックから録音したファイルを選ぶ場合：**レコーダー（）**ボタンを押します。

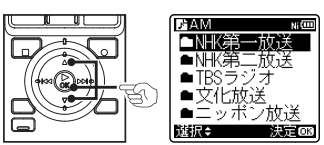
ヒント！

・レコーダーモードの場合はファイル表示画面になります。
►►I または I◄◄ ボタンを押してファイルを選ぶか、**戻る / リスト**ボタンを押してファイルリスト表示にしてから▲または▼ボタンでファイルを選んでください。
レコーダーモードのファイル選択はこの手順で終了です。

2 ▲または▼ボタンを押して ファイル検索の種類を選び、 ▶OK ボタンを押す



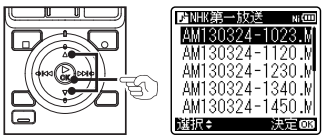
3 ▲または▼ボタンを押して フォルダを選び、▶OK ボタンを押す



［**AM**］フォルダを選んだ場合

- 選んだフォルダ下の階層に移動します。［**ミュージック**］フォルダの場合、さらにフォルダがあれば同じように操作できます。
- 検索の途中で**戻る / リスト**ボタンを押すと前の画面に戻ります。
- フォルダ検索を途中でやめる場合、**ラジオファイル**（🖻）ボタンを押してください。

4 ▲または▼ボタンを押して ファイルを選び、▶OK ボタンを押す



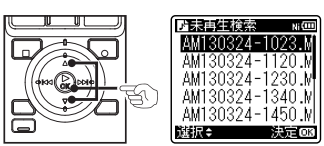
- ファイルの再生が開始されます。

ファイル検索画面の操作

［未再生検索］で絞り込む場合

まだ再生していないすべてのファイルをリスト表示します。検索は［**AM**］［**FM**］［**TV**］の範囲となります。

1 ▲または▼ボタンを押して ファイルを選び、▶OK ボタンを押す



- ファイルの再生が開始されます。

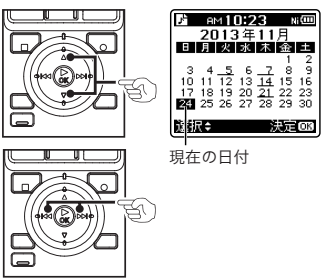
［カレンダー検索］で絞り込む場合

本機で録音した日付を指定して絞り込みます。検索は［**AM**］［**FM**］［**TV**］の範囲となります。

例：11 月 14 日で絞り込む場合：

最後に録音した日付にカーソルが表示されます。カーソルを下記の操作で 11 月 14 日に移動させてください。

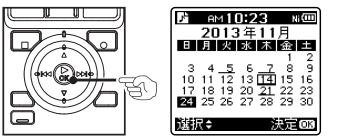
1 ▲、▼、▶▶I または I◀◀ ボタンを押してカーソルを移動する



現在の日付

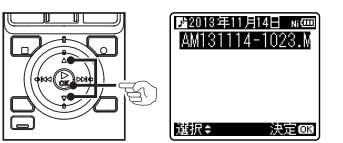
- 本機で録音した日付には、アンダーラインが表示されます。
- ▲または I◀◀ ボタンを押すたびに、録音した日付がさかのぼります。日付を進める場合、▼または ▶▶I ボタンを押してください。
- ▲または▼ボタンを押し続けると、カーソルを早く移動させることができます。▶▶I または I◀◀ ボタンを押し続けると、翌日（前日）以降の録音ファイルがある日付にスキップします。
- カレンダー検索を途中でやめる場合、**ラジオファイル**（🄻）ボタンを押してください。

2 日付を合わせて、▶OK ボタンを押す



11 月 14 日に合わせる

3 ▲または▼ボタンを押してファイルを選び、▶OK ボタンを押す



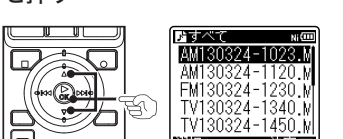
指定した日付に録音したファイルがリスト表示されます。

- ファイルの再生が開始されます。

［すべて］を選んだ場合

本機に保存しているすべてのファイルをリスト表示します。検索は［**AM**］［**FM**］［**TV**］の範囲となります。

1 ▲または▼ボタンを押してファイルを選び、▶OK ボタンを押す



- ファイルの再生が開始されます。

消去する

不要なファイルを消去します。誤消去防止のため、消去する前には必ず内容をお確かめください。

ファイルを消去する

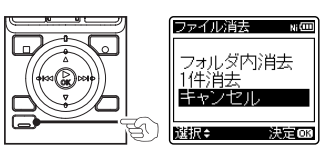
1 削除したいファイルを選び、**停止**（■）ボタンを押す

ファイル表示画面

ラジオファイルまたは音楽ファイルの場合：
「ラジオファイルまたは音楽ファイルを再生する」（☞ P.56）の手順 1 ～ 4 を行なってください。

マイク録音したファイルの場合：
「マイクから録音したファイルを再生する」（☞ P.57）の手順 1 ～ 3 を行なってください。

2 ファイル表示画面で停止中に、**消去**ボタンを押す



・ 再生中は消去できません。**停止**（■）ボタンを押して再生を停止してください。

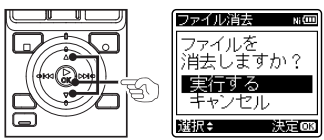
3 ▲または▼ボタンを押して［**フォルダ内消去**］または［**1件消去**］を選び、▶OK ボタンを押す

例：［**1 件消去**］を選んだ場合

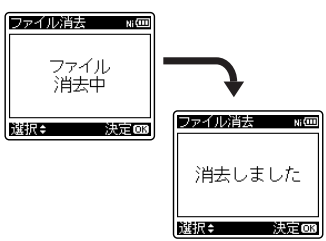
ヒント！

・ 操作中に 8 秒間何も操作が無かった場合、ファイル表示画面に戻ります。

4 ▲または▼ボタンを押して［**実行する**］を選び、▶OK ボタンを押す



・［**ファイル消去中**］にかわり、消去を開始します。［**消去しました**］と表示されたら終了です。



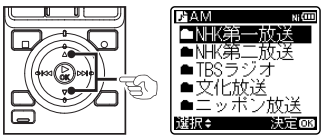
・［**フォルダ内消去**］では、ファイルが消去の対象になります。消去するファイルと同階層にフォルダがあった場合、そのフォルダは消去されません。

フォルダを消去する（ラジオファイルモードのみ）

ラジオファイルまたは音楽ファイルをフォルダを含めて削除します。レコーダーモードでは使用できません。

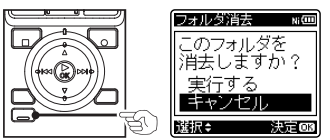
1 **「ラジオファイルまたは音楽ファイルを再生する」**の手順 1 ～ 2 の操作をする（☞ P.56）

2 ▲または▼ボタンを押して削除するフォルダを選ぶ



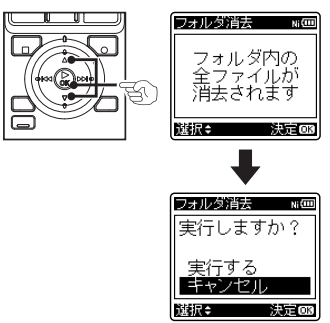
例：フォルダを選んだ場合

3 停止中に**消去**ボタンを押す



・ 再生中は消去できません。**停止**（■）ボタンを押して再生を停止してください。

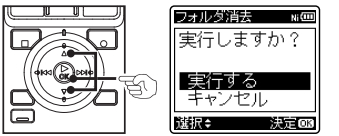
4 ▲または▼ボタンを押して［**実行する**］を選び、▶OK ボタンを押す



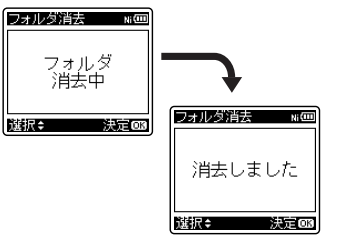
ヒント！

・ 操作中に 8 秒間何も操作が無かった場合、［**フォルダリスト**］画面に戻ります。

5 ▲または▼ボタンを押して［**実行する**］を選び、▶OK ボタンを押す



・［**フォルダ消去中**］にかわり、消去を開始します。［**消去しました**］と表示されたら終了です。



消去に関するご注意

・ ファイルロックされているファイルおよび本機で認識できないファイルは消去されません。消去できないファイルが含まれたフォルダは消去できません。
・ 3 階層以下のフォルダを含んでいる親フォルダは消去できません。
・ 処理が終了するまで数十秒かかる場合があります。その間は絶対に電池を取り外さないでください。データが破損するおそれがあります。また、処理中に電池が切れることがないように、操作の前にあらかじめ電池を充電するか新しい電池に交換してください。

予約録音の設定

AM/FM、ワンセグ TV の放送番組の予約録音ができます。録音中やファイルの再生中は予約の設定はできません

ご確認ください

予約録音の場合、操作の前に下記の内容をご確認ください。

- ✔ **初期設定がお済みでない場合**：日付・時刻の設定および放送局の登録をしてください（☞ P.22）。
- ✔ **時刻が合っていない場合：**日付・時刻を合わせ直してください（☞ P.103、P.104）。
- ✔ **放送局の登録がない場合：**あらかじめ登録してください（☞ P.82、P.84）。
- ✔ 予約録音をする場合、安定した受信ができる環境でのご使用をおすすめします（☞ P.31、P.43）。
- ✔ アンテナステーション（同梱）を使用すると、家庭用電源から本機の電源を供給できます（☞ P.31）。
- ✔ あらかじめメモリの残量を確認してください。メモリ残量が無くなると録音が途中で終了します（☞ P.103、P.108）。

ラジオサーバーポケット アプリケーション「予約設定ツール」

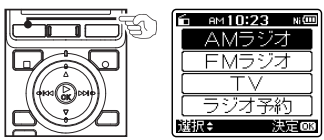
パソコンと接続して予約録音や放送局名の編集などができます。ご入手方法など詳しくは、当社 Web サイトでご確認ください。

http://olympus-imaging.jp/

予約内容を設定する

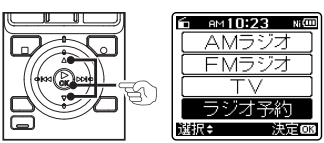
予約録音は、録音日時を指定して録音するほか、曜日を指定して繰り返し録音することもできます。特定の日に放送される番組や毎週同じ時間帯に放送される番組など、目的に合わせて設定できます。

1 ラジオ /TV/ 予約（🗀）ボタンを押す

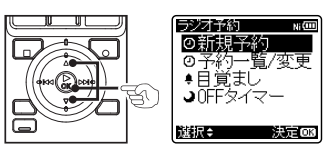


・ 設定をやめる場合、**停止**（■）ボタンを押してください（設定途中の内容は破棄されます）。

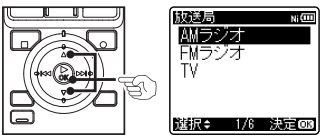
2 ▲または▼ボタンを押して［ラジオ予約］を選び、▶OK ボタンを押す



3 ▲または▼ボタンを押して［新規予約］を選び、▶OK ボタンを押す

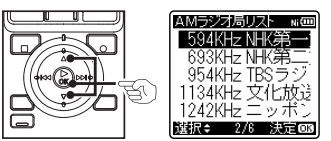


4 ▲または▼ボタンを押して予約したい放送局を選び、▶OK ボタンを押す

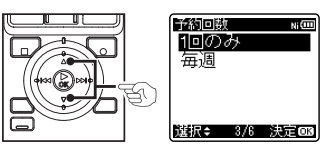


・ 設定の途中で**戻る / リスト**ボタンを押すと前の画面に戻ります。

5 ▲または▼ボタンを押して放送局リストから予約したい放送局を選び、▶OK ボタンを押す

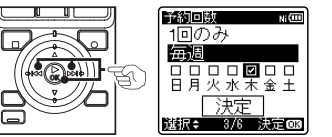


6 ▲または▼ボタンを押して予約回数を選ぶ



［1 回のみ］を選んだ場合：
設定した日時で 1 回だけ録音が行われます。▶OK ボタンを押して手順 9 へ進んでください。
［毎週］を選んだ場合：
設定した各曜日で録音が行われます。［**毎週**］を選ぶと画面下に各曜日が表示されます。手順 7 へ進んでください。

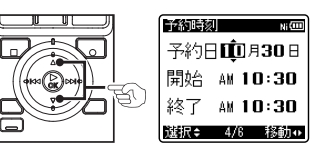
7 ▶▶I または I◀◀ ボタンを押して予約したい曜日を選び、▶OK ボタンを押す



・ 複数の曜日で予約するときは、手順 7 を繰り返してください。設定した曜日にはチェックマークが付きます。
・ 設定した曜日を解除するには、▶▶I または I◀◀ ボタンを押してチェックマークがついた曜日を選び、▶OK ボタンを押します。

8 ▼ボタンを押して［決定］を選び、▶OK ボタンを押す

9 ▲または▼ボタンを押して予約時刻を変更する



［**1 回**］を選んだ場合

［**毎週**］を選んだ場合

・ ▶▶I または I◀◀ ボタンで他の項目へ移動します。同様に▲または▼ボタンを押して数値を変更します。
・ 予約日、開始時刻および終了時刻は設定している現在の日付と時刻を表示します。

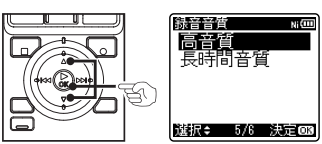
・ 時間表示（12 時間表示または 24 時間表示）は、［**時計設定**］の設定によって異なります。12 時間表示の場合は、午前と午後の 12 時をお間違えにならないようご注意ください（昼の 12 時の場合は、［**PM12：00**］に設定します）。
・ ▲または▼ボタンを押し続けると、数値の増減が速くなります。
・ 設定した予約日時が設定を開始した日付より 1 ヶ月以上先の場合、［**1 ヶ月以上先の予約です**］と表示します。▲または▼ボタンを押して［**実行する**］または［**キャンセル**］選んで ▶OK ボタンを押してください。

10 ▶OK ボタンを押す

ヒント！

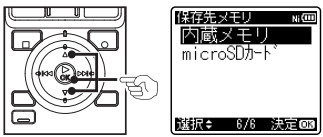
・［**開始／終了時刻が同じです**］と表示された場合は開始時刻と終了時刻を最低1分以上空けてください。
・ 1 件の予約録音は最大 23 時間 59 分まで録音できます。

11 ▲または▼ボタンを押して録音音質を選び、▶OK ボタンを押す



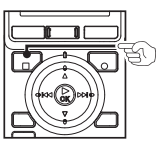
［**高音質**］：
　ステレオ高音質で録音します
［**長時間音質**］：
　モノラルで長時間録音します

12 ▲または▼ボタンを押して保存先を選び、▶OK ボタンを押す



・ 本機に microSD カードを挿入しておくと、［**microSD カード**］が選択できます。

13 停止（■）ボタンを押して設定を終了する



・ ラジオ受信モード画面やファイル表示画面に戻ると予約録音表示が点灯します。

予約録音表示

ヒント！

・ 予約録音と目覚まし機能の開始時刻が同時刻に設定されている場合、予約録音が優先されます。
・ 予約できる件数は 30 件（PJ-30 は 20 件）となります。

ご注意

・ 終了時刻と他の予約番号の開始時刻が同じ場合、前の予約録音が設定時刻より早めに終了し、次の予約録音が開始されますのでご注意ください。

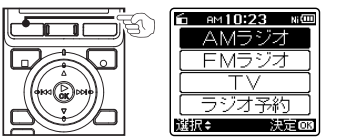
・予約録音時間がほかの予約内容と重複している場合、[**予約02と重複しています**]のように表示され、重複先の予約番号をお知らせします。[**日時**]で重複しない時刻を設定し直してください。設定中の予約録音を優先する場合、重複先の予約番号を動作させないようにするか、重複先の予約番号の設定内容を消去してから、再度設定してください（☞ P.74、P.76）。
・パソコンと接続している場合、予約録音機能は働きません。
・保存先に microSD カードを指定した後に microSD カードを取り出した場合は、保存先となるフォルダを内蔵メモリ内に自動的に生成し録音します。
・microSD カードの交換やフォルダの消去によって保存先となるフォルダが予約録音開始時にない場合は、自動的にフォルダを生成し録音します。
・保存先となるフォルダのファイル件数が200 件に達した場合、別フォルダを自動生成し録音します。自動生成されたフォルダは「元フォルダ名 _ 数字（連番）」となります。

1時間あたりのファイル容量(めやす)

[高音質]	約 55 MB
[長時間音質]	約 21 MB

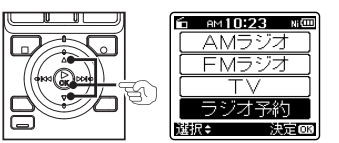
予約内容を変更する

1 ラジオ /TV/ 予約（）ボタンを押す

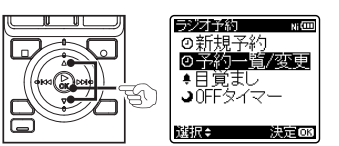


・ 録音中やファイルの再生中は予約の設定はできません。
・ 設定をやめる場合、**停止**（■）ボタンを押してください（設定途中の内容は破棄されます）。

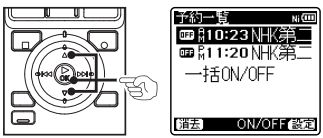
2 ▲または▼ボタンを押して［ラジオ予約］を選び、▶OK ボタンを押す



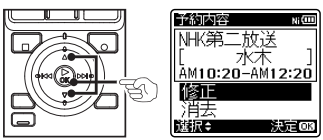
3 ▲または▼ボタンを押して［予約一覧 / 変更］を選び、▶OK ボタンを押す



4 ▲または▼ボタンを押して変更したい予約番号を選び、▶OK ボタンを押す



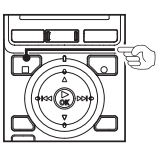
5 ▲または▼ボタンを押して［**修正**］を選び、▶OK を押す



・ 設定の途中で**戻る / リスト**ボタンを押すと前の画面に戻ります。

6 **「予約内容を設定する」**の手順 4 ～ 12 を行ない、内容を変更する (☞ P.70)

7 **停止（■）**ボタンを押して設定を終了する



ご注意

・ 予約録音時間がほかの予約内容と重複している場合、［**予約 02 と重複しています**］のように表示され、重複先の予約番号をお知らせします。［**日時**］で重複しない時刻を設定し直してください (☞ P.72)。
設定中の予約録音を優先する場合、重複先の予約番号を動作させないようにするか、重複先の予約番号の設定内容を消去してから、再度設定してください (☞ P.74、P.76)。

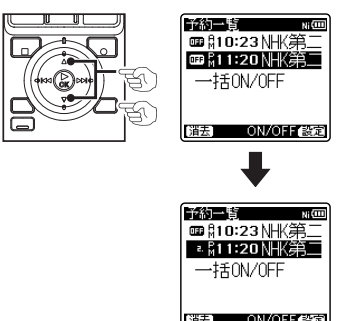
予約内容のオン・オフを切り替える

1件ずつ切り替える

すでに設定済みの予約番号のオン・オフを設定できます。

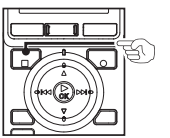
1 **「予約内容を変更する」**の手順 1 から手順 3 まで操作する（☞ P.72）

2 ▲または▼ボタンを押して切り替えたい予約番号を選び、**設定**ボタンを押す



- **設定**ボタンを押すたびにオン・オフが切り替わります。
- ［**OFF**］に設定した場合でも設定内容は保持しています。

3 **停止（■）**ボタンを押して設定を終了する



ご注意

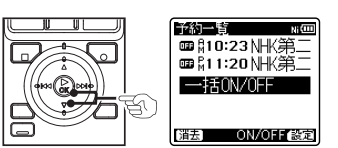
- 予約録音の開始時刻がほかの予約内容と重複している場合、［**予約 02 と重複しています**］のように表示され、重複先の予約番号をお知らせします。この場合、重複先の予約番号を動作させないようにするか、重複先の予約番号の設定内容を消去してください（☞ P.76）。

一括で切り替える

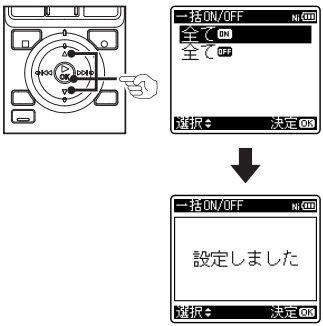
すでに設定済みの予約番号のオン・オフを一括で設定できます。

1 **「予約内容を変更する」**の手順 1 から手順 3 まで操作する（☞ P.72）

2 ▼ボタンを押して画面下にある［**一括 ON/OFF**］を選び、▶OK ボタンを押す

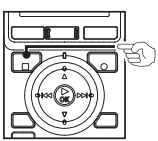


3 ▲または▼ボタンを押して［**全て ON**］または［**全て OFF**］を選び、▶OK ボタンを押す



・［**OFF**］を選んだ場合でも設定内容は保持しています。

4 **停止（■）**ボタンを押して設定を終了する



ご注意

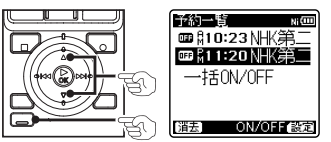
・予約録音の開始時刻がほかの予約内容と重複している場合、［**重複した予約があります**］と表示されます。重複先がわからない場合などは、［**全て OFF**］を選び、予約録音を1件ずつ［**ON**］に設定して重複を解消してください（☞ P.74）。

予約内容の消去

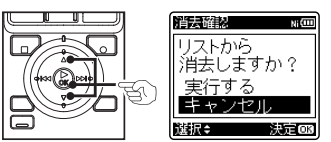
予約番号を選び、予約内容を消去できます。

1 **「予約内容を変更する」**の手順1から手順3まで操作する
(☞ P.72)

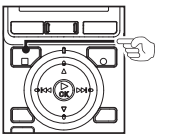
2 ▲または▼ボタンを押して消去したい予約番号を選び、**消去**ボタンを押す



3 ▲または▼ボタンを押して［**実行する**］を選び、▶OKボタンを押す



4 **停止**（■）ボタンを押して設定を終了する



目覚まし機能

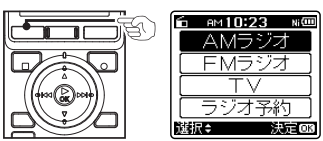
お好きな放送番組、音楽やアラーム音でお目覚めできます。特定の曜日だけ作動させることができます。

ご確認ください

・あらかじめ日付・時刻の設定および放送局の登録をしてください（☞ P.22、P.82、P.84、P.103、P.104）。

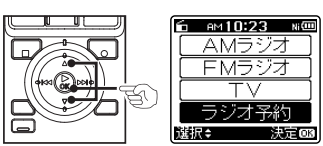
目覚ましを設定する

1 ラジオ /TV/ 予約（）ボタンを押す

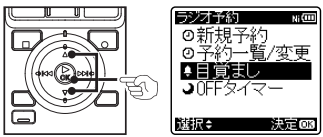


・ 録音中やファイルの再生中は目覚ましの設定はできません。
・ 設定をやめる場合、**停止**（■）ボタンを押してください（設定途中の内容は破棄されます）。

2 ▲または▼ボタンを押して［ラジオ予約］を選び、▶OK ボタンを押す

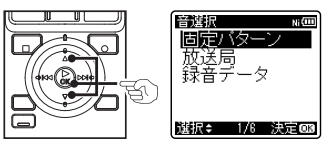


3 ▲または▼ボタンを押して［目覚まし］を選び、▶OK ボタンを押す



・ 設定の途中で**戻る / リスト**ボタンを押すと前の画面に戻ります。

4 ▲または▼ボタンを押して目覚ましの音を選び、▶OK ボタンを押す。



固定パターン：設定時刻になるとアラーム音が鳴ります。
放送局：設定時刻になるとラジオ / ワンセグ TV を受信します。
録音データ：設定時刻になると本機に保存されているファイルを再生します。

5 ▲または▼ボタンを押して音の種類を選び、▶OK ボタンを押す。

［固定パターン］を選んだ場合：
［**固定パターン 1**］または［**固定パターン 2**］から選べます。

① ▲または▼ボタンを押してパターンを選び、▶OK ボタンを押してください。音の種類は手順 6 で確認できます。

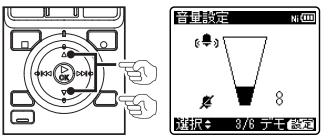
［放送局］を選んだ場合：
［**AM ラジオ**］［**FM ラジオ**］［**TV**］から選べます。

① ▲または▼ボタンを押して設定したい音源を選び、▶OK ボタンを押してください。
② ▲または▼ボタンを押して各音源の放送局を選び、▶OK ボタンを押してください。

［録音データ］を選んだ場合：
［**AM**］［**FM**］［**TV**］［**RECORDER**］［**MUSIC**］から選べます。

① ▲または▼ボタンを押して設定したい音源を選び、▶OK ボタンを押してください。
② ▲または▼ボタンを押して再生したいファイルが保存されているフォルダまたはファイルを選び、▶OK ボタンを押してください。
・ 必要に応じてこの操作を繰り返して再生したいファイルを選んでください。▶OK ボタンを押すと確定します。
・ 設定の途中で**戻る / リスト**ボタンを押すと、前の画面に戻ります。

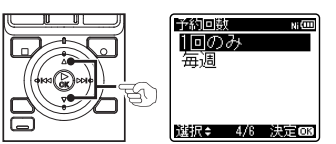
6 ▲または▼ボタンを押して音量レベルを選び、設定ボタンを押して試聴する



・［**音量設定**］画面で**設定**ボタンを押すと、目覚まし作動時の試聴（デモ）ができます。音量および目覚ましの音を確認してください。もう一度**設定**ボタンを押すとデモが停止します。
・ 内容を変更する場合は、**戻る / リスト**ボタンを押して手順 5 に戻ってください。

7 ▶OK ボタンを押す

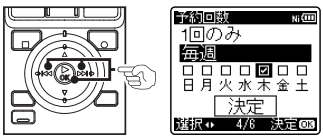
8 ▲または▼ボタンを押して予約回数を選ぶ



［1 回のみ］を選んだ場合：
設定した日時で 1 回だけ目覚ましが動作します。▶OK ボタンを押して手順 11 へ進んでください。

［毎週］を選んだ場合：
設定した各曜日で目覚ましが動作します。［**毎週**］を選ぶと画面下に各曜日が表示されます。手順 9 へ進んでください。

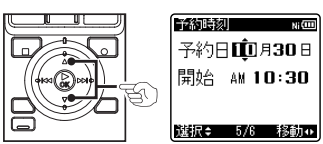
9 ▶▶I または I◀◀ ボタンで作動させたい曜日を選び、▶OK ボタンを押す



- 複数の曜日で作動させるときは、手順 9 を繰り返してください。設定した曜日にはチェックマークが付きます。
- 設定した曜日を解除するには、▶▶I または I◀◀ ボタンを押してチェックマークがついた曜日を選び、▶OK ボタンを押します。

10 ▼ボタンを押して［**決定**］を選び、▶OK ボタンを押す

11 ▲または▼ボタンを押して予約時刻を変更する



［**1 回**］を選んだ場合

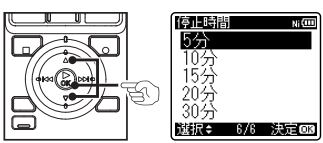
［**毎週**］を選んだ場合

- ▶▶I または I◀◀ ボタンで他の項目へ移動します。同様に▲または▼ボタンを押して数値を変更します。
- 予約日、開始時刻は、設定している現在の日付と時刻を表示します。
- 時間表示（12 時間表示または 24 時間表示）は、［**時計設定**］の設定によって異なります。12 時間表示の場合は、午前と午後の 12 時をお間違えにならないようご注意ください（昼の 12 時の場合は、［**PM12：00**］に設定します）。
- ▲または▼ボタンを押し続けると、数値の増減が速くなります。

12 ▶OK ボタンを押す

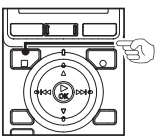
- 設定した予約日時が設定を開始した日付より 1 ヶ月以上先の場合、［**1 ヶ月以上先の予約です**］と表示します。▲または▼ボタンを押して［**実行する**］または［**キャンセル**］選んで▶OK ボタンを押してください。

13 ▲または▼ボタンを押して停止時間を選び、▶OK ボタンを押す



- 目覚ましが作動している時間を設定します。

14 停止（■）ボタンを押して設定を終了する



・ ラジオ受信モード画面やファイル表示画面に戻ると目覚まし機能表示が点灯します。

目覚まし機能表示

ヒント！

・目覚ましの再生音を止める場合は、**停止**（■）ボタンを押してください。

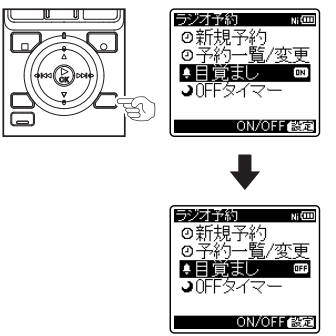
ご注意

・予約時間が重複している場合、［**予約 02 と重複しています**］のように表示され、重複先の予約番号をお知らせします。予約録音と目覚まし機能の開始時刻が同時刻に設定されている場合、予約録音が優先されますのでご注意ください。
・設定した時刻になると、目覚まし機能が作動します。電源オフの状態から作動した場合は停止時間になると自動的に電源が切れます。
電源オンの状態から作動した場合は、停止時間になっても電源は切れません。
・以下のような操作を行うと、目覚ましの再生音は［**固定パターン 1**］になります。
- ［**音選択**］で指定したファイルおよび放送局の登録を消去する。
- microSD カード内のファイルを［**音選択**］で設定後に、microSD カードを抜いた状態にする。
・パソコンと接続している場合、目覚まし機能は働きません。

目覚ましのオン・オフを切り替える

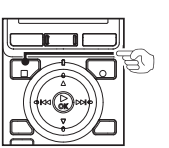
1 「目覚ましを設定する」の手順 1 ～ 3 を操作する（☞ P.77）

2 設定ボタンを押して ON または OFF を切り替える



・ **設定**ボタンを押すたびに **ON** または **OFF** を切り替えます。
・［**OFF**］を選んだ場合でも設定内容は保持しています。

3 停止（■）ボタンを押して設定を終了する

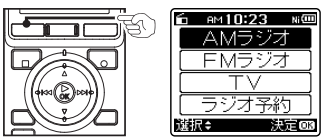


OFF タイマー

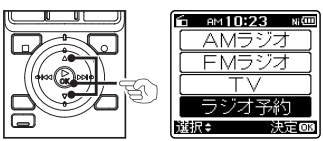
設定した時間が経過すると自動的に本機の電源が切れます。

OFF タイマーを設定する

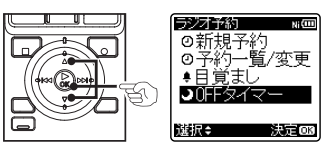
1 **ラジオ /TV/ 予約 (🔒) ボタンを押す**



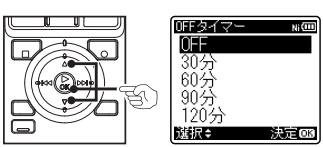
2 **▲または▼ボタンを押して［ラジオ予約］を選び、▶OK ボタンを押す**



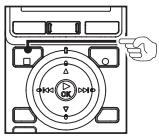
3 **▲または▼ボタンを押して［OFF タイマー］を選び、▶OK ボタンを押す**



4 **▲または▼ボタンを押してお好みの時間を選び、▶OK ボタンを押す**



5 **停止 (■) ボタンを押して設定を終了する**



・ ラジオ受信モード画面やファイル表示画面に戻ると OFF タイマー表示が点灯します。

OFF タイマー表示

ご注意

・OFF タイマーはラジオ受信中、録音中、再生中でも動作しますが、以下の条件では設定した時間が経過しても動作しません。
  ・パソコンと接続中
  ・予約録音動作中
  ・目覚ましの動作中
・OFF タイマーとスリープ機能が設定されている場合、設定時間が短い機能が優先されます。

ラジオ設定

AM/FM ラジオ、ワンセグ TV 受信時に関する機能を設定します。

ラジオの機能を設定する

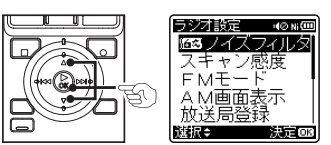
1 **「放送局リストから放送局を選ぶ」**の手順 1 から手順 3 までを操作する (☞ P.44)

2 **設定**ボタンを押す

・ 設定を途中でやめる場合、**停止**（■）ボタンを押してください（設定途中の内容は破棄されます）。

3 ▶OK ボタンを押す

4 ▲または▼ボタンを押して設定項目を選び、▶OK ボタンを押す



・ 設定の途中で**戻る / リスト**ボタンを押すと前の画面に戻ります。

ラジオ受信／録音に関する設定項目：

［**ノイズフィルタ**］(☞ P.83)

➥ AM/FM ラジオの耳障りなノイズを低減します。ラジオ受信時、録音時のみ働きます。

［**スキャン感度**］(☞ P.83)

➥ AM/FM ラジオ放送局検索時のスキャン感度を設定できます。

［**FM モード**］(☞ P.83)

➥ FM ラジオの音声出力（ステレオ／モノラル受信）を設定できます。

［**AM 画面表示**］(☞ P.83)

➥ AM ラジオを受信中に画面を表示させる・させないを設定できます。

［**放送局登録**］(☞ P.84)

➥ ラジオおよびワンセグ TV の放送局を登録します。

［**録音音質**］(☞ P.85)

➥ AM、FM、ワンセグ TV ごとに録音時の音質を設定します。

［**アンテナ入力**］* (☞ P.86)

➥ FM およびワンセグ TV のアンテナ接続先を設定します。

［**TV 二重音声**］(☞ P.86)

➥ ワンセグ TV を受信したときの主音声と副音声の切り替えを設定します。

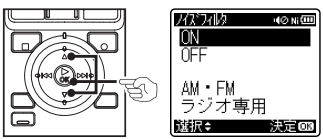
* アンテナステーション接続時に設定できます。

5 **停止**（■）ボタンを押して設定を終了する

［ノイズフィルタ］の設定

ラジオの耳障りなノイズを低減し、受信・録音音声を聞きやすくします。
AM/FM ラジオ受信時、ラジオ録音時に機能します。

❶ **▲または▼ボタンを押して［ON］または［OFF］を選び、▶OK ボタンを押す。**

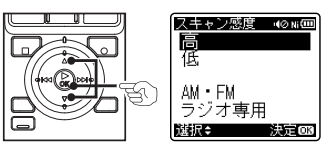


［**ON**］：
高域の周波数をカットして、ラジオの受信・録音音声を聞きやすくします。
［**OFF**］：
ノイズフィルタ機能は働きません。

［スキャン感度］の設定

受信状況に合わせて設定してください。
AM/FM ラジオ受信時に機能します。

❶ **▲または▼ボタンを押して［高］または［低］を選び、▶OK ボタンを押す。**



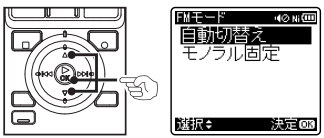
［**高**］：
放送局を高感度でスキャンします。
［**低**］：
感度を抑えて放送局をスキャンします。

・通常は［**高**］をお選びください。放送局の混信などがある場合、［**低**］をお試しください。

［FM モード］の設定

FM ラジオの音声出力（ステレオ／モノラル受信）を設定します。FM ラジオ受信時に機能します。

❶ **▲または▼ボタンを押して［自動切換え］または［モノラル固定］を選び、▶OK ボタンを押す。**

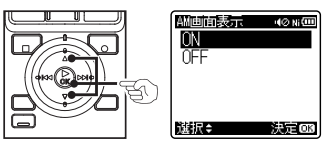


［**自動切換え**］：
受信状態によってステレオとモノラルが切り替わります。
［**モノラル固定**］：
モノラル受信に固定になります。

［AM 画面表示］の設定

AM ラジオを受信しているときにノイズが入る場合、表示画面を消灯するとノイズを軽減できる場合があります。
AM ラジオ受信時に機能します。

❶ **▲または▼ボタンを押して［ON］または［OFF］を選び、▶OK ボタンを押す。**



［**ON**］：
AMラジオ受信中は常に画面を点灯します。
［**OFF**］：
AM ラジオ受信中は画面が消灯します。

・画面消灯中はいずれかのボタンを押すと画面が 5 秒間点灯します。

［放送局登録］の設定

ラジオおよびワンセグ TV の各放送局を登録します。

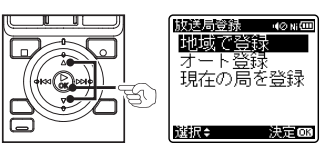
ご注意

・AM、FM ラジオおよびワンセグ TV は、各 20 件まで放送局リストに登録できます。
・登録件数が 20 件を超えると、［**これ以上登録できません**］が表示されます。この場合、放送局リストから不要な登録を消去してください（☞ P.50）。

■［地域で登録］を設定する

地域を選択して、放送局を自動登録できます。

❶ ▲または▼ボタンを押して［**地域で登録**］を選び、▶OK ボタンを押す。



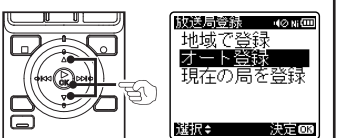
❷「**放送局を地域から登録する**」（☞ P.24）の手順 1 から手順 3 までを操作する。

・［**地域で放送局を登録しました**］と表示されたら終了です。

■［オート登録］を設定する

受信可能な放送局をオートスキャン（自動検索）して、放送局リストに追加します。

❶ ▲または▼ボタンを押して［**オート登録**］を選び、▶OK ボタンを押す。



❷ ▲または▼ボタンを押して［**開始**］を選び、▶OK ボタンを押す。

・放送局のスキャンを開始します。
・放送局が検出されると、受信した放送局の周波数と登録方法の設定項目が表示されます。

❸ ▲または▼ボタンを押して放送局の登録方法を選び、▶OK ボタンを押す。

ワンセグ TV の場合：
［**登録する**］を選びます。
AM/FM ラジオの場合：
［**放送局名候補**］または
［**周波数で登録**］を選びます

・［**放送局名候補**］を選んだ場合は、放送局名の候補がリスト表示されます。放送局名を選んで、▶OK ボタンを押します。
・［**周波数で登録**］を選んだ場合は、放送局名は［**AM ラジオ局 01**］または［**FM ラジオ局 01**］となります（数字部分は登録した順番となります）。

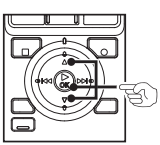
ご注意

・［**オート登録**］で登録した放送局が、放送局リストに追加されます。

■［現在の局を登録］を設定する

現在受信中の周波数を放送局リストに追加します。ワンセグ TV では使用できません。

❶ ▲または▼ボタンを押して［**現在の局を登録**］を選び、▶OK ボタンを押す。

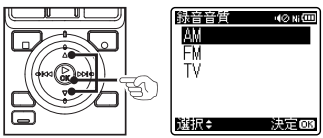


・現在受信中の周波数が放送局リストに追加されます。
・放送局名は［**AM ラジオ局 01**］または［**FM ラジオ局 01**］となります（数字部分は登録した順番となります）。

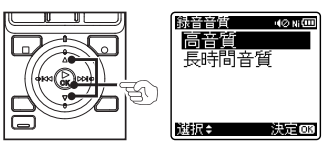
［録音音質］の設定

AM、FM、ワンセグ TV ごとに、録音時の音質を設定します。

❶ ▲または▼ボタンを押して設定したい音源を選び、▶OK ボタンを押す。



❷ ▲または▼ボタンを押して［**高音質**］または［**長時間音質**］を選び、▶OK ボタンを押す。



［**高音質**］：
ステレオ高音質録音します。
［**長時間音質**］：
モノラル長時間録音します。

ヒント！

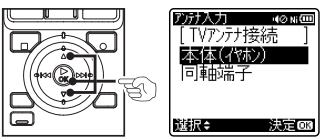
・設定した録音音質により最大録音時間は異なります。詳しくは「**1 ファイルあたりの最長録音時間**」をご覧ください（☞ P.125）。

［アンテナ入力］の設定

FM およびワンセグ TV で使用するアンテナの接続先を設定します。アンテナステーションに本機を接続して設定してください。

TV アンテナの設定をします：

❶ **▲または▼ボタンを押して［本体（イヤホン）］または［同軸端子］を選び、▶OK ボタンを押す。**

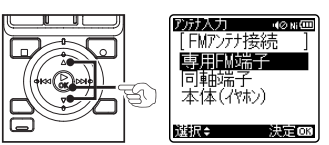


［**本体（イヤホン）**］：付属の TV アンテナを本機の**イヤホン**ジャックに接続して使用する場合に選んでください。

［**同軸端子**］：市販の同軸ケーブルを使用してアンテナステーションに接続する場合に選んでください。［**FM アンテナ接続**］の設定が［**専用 FM 端子**］を選択している場合は選べません。

FM アンテナの設定をします：

❷ **▲または▼ボタンを押して［専用 FM 端子］、［同軸端子］または［本体（イヤホン）］を選び、▶OK ボタンを押す。**



［**専用 FM 端子**］：付属の FM ケーブルアンテナをアンテナステーションに接続して使用する場合に選んでください。手順 ❶ の［**TV アンテナ接続**］の設定が［**同軸端子**］を選択している場合は選べません。

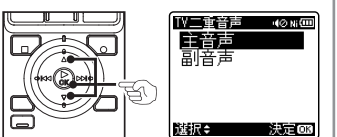
［**同軸端子**］：
市販の同軸ケーブルを使ってアンテナステーションに接続する場合に選んでください。

［**本体（イヤホン）**］：
付属のイヤホンを本機の**イヤホン**ジャックに接続して使用する場合に選んでください。

［TV 二重音声］の設定

ワンセグ TV で二重音声の番組を受信したときの主音声と副音声を切り替えます。

❶ **▲または▼ボタンを押して［主音声］または［副音声］を選び、▶OK ボタンを押す。**



［**主音声**］：
音声出力を主音声に切り替えます。

［**副音声**］：
音声出力を副音声に切り替えます。

ヒント！

・［**副音声**］に設定していても、主音声のみの放送番組を受信した場合は、主音声で出力します。

ファイル設定

本機に保存されているファイルに関する機能を設定します。

ファイルにロックをかける

ファイルにロックをかけることにより、重要なファイルの誤消去を防止できます。ロックがかかっているファイルは、フォルダ内のファイルを全消去しても消去されません（☞ P.67）。

1 「**ファイル検索の操作**」の手順1～4の操作をしてファイルを選ぶ（☞ P.64）

2 停止中に**設定**ボタンを押す

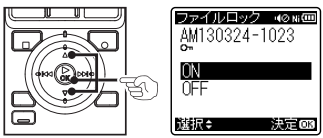
ラジオファイル
モード時

・ 設定を途中でやめる場合、**停止**（■）ボタンを押してください（設定途中の内容は破棄されます）。

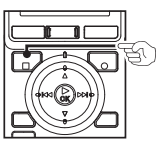
3 ▶OK ボタンを押す

4 ▲または▼ボタンを押して［**ファイルロック**］を選び、▶OK ボタンを押す

5 ▲または▼ボタンを押して［**ON**］を選び、▶OK ボタンを押す



6 **停止**（■）ボタンを押して設定を終了する

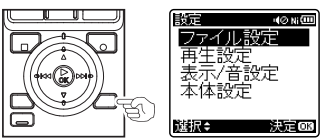


ファイルを移動／コピーする

ファイルの保存先を変更したり、ファイルのコピーの保存先を指定して保存できます。ワンセグ TV ファイルを選んだ場合は使用できません。

1 「**ファイル検索の操作**」の手順 1 ～ 4 の操作をしてファイルを選ぶ (☞ P.64)

2 停止中に**設定**ボタンを押す



ラジオファイル
モード時

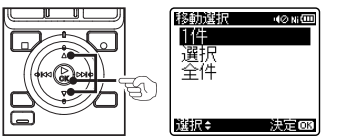
・ 設定を途中でやめる場合、**停止** (■) ボタンを押してください (設定途中の内容は破棄されます)。

3 ▶OK ボタンを押す

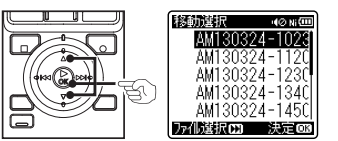
4 ▲または▼ボタンを押して**[ファイル移動／コピー]**を選び、▶OK ボタンを押す

5 ▲または▼ボタンを押して**[本体内へ移動]**、**[本体内へコピー]**、**[microSD へ移動]**または **[microSD へコピー]**を選び、▶OK ボタンを押す

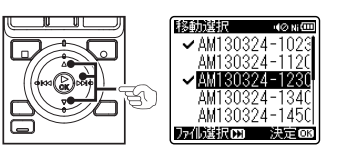
6 ▲または▼ボタンを押して**[1件]**、**[選択]** または **[全件]**を選び、▶OK ボタンを押す



・ [**1件**] を選んだ場合は、ファイルの選択画面が表示されます。▲または▼ボタンを押してファイルを選び、▶OK ボタンを押します。

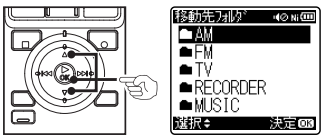


・ [**選択**] を選んだ場合は、ファイルの選択画面が表示されます。▲または▼ボタンを押して選択したいファイルにカーソルを合わせて ▶▶I を押します。選択したファイルには、チェックが付きます。ファイルの選択を解除するには、チェックが付いているファイルにカーソルを合わせて ▶▶I を押します。
すべてのファイルを選択したら、▶OK ボタンを押します。



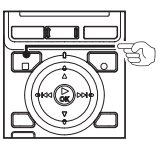
・ [**全件**] を選んだ場合は、現在のファイルがあるフォルダ内の全ファイルを移動／コピーします。

7 ▲または▼ボタンを押して移動またはコピー先を選び、►OK ボタンを押す



・ フォルダ階層を移動するには ►►I または I◄◄ ボタンを押します。

8 **停止（■）ボタンを押して設定を終了する**



ご注意

・メモリ残量が足りない場合はコピーできません。
・元のファイルと同じフォルダはコピー先に指定できません。
・ファイル件数が 200 件を超える場合、移動またはコピーできません。
・移動／コピー先に指定したフォルダに同じ名前のファイルがある場合は、移動／コピーできません。
・DRM 付きファイルは移動またはコピーできません。
・ファイルロック（☞ P.87）がかかっているファイルは、移動またはコピー後もその状態を保ちます。
・ファイルの移動またはコピー中に電池または microSD カードを取り外さないでください。データが破損するおそれがあります。

ファイルを分割する

容量の大きいファイルや録音時間の長いファイルを分割すると管理がしやすくなります。ワンセグ TV ファイルを選んだ場合は使用できません。

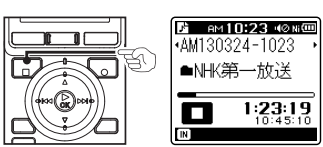
ファイル分割できるファイルは本機で録音した MP3 形式のみです。

1 **「ファイル検索の操作」の手順 1 ～ 4 の操作をしてファイルを選ぶ（☞ P.64）**

2 **►OK ボタンを押して再生し、分割したい位置まで進める**

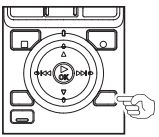
・ ►►I または I◄◄ ボタンを押し続けると早送り・早戻しします（☞ P.58）。
・ 分割位置はあらかじめインデックス／テンプマークなどでマーキングしておくと便利です（☞ P.62）。

3 **ファイル分割する位置で、停止（■）ボタンを押して再生を停止する**



・ ファイル表示画面での停止位置が分割位置になります。

4 停止中に**設定**ボタンを押す

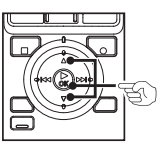


ラジオファイル
モード時

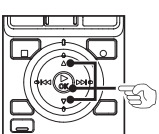
・ 設定を途中でやめる場合、**停止**（■）ボタンを押してください（設定途中の内容は破棄されます）。

5 ▶OK ボタンを押す

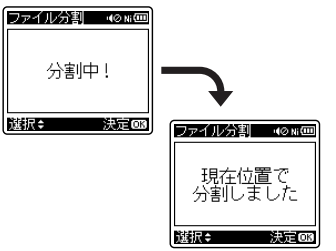
6 ▲または▼ボタンを押して［**ファイル分割**］を選び、▶OK ボタンを押す



7 ▲または▼ボタンを押して［**実行する**］を選び、▶OK ボタンを押す



・ 画面が［**分割中！**］に切り替わり、処理を開始します。［**現在位置で分割しました**］と表示されたら終了です。



ヒント！

・分割後のファイルは、前半部分のファイルは「ファイル名 _1.mp3」、後半部分のファイルは「ファイル名 _2.mp3」となります。

ご注意

・本機で録音していない MP3 形式ファイルの分割は保証しておりません。
・ファイルロックがかかっているファイルは分割できません（☞ P.87）。
・ファイルの長さが極端に短い場合、ファイルを分割できないことがあります。
・フォルダ内のファイル件数が 199 件以上の場合、ファイルを分割できません。
・処理が終了するまで数十秒かかる場合があります。その間は絶対に電池または microSD カードを取り外さないでください。データが破損するおそれがあります。また、処理中に電池が切れることがないように、操作の前にあらかじめ充電または新しい電池に交換してください。
・分割を指定した位置と実際に分割される位置には、数秒のズレがあります。

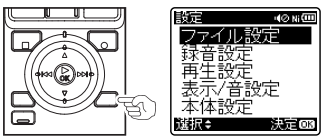
録音設定

マイク録音時に関する機能を設定します。録音中は設定画面に入れません。

マイク録音時の機能を設定する

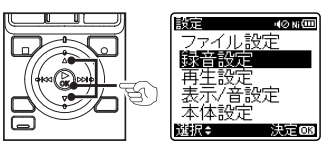
1 **レコーダー（🎙）ボタンを押す**

2 **設定**ボタンを押す



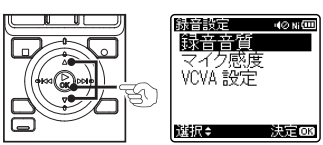
・ 設定を途中でやめる場合、**停止（■）**ボタンを押してください（設定途中の内容は破棄されます）。

3 **▲または▼ボタンを押して［録音設定］を選び、▶OK ボタンを押す**



4 **▲または▼ボタンを押して設定項目を選び、▶OK ボタンを押す**

・ 設定の途中で**戻る / リスト**ボタンを押すと前の画面に戻ります。



録音に関する設定項目：

［**録音音質**］（☞ P.92）

➥ 内蔵マイクから録音したときの音質を設定できます。

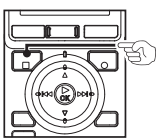
［**マイク感度**］（☞ P.92）

➥ 使用目的に合わせて内蔵マイクの感度の切り替えができます（マイク録音設定時のみ）。

［**VCVA 設定**］（☞ P.93）

➥ VCVA 機能を使用する・使用しないをお選びいただけます（マイク録音設定時のみ）。

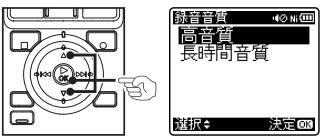
5 **停止（■）ボタンを押して設定を終了する**



［録音音質］の設定

内蔵マイクまたはマイクジャックから録音したときの音質を設定します。

❶ ▲または▼ボタンを押して［**高音質**］または［**長時間音質**］を選び、▶OK ボタンを押す。



［**高音質**］：
ステレオ高音質録音します。
［**長時間音質**］：
モノラル長時間録音します。

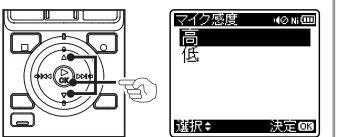
ヒント！

・設定した録音音質により最大録音時間は異なります。詳しくは「**1 ファイルあたりの最長録音時間**」をご覧ください（☞ P.125）。
・会議や講演会などをはっきりと録音したい場合、［**高音質**］を選んで録音してください。
・［**録音音質**］の設定で［**高音質**］を選んだ場合、モノラルマイクを接続すると、L チャンネルのみに音声が録音されます。

［マイク感度］の設定

使用目的に合わせて内蔵マイクの感度の切り替えができます。

❶ ▲または▼ボタンを押して［**高**］または［**低**］を選び、▶OK ボタンを押す。



［**高**］：打合せや少人数の会議などの録音に適しています。
［**低**］：メモ録などの口述録音に適しています。

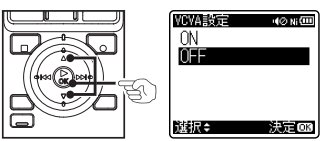
ご注意

・話し手の声をはっきりと録音したい場合、［**低**］を選び、本機の内蔵ステレオマイクを話し手の口に近づけて（5 ～ 10cm）録音してください。

［VCVA 設定］の設定

音声起動録音（VCVA）とは、設定した音声起動レベルよりも大きな音声を感知すると自動的に録音が始まり、音声が小さくなると自動的に録音を一時停止する機能です。会議中の長い沈黙などを自動的にカットして録音することによりメモリを節約できます。

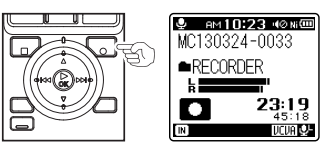
❶ ▲または▼ボタンを押して［ON］または［OFF］を選び、▶OK ボタンを押す。



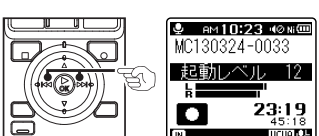
［**ON**］：VCVA が機能します。
VCVA の音声起動レベルを調整できます。
［**OFF**］：VCVA は機能しません。

音声起動レベルの調整：

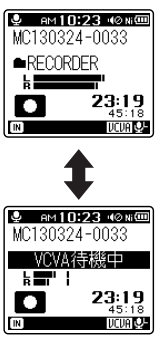
❶ 録音（●）ボタンを押して録音を開始する。



❷ 録音中または録音一時停止中に ▶▶I または I◀◀ ボタンを押して音声起動レベルを調整する。



・VCVA の音声起動レベルを 15 段階（［**01**］～［**15**］）で表示します。
・数字が大きくなるほど VCVA の起動感度は高くなり、小さな音でも録音が始まるようになります。
・設定した起動感度より音が小さくなると約 1 秒後に自動的に録音がいったん停止します。この場合、録音レベルメータと［**VCVA 待機中**］が交互に点滅します。録音表示ランプは録音起動中は点灯し、一時停止中は点滅します。



ヒント！

・失敗のない録音のため、事前に試し録音で音声起動レベルを調整することをおすすめします。
・まわりのノイズが大きいなど、録音状況に応じて VCVA の音声起動レベルを調整してください。
・音声起動レベルの調整画面で 2 秒間操作がない場合、表示が元に戻ります。

ご注意

・音声起動レベルは設定されているマイク感度により異なります（☞ P.91、P.92）。
・ラジオ受信モードでは、VCVA 機能は働きません。

再生設定

再生時に関する機能を設定します。用途に合わせて設定してください。

再生時の機能を設定する

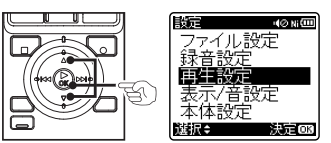
1 「**ファイル検索の操作**」の手順1～4の操作をしてファイルを選ぶ（☞ P.64）

2 **設定**ボタンを押す

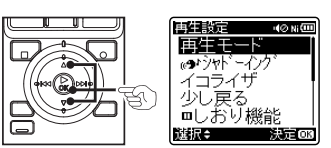
レコーダーモード時

・ 設定を途中でやめる場合、**停止**（■）ボタンを押してください（設定途中の内容は破棄されます）。

3 ▲または▼ボタンを押して［**再生設定**］を選び、▶OK ボタンを押す



4 ▲または▼ボタンを押して設定項目を選び、▶OK ボタンを押す



・ 設定の途中で**戻る / リスト**ボタンを押すと前の画面に戻ります。

再生に関する設定項目：

［**再生モード**］（☞ P.95）

➥ 再生する範囲および再生方法を設定します。

［**シャドーイング**］（☞ P.96）

➥ 通常の音量での再生と、無音または小音量での再生を交互に繰り返し再生します。

［**イコライザ**］（☞ P.96）

➥ お好みに合わせて再生音質をお選びいただけます。

［**Dirac HD**］*1（☞ P.97）

➥ 最適化された Dirac HD Sound の高音質効果をお選びいただけます。

［**少し戻る**］（☞ P.97）

➥ 少し戻るボタンを押したときの戻る間隔を変更します。

［**少し進む**］*1（☞ P.97）

➥ 少し進むボタンを押したときの進む間隔を変更します。

［**しおり機能**］*2（☞ P.98）

➥ 再生の途中で停止ボタンを押したときの位置にしおり（ブックマーク）を付けます。

*1 PJ-35（アンテナステーション接続時）のみ設定できます。

*2 AM、FM、ワンセグ TV ファイルの再生時のみ機能します。

5 **停止**（■）ボタンを押して設定を終了する

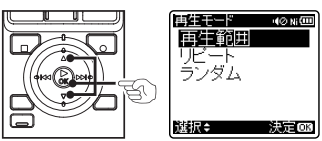
［再生モード］の設定

一つのファイルを繰り返し再生したり、フォルダ内の全ファイルをランダムに再生するといった設定ができます。

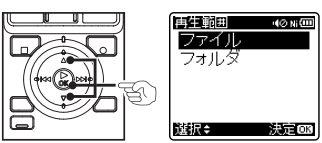
■ 再生範囲を設定する

再生する範囲を選択した１ファイルにするか、選択したフォルダ内の全ファイルにするかを設定します。

❶ ▲または▼ボタンを押して［**再生範囲**］を選び、▶OK ボタンを押す。



❷ ▲または▼ボタンを押して［**ファイル**］または［**フォルダ**］を選び、▶OK ボタンを押す。

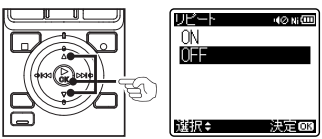


［**ファイル**］：選択した１つのファイルを再生します。
［**フォルダ**］：選択したフォルダ内の全ファイルを再生します。

■［リピート］を設定する

設定された再生範囲を繰り返して再生します。

❶ ▲または▼ボタンを押して［**リピート**］を選び、▶OK ボタンを押す。
❷ ▲または▼ボタンを押して［**ON**］または［**OFF**］を選び、▶OK ボタンを押す。

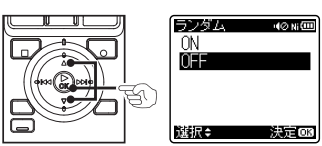


［**ON**］：選択したファイルを繰り返して再生します。
［**OFF**］：リピート機能は働きません。

■［ランダム］を設定する

設定された再生範囲でランダム再生します。

❶ ▲または▼ボタンを押して［**ランダム**］を選び、▶OK ボタンを押す。
❷ ▲または▼ボタンを押して［**ON**］または［**OFF**］を選び、▶OK ボタンを押す。

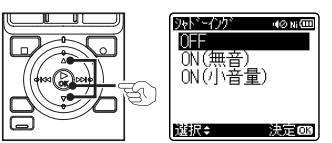


［**ON**］：ランダム再生します。
［**OFF**］：ランダム機能は働きません。

[シャドーイング] の設定

シャドーイングとは、英語などの音声を聞いた直後に、抑揚およびイントネーションや話すスピードなどをできるだけ正確に再現して話せるまでを繰り返し練習するという語学学習方法のひとつです。本機のシャドーイング再生機能は、A-B リピート再生（☞ P.63）の繰り返し区間を、1 回目は通常の音量（ヒアリング練習）で再生し、2 回目は無音または小音量（スピーキング練習）で再生します。この一連の動作を交互に繰り返します。語学学習にお役立てください。

❶ ▲または▼ボタンを押して [OFF]、[ON (無音)] または [ON (小音量)] を選び、▶OK ボタンを押す。



[**OFF**]：
シャドーイング再生機能は働きません。
[**ON (無音)**]：
通常の音量で繰り返し区間を再生したあとに、無音で繰り返し区間を再生します。
[**ON (小音量)**]：
通常の音量で繰り返し区間を再生したあとに、小音量で繰り返し区間を再生します。

ご注意

・シャドーイング再生は A-B リピート再生（☞ P.63）でのみ機能します。

[イコライザ] の設定

再生時の音質を変更します。

> PJ-35 では、本機を付属のアンテナステーションから取り外してご使用ください。

❶ ▲または▼ボタンを押して お好みの音質を選び、▶OK ボタンを押す。

[**OFF**]：イコライザ機能は働きません。
[**ROCK**]：ロックの曲にあった音質で再生します。
[**JAZZ**]：ジャズの曲にあった音質で再生します。
[**VOICE**]：言葉を聞き取りやすい音質で再生します。

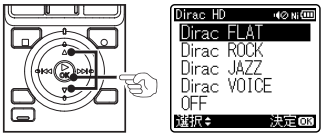
[Dirac HD] の設定 (PJ-35 のみ)

本機を付属のスピーカ付アンテナステーションに接続すると、アンテナステーションのスピーカ用に最適化された Dirac HD Sound の高音質効果をお楽しみいただけます。

準備しましょう

① 本機をアンテナステーションに接続する (☞ P.38)
② アンテナステーションの電源を入れる (☞ P.38)
③［**表示 / 音設定**］の［**アンテナステーション出力**］の設定が［**スピーカ**］になっていることを確認する (☞ P.102)。

❶ **▲または▼ボタンを押してお好みの音質を選び、▶OK ボタンを押す。**



［**Dirac FLAT**］:
自然でかつ最適化された音で再生します。
［**Dirac ROCK**］:
ロック用に最適化された音で再生します。
［**Dirac JAZZ**］:
ジャズ用に最適化された音で再生します。
［**Dirac VOICE**］:
ニュースやトーク番組の音声に最適化された音で再生します。
［**OFF**］:
Dirac HD 機能は働きません。

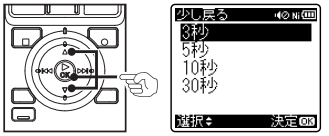
ご注意

- Dirac HD 機能はアンテナステーションのスピーカに最適なチューニングになっています。
- 早聞き、遅聞き再生との同時使用はできません。通常の再生スピードにしてご使用ください。
- 付属のイヤホン・本機の内蔵スピーカは、Dirac HD Sound の効果が働きません。

[少し戻る] の設定

少し戻るボタンを押したときの戻る間隔を変更します。

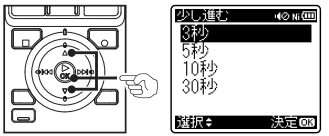
❶ **▲または▼ボタンを押してお好みの時間設定を選び、▶OK ボタンを押す。**



[少し進む] の設定 (PJ-35 のみ)

少し進むボタンを押したときの進む間隔を変更します。

❶ **▲または▼ボタンを押してお好みの時間設定を選び、▶OK ボタンを押す。**

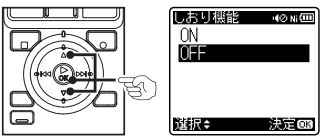


- アンテナステーションの**少し進む**ボタンでのみ動作します。

［しおり機能］の設定

ファイル再生の途中で停止ボタンを押したときの位置にしおり（ブックマーク）を付けます。ファイルごとに記憶します。

❶ **▲または▼ボタンを押して［ON］または［OFF］を選び、▶OK ボタンを押す。**



［**ON**］：他のファイルに再生を切り替えた場合、そのファイルに記憶されているしおり位置から再生できます。また、電源を切ってもしおり位置を記憶していますので、次に電源を入れたときに続きから再生できます。

［**OFF**］：しおり機能は働きません。

ヒント！

・ファイルの最後まで再生した場合は、そのファイルの先頭がしおり位置になります。

ご注意

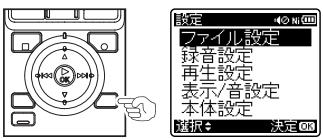
・AM、FM、ワンセグ TV ファイルの再生時のみ機能します。レコーダーモードでは機能しません。

表示／音設定

表示画面および音に関する機能を設定します。用途に合わせて設定してください。録音中は設定画面に入れません。

表示 / 音に関する機能の設定をする

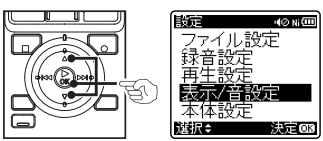
1 設定ボタンを押す



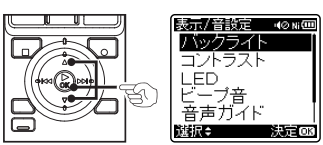
レコーダーモード時

・ 設定を途中でやめる場合、**停止**（■）ボタンを押してください（設定途中の内容は破棄されます）。

2 ▲または▼ボタンを押して［表示／音設定］を選び、▶OK ボタンを押す



3 ▲または▼ボタンを押して設定項目を選び、▶OK ボタンを押す



・ 設定の途中で**戻る / リスト**ボタンを押すと前の画面に戻ります。

表示／音に関する設定項目：

［**バックライト**］（☞ P.100）

➥ バックライトの点灯時間を設定します。

［**コントラスト**］（☞ P.100）

➥ 画面のコントラストを 12 段階に調整します。

［**LED**］（☞ P.100）

➥ 録音表示ランプの点灯方法を設定します。

［**ビープ音**］（☞ P.100）

➥ ビープ音の出力方法を設定します。

［**音声ガイド**］（☞ P.101）

➥ 操作を音声で案内する音声ガイドを設定します

［**本体スピーカ出力**］（☞ P.102）

➥ 内蔵スピーカの出力方法を設定します。

［**アンテナステーション出力**］* （☞ P.102）

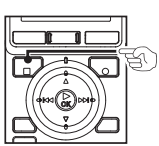
➥ アンテナステーションと接続して使用する際の出力方法を設定します。

［**イントロ再生**］（☞ P.102）

➥ イントロ再生の再生時間を設定します。

* PJ-35 のみ

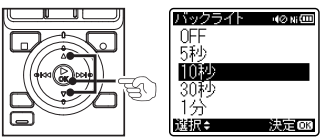
4 停止（■）ボタンを押して設定を終了する



［バックライト］の設定

ディスプレイのバックライト照明の点灯継続時間を設定できます。暗いところでも表示が確認できて便利です。

❶ ▲または▼ボタンを押して お好みの設定を選び、▶OK ボタンを押す。

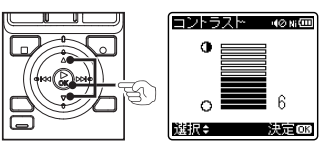


・［**OFF**］を選ぶとバックライトは点灯しません。

［コントラスト］の設定

画面のコントラストを 12 段階に調整できます。

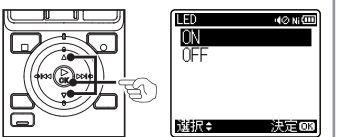
❶ ▲または▼ボタンを押して調整値を選び、▶OK ボタンを押す。



［LED］の設定

録音中に録音表示ランプを点灯させる、またはさせないように設定できます。

❶ ▲または▼ボタンを押して［**ON**］または［**OFF**］を選び、▶OK ボタンを押す。

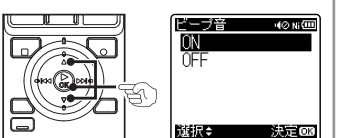


［**ON**］：録音表示ランプが点灯します。
［**OFF**］：録音表示ランプは点灯しません。

［ビープ音］の設定

警告音を鳴らす、または鳴らさないを設定できます。

❶ ▲または▼ボタンを押して［**ON**］または［**OFF**］を選び、▶OK ボタンを押す。



［**ON**］：ビープ音が鳴ります。
［**OFF**］：ビープ音は鳴りません。

［音声ガイド］の設定

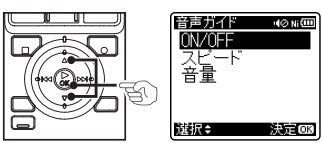
各操作（一部を除く）を音声でご案内する音声ガイド機能を設定できます。

ご注意

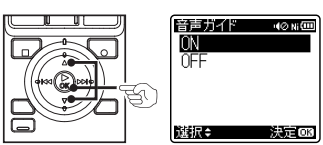
・電源を入れる／切る（☞ P.21）際の起動音／終了音は、［**音声ガイド**］を［**OFF**］に設定すると解除されます。
・［**音声ガイド**］の［**音量**］設定で、起動音／終了音の音量も設定されます。
・ファイル再生中は、［**音声ガイド**］は機能しません。

■ 使用する・しないを設定する

❶ ▲または▼ボタンを押して［**ON/OFF**］を選び、▶OK ボタンを押す。



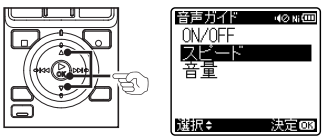
❷ ▲または▼ボタンを押して［**ON**］または［**OFF**］を選び、▶OK ボタンを押す。



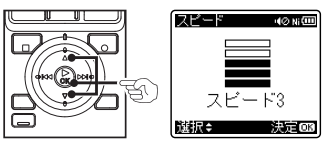
［**ON**］：音声ガイドが機能します。
［**OFF**］：音声ガイドは機能しません。

■ スピードを設定する

❶ ▲または▼ボタンを押して［**スピード**］を選び、▶OK ボタンを押す。

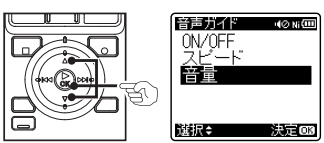


❷ ▲または▼ボタンを押してお好みのスピードを選び、▶OK ボタンを押す。

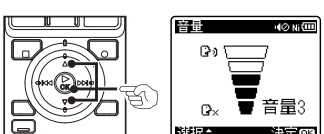


■ 音量を設定する

❶ ▲または▼ボタンを押して［**音量**］を選び、▶OK ボタンを押す。



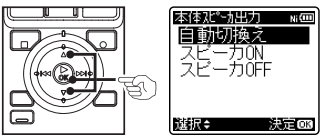
❷ ▲または▼ボタンを押してお好みの音量を選び、▶OK ボタンを押す。



［本体スピーカ出力］の設定

イヤホンを取り外した場合の本機の内蔵スピーカの出力方法を設定します。

❶ ▲または▼ボタンを押して［**自動切換え**］、［**スピーカ ON**］または［**スピーカ OFF**］を選び、▶OK ボタンを押す。



［**自動切換え**］：
イヤホンを接続すると、内蔵スピーカから音は出ません。イヤホンを外すと、内蔵スピーカから音を出します。

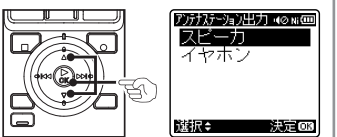
［**スピーカ ON**］（🔊）：
イヤホンを接続するまたはしないにかかわらず、内蔵スピーカから音を出します。FM ラジオやワンセグ TV を内蔵スピーカで聞きたいときに便利です。

［**スピーカ OFF**］（🔇）：
イヤホンを取り外しても内蔵スピーカから音は出しません。誤ってイヤホンが抜けても音が出ないので、電車、バスなどで移動中も安心です。

［アンテナステーション出力］の設定

アンテナステーションと接続して使用する際の出力方法を設定します。

❶ ▲または▼ボタンを押して［**スピーカ**］または［**イヤホン**］選び、▶OK ボタンを押す。



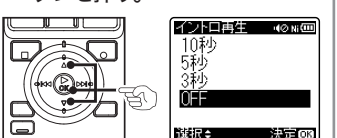
［**スピーカ**］：
アンテナステーションから音声を出力します。

［**イヤホン**］：
本機のイヤホンジャックから音声を出力します。

［イントロ再生］の設定

フォルダ内のファイルにカーソルを合わせると、そのファイルの先頭を設定された時間だけ再生します。ファイルを探すときに便利です。

❶ ▲または▼ボタンを押してお好みの設定を選び、▶OK ボタンを押す。



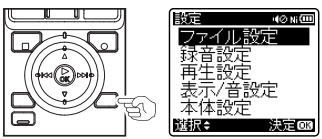
・［**OFF**］を選ぶとイントロ再生しません。

本体設定

本機に関する機能を設定します。用途に合わせて設定してください。録音中は設定画面に入れません。

本機に関する機能を設定する

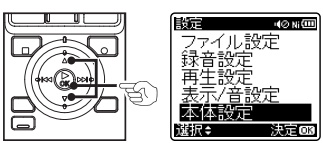
1 設定ボタンを押す



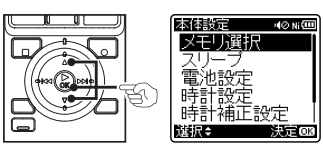
レコーダーモード時

・ 設定を途中でやめる場合、**停止**（■）ボタンを押してください（設定途中の内容は破棄されます）。

2 ▲または▼ボタンを押して［本体設定］を選び、▶OK ボタンを押す



3 ▲または▼ボタンを押して設定項目を選び、▶OK ボタンを押す



・ 設定の途中で**戻る / リスト**ボタンを押すと前の画面に戻ります。

本体設定の設定項目：

［**メモリ選択**］（☞ P.104）

➥ 使用するメモリ（内蔵メモリまたは microSD カード）を設定します。

［**スリープ**］（☞ P.104）

➥ スリープ（省電力）モードになるまでの時間を設定します。

［**電池設定**］（☞ P.104）

➥ 電池の種類を設定します。

［**時計設定**］（☞ P.104）

➥ 本機の時計合わせができます。

［**時計補正設定**］（☞ P.105）

➥ 自動的に時刻合わせをするように設定します。

［**設定リセット**］（☞ P.106）

➥ 各種機能を初期値（工場出荷状態）に戻します。

［**初期化**］（☞ P.107）

➥ メモリを初期化（フォーマット）します。

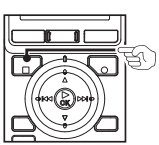
［**メモリ情報**］（☞ P.108）

➥ メモリの情報を確認します。

［**システム情報**］（☞ P.109）

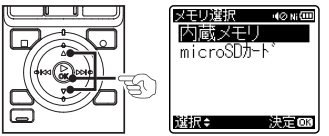
➥ システムの情報を確認します。

4 停止（■）ボタンを押して設定を終了する



［メモリ選択］の設定

❶ ▲または▼ボタンを押して［**内蔵メモリ**］または［**microSD カード**］を選び、▶OK ボタンを押す。



［**内蔵メモリ**］：本機の内蔵メモリを使用します。

［**microSD カード**］：microSD カードを使用します。

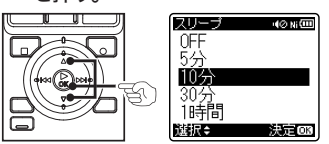
ご注意

・microSD カードが挿入されていないときは、設定できません。

［スリープ］の設定

電源を入れて停止状態のままで 10 分（デフォルト）以上経過すると、スリープ（省電力）モードになります。このスリープ（省電力）モードになるまでの時間を設定します。

❶ ▲または▼ボタンを押して設定時間を選び、▶OK ボタンを押す。



ヒント！

・スリープモードから復帰するには、いずれかのボタンを押してください。

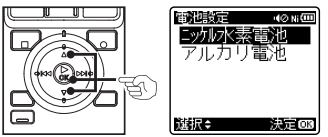
ご注意

・［**OFF**］を選ぶとスリープ（省電力）モードにはなりません。そのまま放置しておくと電池が早く消耗します。

［電池設定］の設定

使用する電池に合わせて設定してください。

❶ ▲または▼ボタンを押して［**ニッケル水素電池**］または［**アルカリ電池**］を選び、▶OK ボタンを押す。



［**ニッケル水素電池**］：充電可能なニッケル水素電池を使用するときに選んでください。

［**アルカリ電池**］：アルカリ電池を使用するときに選んでください。

ご注意

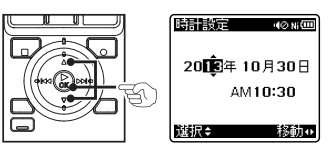
・設定した種類と異なる電池を使用すると、電池残量などが正しく表示されません。

・［**アルカリ電池**］を選んだ場合は、充電は行われません。

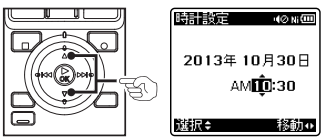
［時計設定］の設定

日付や時刻のずれを修正します。「**年**」、「**月**」、「**日**」、「**時**」、「**分**」を設定します。

❶ ▶▶I または I◀◀ ボタンを押して設定したい項目にカーソルを移動させる。

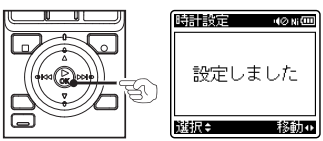


❷ ▲または▼ボタンを押して数字を変更する。



・ 必要に応じて手順 ❶ と ❷ を繰り返して正しい日付・時刻に合わせてください
・「**時**」または「**分**」の設定時に**設定**ボタンを押すと、12 時間表示と 24 時間表示が切り替わります。12 時間表示の場合は、午前と午後の 12 時をお間違えにならいようご注意ください（昼の 12 時の場合は、［**PM12：00**］に設定します）。

❸ 日付・時刻を設定したら、▶OK ボタンを押す。



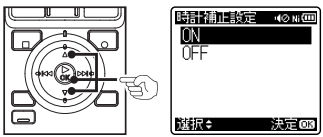
ヒント！

・ 時報などに合わせて ▶OK ボタンを押してください。設定した日時で本機の時計が動き始めます。

［時計補正設定］の設定

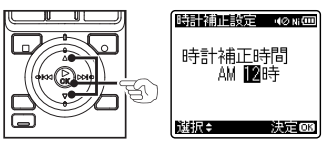
本機の電源が切れているときに、NHK 第一放送の時報を利用して自動的に時刻合わせをします。

❶ ▲または▼ボタンを押して［**ON**］を選び、▶OK ボタンを押す。



・［**OFF**］を選ぶと時間合わせは行われません。

❷ ▲または▼ボタンを押して補正時刻を選び、▶OK ボタンを押す。



・ 時間表示（12 時間表示または 24 時間表示）は、［**時計設定**］の設定によって異なります。12 時間表示の場合は、午前と午後の 12 時をお間違えにならいようご注意ください（昼の 12 時の場合は、［**PM12：00**］に設定します）。
・ 本機とアンテナステーションが接続された状態で時計補正がおこなわれると、アンテナステーションの LED が点灯します。

ご注意

・ 自動時計補正機能で補正できる範囲は、時報の± 5 分間です。あらかじめ［**時計設定**］機能で誤差が 5 分以内になるように設定してください。

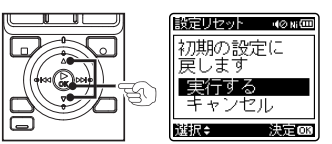
・ 自動時計補正機能を実行する前に、NHK 第一放送が正しく聞こえることをご確認ください。ノイズが多く入ると自動補正が失敗することがあります。
・ 録音、再生時など本機の動作中に、自動時計補正の設定時間になった場合は補正を行いません。

［設定リセット］の設定

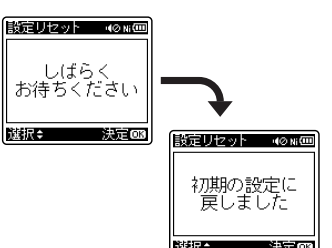
各種機能を初期値（工場出荷状態）に戻します（時刻設定、保存ファイルはそのまま保持します）。

! 放送局リスト、予約録音リストおよび各種設定を初期化します。リセット後は設定し直してください。

❶ ▲または▼ボタンを押して［**実行する**］を選び、▶OK ボタンを押します。



・ 画面が［**しばらくお待ちください**］に切り替わり、処理を開始します。［**初期の設定に戻しました**］と表示されたら終了です。



ご注意

・ 設定リセットの処理が終了すると、初期設定画面に切り替わります。初期設定をしてください（☞ P.22）。
・ 設定リセットしたあとの初期値は、「**設定リセット後の初期値**」をご覧ください。

設定リセット後の初期値：

●［**ラジオ設定**］（☞ P.82）
［**ノイズフィルタ**］：［**OFF**］
［**スキャン感度**］：［**高**］
［**FM モード**］：［**自動切換え**］
［**AM 画面表示**］：［**ON**］
［**放送局登録**］：
［**地域で登録**］：
［**オート登録**］：
［**現在の局を登録**］：
［**録音音質**］：［**高音質**］
［**アンテナ入力**］***1***：
［**TV アンテナ接続**］：［**本体（イヤホン）**］
［**FM アンテナ接続**］：［**専用 FM 端子**］
［**TV 二重音声**］：［**主音声**］

●［**録音設定**］（☞ P.91）
［**録音音質**］：［**高音質**］
［**マイク感度**］：［**高**］
［**VCVA 設定**］：［**OFF**］

●［**再生設定**］（☞ P.94）
［**再生モード**］：
［**再生範囲**］：［**ファイル**］
［**リピート**］：［**OFF**］
［**ランダム**］：［**OFF**］
［**シャドーイング**］：［**OFF**］
［**イコライザ**］：［**OFF**］
［**Dirac HD**］***2***：［**Dirac FLAT**］
［**少し戻る**］：［**3 秒**］
［**少し進む**］***2***：［**3 秒**］
［**しおり機能**］：［**OFF**］

●［**表示／音設定**］（☞ P.99）
［**バックライト**］：［**10 秒**］
［**コントラスト**］：［**06**］
［**LED**］：［**ON**］
［**ビープ音**］：［**ON**］

［音声ガイド］：
　［ON/OFF］：［ON］
　［音量］：［音量 2］
　［スピード］：［スピード 1］
［本体スピーカ出力］：［自動切換え］
［アンテナステーション出力］*3：
　［スピーカ］
［イントロ再生］：［OFF］

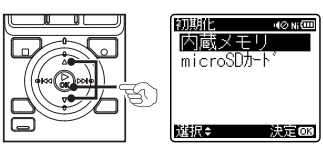
●［本体設定］（☞ P.103）
［メモリ選択］：［内蔵メモリ］
［スリープ］：［10 分］
［電池設定］：［ニッケル水素電池］
［時計補正設定］：［ON］>［AM12：00］
［初期化］：［内蔵メモリ］

*1 アンテナステーション接続時に設定できます。
*2 PJ-35（アンテナステーション接続時）のみ設定できます。
*3 PJ-35 のみ。

［初期化］の設定

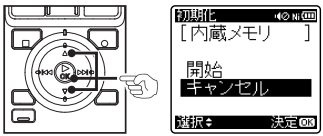
初期化すると記録されているファイルはすべて消去されます。大切なファイルはパソコンに転送してから初期化してください。

❶ ▲または▼ボタンを押して［内蔵メモリ］または［microSD カード］を選び、▶OK ボタンを押す。



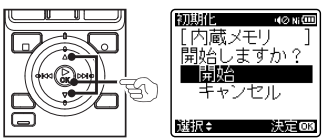
［内蔵メモリ］：
本機の内蔵メモリを初期化します。
［microSD カード］：
microSD カードを初期化します。

❷ ▲または▼ボタンを押して［開始］を選び、▶OK ボタンを押す。

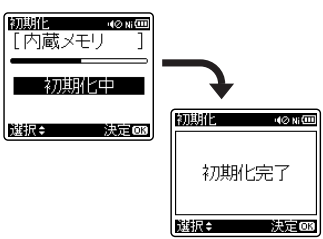


・［データが完全に消去されます］のあとに、［開始しますか?］が表示されます。

❸ ▲または▼ボタンを押して［開始］を選び、▶OK ボタンを押す。



・［初期化中!］と表示され、処理を開始します。［初期化完了］と表示されたら終了です。



ヒント!

・各種機能の設定を初期設定に戻す場合、［設定リセット］を行ってください（☞ P.106）。

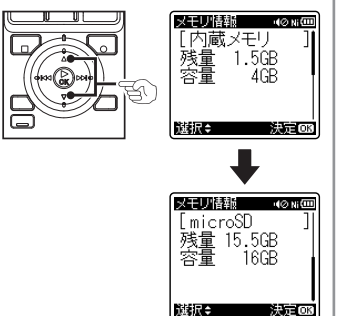
ご注意

- 本機に microSD カードを入れた場合、初期化する記録メディアが［**内蔵メモリ**］または［**microSD カード**］のどちらなのかを間違えないよう必ず確認してください。
- 処理が終了するまで数十秒かかる場合があります。初期化中には次のような操作は絶対にしないでください。データが破損するおそれがあります。
  ①初期化中にアンテナステーションから取り外す。
  ②初期化中に電池を取り外す。
  ③記録メディアが［**microSD カード**］の場合、初期化中にmicroSD カードを取り外す。
- 初期化中に電池が切れることがないように、操作の前にあらかじめ充電するかまたは新しい電池に交換してください。
- 初期化をすると、ファイルロックをかけたファイルや読み取り専用ファイルを含む既存のデータはすべて消去されます。
- 初期化や消去（☞ P.67）を行っても、ファイルの管理情報が更新されるだけで内蔵メモリやmicroSDカードに記録したデータは完全には消去されません。廃棄の際には、破壊するか、または初期化した後、残り時間がなくなるまで無音録音するなどして、個人情報の流出を防いでください。
- 本機をパソコンから初期化することは絶対にしないでください。一度パソコンから初期化をすると、DRM付き音楽ファイルを再び本機へ転送できなくなる場合があります。

［メモリ情報］を確認する

本機の内蔵メモリおよび挿入しているmicroSD カードのメモリ残量を確認できます。

❶ ▲または▼ボタンを押して情報を切り替える。



- microSD カードが挿入されていない場合、microSD の情報は表示されません。

❷ メモリ残量を確認したら、戻る / リストボタンを押す。

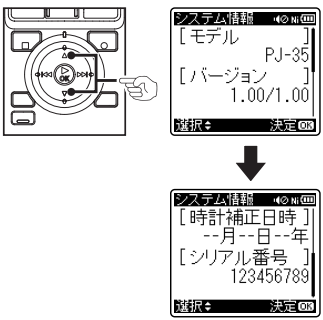
ご注意

- メモリ容量の一部を管理領域として使用しているため、実際に使用できる容量は少なくなります。

［システム情報］を確認する

本機の情報を確認できます。

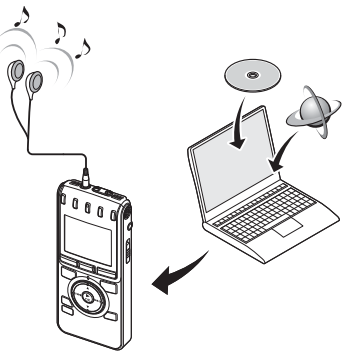
❶ ▲または▼ボタンを押して情報を切り替える。



❷ 内容を確認したら、**戻る / リスト**ボタンを押す。

パソコンで使う

・本機は MP3、WMA 形式の語学コンテンツに対応しています。
・本機はパソコンの外部メモリとして、パソコンからのデータ保存や読み出しにもご使用いただけます（☞ P.114、P.115）。



パソコンの動作環境

Windows

OS（オペレーティングシステム）：
Microsoft Windows XP/Vista/7/8
標準インストール（日本語版）

対応パソコン：
1 つ以上空きのある USB ポートを装備した Windows 対応パソコン

Macintosh

OS（オペレーティングシステム）：
Mac OS X 10.4.11 ～ 10.8
標準インストール（日本語版）

対応パソコン：
1 つ以上空きのある USB ポートを装備した Apple Macintosh シリーズ

ご注意

・本機で録音したファイルを USB 接続でパソコンに保存する際の動作環境です。
・動作環境を満たしていても、アップグレードしたもの、マルチブート環境、自作パソコンとその互換機については動作保証外とさせていただきます。

本機をパソコンに接続して扱う場合の注意事項

・本機からファイルをダウンロードしたり本機にファイルをアップロードする場合、パソコンから通信中の画面が消えても、本機の録音表示ランプが点滅中はデータを転送中ですので、USB 接続を外さないでください。また、USB 接続を外す場合、必ず ☞ P.113 に記載の方法で操作してください。ドライブを停止してから外さないと、正常にデータが転送されないことがあります。
・パソコンでは本機ドライブを初期化（フォーマット）しないでください。パソコンで初期化した場合、正しく初期化されません。初期化は、本機の［**初期化**］画面から操作してください（☞ P.103、P.107）。
・Windows または Macintosh のファイル管理画面から、本機に保存されているフォルダやファイルに対して移動や名前の変更などの操作を行なうと、ファイルの順番が変わったり、ファイルを認識できなくなる場合があります。
・パソコン上の操作で本機ドライブの属性をリードオンリー（読み取り専用）に設定しても、本機ではデータの読み書きができますのでご注意ください。
・ノイズにより周辺電子機器に影響を及ぼすことがありますので、パソコンに接続する場合、外部マイクやイヤホンを外してください。
・本機とパソコンの接続を解除すると、［**しばらくお待ちください**］が表示されます。メッセージが表示されている間は絶対に電池を取り外さないでください。データが破損するおそれがあります。また、処理中に電池が切れることがないように、操作の前にあらかじめ充電または新しい電池に交換してください。

著作権と著作権保護機能（DRM）について

著作権者に無断でインターネットからダウンロードした音声や音楽ファイル、音楽 CD などの複製や配布、インターネットへの掲載、再掲載、商用または販売を目的とした MP3、WMA ファイルへのデータ変換は、著作権法で固く禁じられています。WMA ファイルには著作権の保護を目的とした DRM（Digital Right Management）が施されている場合があります。DRM が施されているファイルは音楽 CD から変換（リッピング）した音楽ファイルや音楽配信により入手した音楽ファイルを不法にコピーしたり、配布できないよう制限されています。 DRM の施された WMA ファイルを本機に転送するには Windows Media Player を用いるなど所定の方法で転送する必要があります。また、音楽配信サービスなどで購入された DRM 付き音楽ファイルは、ポータブルデバイス(本機）へのコピーに制限がある場合があります。

ご注意

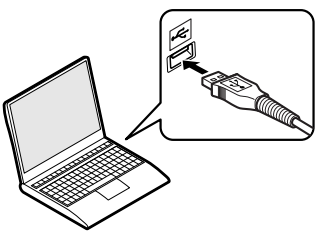
・本機は Microsoft Corporation の DRM9 に対応していますが、DRM10 には未対応です。

パソコンに接続する

USB 接続ケーブルを接続する前にホールドを解除してください（☞ P.28）。

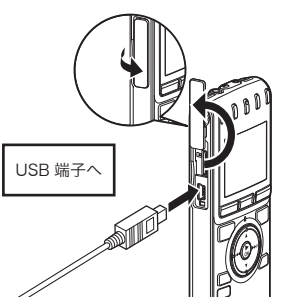
1 パソコンを起動する

2 USB 接続ケーブルをパソコンの USB 端子に接続する



3 本機が停止していることを確認し、本機の USB 端子へ USB 接続ケーブルを接続する

・ 録音中や再生中およびラジオを受信していると、パソコンは本機を認識できません。



・［**電池設定**］の設定で［**ニッケル水素電池**］を選んだ場合は、［**OK ボタンで充電を開始します**］が表示されます。［**OK ボタンで充電を開始します**］が表示されているときに▶OK ボタンを押すと、充電モードに入ります。▶OK ボタン以外のボタンを押すと表示が消えます。

Windows：
［**マイコンピュータ**］を開くと、製品名のドライブ名で認識されます。

Macintosh：
Mac OS に本機を接続すると、デスクトップ上に製品名のドライブ名で認識されます。

ご注意

・パソコンの USB ポートについては、ご使用のパソコンの取扱説明書をご覧ください。
・パソコンと接続すると、付属の USB 接続ケーブルから電源を供給します。本機に電池や AC アダプタからの電源供給は必要ありません。
・USB コネクタは奥まで確実に差し込んでください。正しく接続されていない場合、正常に動作しません。
・USB ハブを経由して本機を接続すると、動作が不安定になることがあります。この場合、USB ハブを使用しないでください。
・USB ケーブルは必ず付属の専用ケーブルをご使用ください。他社製品をご使用になった場合、動作の保証はできません。

パソコンから取り外す

Windows

1 画面右下のタスクバーの [ ] をクリックし、[**USB 大容量記憶装置デバイスードライブを安全に取り外します**] をクリックする

- ご使用のパソコンにより、ドライブのアルファベット表記が異なります。
- ハードウェアの取り外しウィンドウの表示の確認をしたら、ウィンドウを閉じてください。

2 本機の録音表示ランプが消灯していることを確認し、USB 接続ケーブルを外す

Macintosh

1 デスクトップに表示されている本機のリムーバブルアイコンを、ドラッグ&ドロップでゴミ箱に移動する

2 本機の録音表示ランプが消灯していることを確認し、USB 接続ケーブルを外す

ご注意

・録音表示ランプが点滅中は、絶対に USB 接続を取り外さないでください。データが破損するおそれがあります。

ファイルをパソコンに取り込む

録音したファイルをパソコン内のお好きなフォルダにコピーできます。

Windows

1. 本機をパソコンに接続する (☞ P.112)
2. エクスプローラを起動する
   - ［**マイコンピュータ**］を開くと、製品名のドライブ名で認識されます（ご使用のパソコンにより、ドライブのアルファベット表記が異なります）。
3. 製品名のドライブをクリックする
4. データをコピーする
5. 本機をパソコンから取り外す (☞ P.113)

Macintosh

1. 本機をパソコンに接続する (☞ P.112)
   - Mac OS に本機を接続すると、デスクトップ上に製品名のドライブ名で認識されます。
2. デスクトップの製品名のリムーバブルアイコンをダブルクリックする
3. データをコピーする
4. 本機をパソコンから取り外す (☞ P.113)

ご注意

- 本機の［**AM**］、［**FM**］［**TV**］、［**MUSIC**］、［**RECORDER**］や［**SYSTEM**］のデフォルトフォルダを削除しないでください。正常に動作しない場合があります。
- データ通信中は［**データ送信中**］と表示され、録音表示ランプが点滅します。録音表示ランプが点滅中は、絶対に USB 接続を取り外さないでください。データが破損するおそれがあります。

パソコンの外部メモリとして使う

本機はパソコンの外部メモリとして、パソコンからのデータ保存や読み出しにもご使用いただけます。
本機とパソコンを接続すれば、本機のデータをパソコンへ転送したり、パソコンに保存されたデータを本機に保存できます。

Windows

1. 本機をパソコンに接続する (☞ P.112)
2. エクスプローラを起動する
   - [**マイコンピュータ**] を開くと、製品名のドライブ名で認識されます (ご使用のパソコンにより、ドライブのアルファベット表記が異なります)。
3. 製品名のドライブをクリックする
4. データをコピーする
5. 本機をパソコンから取り外す (☞ P.113)

Macintosh

1. 本機をパソコンに接続する (☞ P.112)
   - Mac OS に本機を接続すると、デスクトップ上に製品名のドライブ名が認識されます。
2. デスクトップの製品名のリムーバブルアイコンをダブルクリックする
3. データをコピーする
4. 本機をパソコンから取り外す (☞ P.113)

ご注意

- 本機の [**AM**]、[**FM**]、[**TV**]、[**MUSIC**]、[**RECORDER**] や [**SYSTEM**] のデフォルトフォルダを削除しないでください。正常に動作しない場合があります。
- データ通信中は [**データを送信中**] と表示され、録音表示ランプが点滅します。録音表示ランプが点滅中は、絶対に USB 接続を取り外さないでください。データが破損するおそれがあります。

警告表示一覧

表示	詳細	解決方法
電池残量がありません	電池残量がない。	新しい電池に交換するか、充電してください（☞ P.19、P.25）。
ファイルがありません	フォルダ内にファイルがない。	他のフォルダを選び直してください（☞ P.64）。
ファイル件数がいっぱいです	フォルダ内のファイル件数が最大数（200）になっている。	必要のないファイルを消去してください（☞ P.67）。
フォルダ件数がいっぱいです	すべてのフォルダ件数の合計が最大数(ラジオ・ワンセグTVファイルは 20、ミュージックは 200）になっている。	必要のないフォルダを消去してください（☞ P.67）。
メモリがいっぱいです	メモリ残量がない。	必要のないファイルを消去してください（☞ P.67）。
これ以上記録できません（インデックス／テンプマークを付けるとき）	ファイル内でインデックス／テンプマークを最大数（99）まで使用している。	必要のないインデックス／テンプマークを消去してください（☞ P.62）。
ファイルロック中 消去できません	ファイルロックがかかっているファイルを消去しようとした。	ファイルロックを解除してください（☞ P.87）。
これ以上登録できません（放送局を登録するとき）	放送局リストの登録件数が最大数（20）になっている。	必要のない放送局の登録を消去してください（☞ P.50）。
既に登録されています	同じ放送局を登録しようとしている。	他の放送局を選び直してください（☞ P.85）。
メモリに異常があります	メモリに異常がある。	当社カスタマーサポートセンターにご連絡ください（☞ 裏表紙）。
microSD カードに異常があります	microSD カードが正しく認識されていない。	もう一度 microSD カードの抜き差しを行ってください（☞ P.29）。
電源に異常がありますケーブルを抜いてください	バスパワーに異常がある。	本機の電源を切って USB 接続ケーブルを抜き、再度接続してください。
USB バスパワー電圧不足です	バスパワーに異常がある。	本機の電源を切って USB 接続ケーブルを抜き、再度接続してください。
不正コピーされたファイルです	不正にコピーされた音楽ファイルです。	ファイルを消去してください（☞ P.67）。

表示	詳細	解決方法
初期化に失敗しました	初期化に問題があった。	メモリをもう一度初期化し直してください（☞ P.103、P.107）。
このファイルは再生できません	未対応フォーマットです。	本機で再生可能なファイルをご確認ください（☞ P.61）。
ファイルを選んでください	ファイルが選択されていない。	ファイルを選んでから操作してください（☞ P.56）。
移動できないフォルダです	同じフォルダに移動しようとしている。	別のフォルダを選んでください。
移動できないファイルがあります	移動先に同一ファイル名がある場合。	ファイルを選び直してください。
	ワンセグ TV で録音したファイルを移動しようとしている。	ワンセグ TV から録音したファイルは移動およびコピーができません。
分割できないファイルです	本機で録音した MP3 形式以外のファイルを分割しようとしている。	ファイルを選び直してください。
	ワンセグ TV で録音したファイルを分割しようとしている。	ワンセグ TV から録音したファイルは分割ができません。
受信できません	電波の状態が悪くワンセグ TV を受信できない。	窓際など受信状態の良い場所でご使用ください。
放送局リストの全消去はできません	ワンセグ TV の放送局リスト画面で最後の 1 件を消去しようとしている。	ワンセグ TV では放送局をすべて削除することはできません。

故障かな?と思ったら

症状	考えられる原因	対処方法
表示画面に何も表示されない	電池が正しく入っていない。	電池の ⊕ と ⊖ を確かめてください（☞ P.19）。
	電池残量がない。	電池を充電するか、新しい電池に交換してください（☞ P.19）。
	電源が切れている。	電源を入れてください（☞ P.21）。
	［**AM画面表示**］を［**OFF**］に設定した状態で、AM ラジオを受信している。	AM ラジオ受信中に、表示画面を点灯させる場合、［**AM画面表示**］の設定を［**ON**］にしてください（☞ P.82、P.83）。
操作できない	電池残量がない。	電池を充電するか、新しい電池に交換してください（☞ P.19）。
	電源が切れている。	電源を入れてください（☞ P.21）。
	ホールドがかかっている。	ホールドを解除してください（☞ P.28）。
時計の自動時計補正が働かない	NHK 第一放送が受信できていない。	窓際など受信状態の良い位置でご使用ください（☞ P.43）。
	NHK 第一放送を放送リストから消去している。	ＮＨＫ第一放送を登録し直してください（☞ P.82、P.84）。
	本機の時刻が現在の時刻と 5 分以上ずれている。	日付・時刻を合わせ直してください（☞ P.103、P.104）。
登録済みの放送局を選んでも受信できない	ケーブルテレビ局などの放送波を使ってアンテナステーションで放送局を登録した場合、外出先でイヤホンや FM ケーブルアンテナから通常の放送波を受信すると、その登録した周波数を使って受信することができません。	アンテナステーションで放送局を登録したあとに、外出先で受信するための放送局を新たに追加してください。本機の放送局リストには、最大 20 件まで登録できます（☞ P.82、P.84）。
ワンセグ TV の音声が途切れる	ワンセグ TV はデジタル放送のため、電波が弱くなると音声が途切れたり聞こえなくなります。	受信状態の良い位置で使用してください（☞ P.43）。
予約した番組が録音できない	本機の時刻が現在の時刻と合っていない。	日付・時刻を合わせ直してください（☞ P.103、P.104）。
	電波が弱くラジオの受信状態が良好ではない。	窓際など受信状態の良い位置で使用してください（☞ P.43）。
録音できない	メモリ残量がない。	必要のないファイルを消去してください（☞ P.67）。
	ファイル件数が最大記録件数になっている。	必要のないファイルを消去してください（☞ P.67）。

症状	考えられる原因	対処方法
音が聞こえない	イヤホンが接続されている。	内蔵スピーカで再生する場合、イヤホンを取り外してください。
	［**本体スピーカ出力**］の設定が［**スピーカ OFF**］になっている。	内蔵スピーカで再生する場合、［**本体スピーカ出力**］の設定を［**スピーカ ON**］にしてください（☞ P.99、P.102）。
	受信周波数が合っていない。	登録した放送局リストから選ぶか、AM/FM ラジオ受信時は周波数を合わせてください（☞ P.44、P.48）。
	音量が［**0**］になっている。	ボリュームを調整してください（☞ P.45）。
	モノラルミニプラグ（2 極）、ステレオミニプラグ（3 極）以外のイヤホンを使っている。	ご使用のイヤホンのプラグをご確認ください。
録音のレベルが小さい	マイク感度が低い。	マイク感度を［**高**］にしてもう一度録音してください（☞ P.91、P.92）。
	接続した外部機器の出力レベルの過少が考えられます。	外部機器の出力レベルを調整してください。
録音したファイルがステレオ録音されてない	接続した外部マイクがモノラルである。	外部モノラルマイクを接続して録音すると、L チャンネルのみに音声が録音されます。
	［**録音音質**］の設定で、［**長時間音質**］を選んでいる。	［**録音音質**］の設定で、［**高音質**］を選ぶと、ステレオ録音できます（☞ P.91、P.92）。
録音したファイルがない	録音したフォルダではない。	録音した音源に合わせて、自動的に保存先が決まります。ラジオ / ワンセグ TV から録音したファイルは、［**ラジオファイル**］に保存されます。内蔵マイクから録音したファイルは、［**レコーダ**］に保存されます（☞ P.40）。
	違うメモリ（内蔵メモリまたは microSD カード）に保存している。	［**メモリ選択**］で使用しているメモリを確認してください（☞ P.103、P.104）。
雑音が入る	録音中に本機をこすったりした。	―――――
	電波が弱く受信状態が良くない場所で放送番組を受信・録音した。	窓際など受信状態の良い位置でご使用ください（☞ P.43）。
	自動車が通る道路の近くなどで、放送番組を受信・録音した。	AMラジオは特に周囲の状況により受信状態が左右されます。自動車やバイクのウィンカーやイグニッションなどで、ノイズが入ってしまうことがあります。
	テレビ、携帯電話や蛍光灯などの電化製品の近くで使用している。	電気製品から離れるか、これらの電源を切ってから使用してください。

症状	考えられる原因	対処方法
ファイルが消去できない	ファイルロックがかかっている。	ファイルロックを解除してください（☞ P.87）。
	読み取り専用ファイルである。	ファイルロックを解除するかパソコンで読み取り専用の設定を解除してください。
フォルダが消去できない	フォルダ内に本機で認識できないファイルがある。	パソコンに接続してフォルダを消去してください（☞ P.114）。
録音モニターでノイズが聞こえる	ハウリングを起こしています。	アンプ内蔵スピーカなどを接続している場合、録音中にハウリングを起こすことがあります。録音モニターはイヤホンのご使用をおすすめします。
		イヤホンとマイクの距離を離す、マイクをイヤホンの方向へ向けないなどの調整をしてください。
インデックス／テンプマークが付けられない	マーク件数が最大（99 件）になっている。	必要のないマークは消去してください（☞ P.62）。
	ファイルロックがかかっている。	ファイルロックを解除してください（☞ P.87）。
	読み取り専用ファイルである。	ファイルロックを解除するかパソコンで読み取り専用の設定を解除してください。
転送したファイルが見えない	フォルダ内のファイル件数が 200 件を超えている。	必要のないファイルを消去してください（☞ P.67）。
予約機能が作動しない	日時がずれている	［**時計設定**］機能で現在時刻を合わせてください（☞ P.103、P.104）。
	登録リストにない放送局を設定している	放送局を登録してください（☞ P.82、P.84）。
	使用しているメモリの空き容量がない	必要のないファイルを消去してください（☞ P.67）。
	本機とパソコンを接続している	パソコンとの接続を解除してください（☞ P.113）。
ワンセグ TV で今まで受信できた放送局が受信できない	放送局（中継局）側で放送の送信周波数が変更される場合があり、変更後はそのままのチャンネル設定では受信できなくなります。	チャンネルを設定しなおしてください（☞ P.82、P.84）。
充電ができない	［**電池設定**］の設定が［**アルカリ電池**］になっている。	付属の充電池をご使用の上、電池設定を［**ニッケル水素電池**］にしてください。また、充電池の推奨温度範囲外でのご使用はおやめください（☞ P.27、P.103、P.104）。

アクセサリー（別売）

オリンパス製 IC レコーダー専用のアクセサリーは、当社 Web サイトの「オンラインショップ」で直接ご購入いただけます。http://shop.olympus-imaging.jp/index.html

単 4 形ニッケル水素充電池：BR404
持続性に優れた高性能充電池です。

ステレオマイクロホン：ME51SW
大口径マイク内蔵で、高感度のステレオ録音が可能です。

モノラルマイクロホン（単一指向性）：ME52W
周囲のノイズの影響を軽減して、離れた場所の音を録音したい場合に使用します。

コンパクトズームマイクロホン：ME32
三脚と一体化しているので、テーブルに設置して会議や講義など離れた場所の音を録音したい場合に適しています。

モノラルタイピンマイク（全指向性）：ME15
タイピン型ホルダー付きの目立たない小型マイクです。

AM ループアンテナ：AN1
微弱な遠距離 AM 局からの受信を補助します。ノイズに強い同軸ケーブル（5m）を採用。コンパクトな構造で設置・取り付けは簡単にできます。

テレホンピックアップ：TP8
イヤホン型マイクを耳に入れてそのまま通話。電話の声や会話を明瞭に録音できます。

コネクティングコード：KA333
両端がステレオミニプラグ（φ 3.5）の抵抗入り接続コードです。イヤホン出力をライン入力に接続して録音する場合に使用します。モノラルミニプラグ（φ 3.5）、またはモノラルミニミニプラグ（φ 2.5）への変換プラグアダプタ（PA331/PA231）も同梱しています。

専用キャリングケース：CS147
PJ-30/PJ-35 専用のケースです。

用語の説明

用語	意味
インデックス／テンプマーク	ファイル中のどこにでも付けられる頭出し信号のことです。
音楽ファイル	CD やインターネット上から取り込んだ WMA（Windows Media Audio）、MP3（MPEG-1/MPEG-2 Audio Layer3）形式のファイルのことを音楽ファイルと呼びます。
ファイルロック	誤消去を防止するための機能で、各ファイルごとに設定可能です。
停止状態	本機が録音、再生などの動作をしていない状態を指します。
ビットレート	1 秒間あたりに処理されるデータ量のことです。圧縮率を示す数値が高いほど音質は良くなりますが、ファイルの容量は大きくなります。
フォーマット	初期化とも言います。
フォルダ	ファイルを分類して録音するための保管場所（入れ物）です。
メモリ（メディア）	記憶媒体のことで、電源が切れてもデータは消えない構造になっています。本書では内蔵メモリおよび microSD カードのことを指します。
VCVA	設定より大きな音を感知すると自動的に録音を開始し、音が小さくなると停止する音声起動録音の略称です。
BEEP（ビープ）音	ボタンを操作したときの確認音や警告音のことです。
USB 接続	本機とパソコンを接続するための方法です。接続にはパソコン側に USB 端子が必要です。

お手入れ

- **本機のお手入れ**
  柔らかい布でやさしく拭いてください。汚れがひどい場合は、うすめた低刺激のせっけん水に布を浸して、固く絞ってから、汚れを拭き取り、そのあと、乾いた布でよく拭いてください。
- **液晶モニタ**
  柔らかい布でやさしく拭きます。

ご注意

・ベンジンやアルコールなどの強い溶剤や化学雑巾は使わないでください。

主な仕様

本体

■ **記録形式：**
MP3 (MPEG-1/MPEG-2 Audio Layer3) 形式

■ **再生可能形式：**

ファイル形式	サンプリングレート	ビットレート
MP3	**MPEG1 Layer3**：32 kHz、44.1 kHz、48 kHz **MPEG2 Layer3**：16 kHz、22.05 kHz、24 kHz	8 kbps から 320 kbps まで
WMA	8 kHz、11 kHz、16 kHz、22 kHz、32 kHz、44.1 kHz、48 kHz	5 kbps から 320 kbps まで

■ **サンプリング周波数：**

録音音質	サンプリング周波数／ビットレート
［高音質］	44.1 kHz ／ 128 kbps
［長時間音質］	22.05 kHz ／ 48 kbps

■ **周波数特性：**
マイクジャック録音時：
［高音質］：40 Hz ～ 17 kHz
［長時間音質］：40 Hz ～ 9 kHz
内蔵ステレオマイク録音時：
90 Hz ～ 17 kHz
再生時：
20 Hz ～ 20 kHz

■ **ヘッドホン最大出力：**
1.2 mW + 1.2 mW (16 Ω負荷時)

■ **記録媒体：**
内蔵型 NAND FLASH メモリ (4 GB*)
microSD/microSDHC（32 GB まで対応）
＊ メモリ容量の一部を管理領域として使用しているため、実際に使用できる容量は少なくなります。

■ **スピーカ：**
φ23 mm 丸型ダイナミックスピーカ内蔵

■ **マイクジャック：**
φ 3.5 mm インピーダンス 2 kΩ

■ **イヤホンジャック：**
φ 3.5 mm インピーダンス 16 Ω以上

■ **スピーカ実用最大出力：**
280 mW (スピーカ 8 Ω)

■ **電源：**
規定電圧：3 V
電　　池：単 4 形乾電池 2 本 (LR03)
またはオリンパス製
ニッケル水素充電池 2 本

■ **外形寸法：**
118.5 mm × 50.8 mm × 17.9 mm
(最大突起部含まず)

■ **質量：**
110 g (電池含む)

■ **使用温度：**
0 ～ 42℃

■ **受信周波数：**
FM ラジオ：
76.0 MHz ～ 90.0 MHz
(0.1 MHz 間隔)
AM ラジオ：
531 kHz ～ 1,710 kHz
(9 kHz 間隔)
ワンセグ TV：
UHF 13 ch ～ 62 ch
(データ放送、緊急警報放送受信非対応)

アンテナステーション

CR19 (スピーカ付きアンテナステーション) :

■ **周波数特性 :**
再生時 :
100 Hz ～ 20 kHz

■ **スピーカ :**
ϕ 50 mm 丸型ダイナミックスピーカ

■ **スピーカ実用最大出力 :**
0.3 W + 0.3 W (スピーカ 8 Ω)
0.6 W + 0.6 W (Dirac Flat 使用時)

■ **電源 :**
規定電圧 : AC アダプタ 6 V

■ **外形寸法 :**
211 mm × 129.8 mm × 118 mm
(最大突起部含まず)

■ **質量 :**
670 g (アンテナステーションのみ)

CR18 (アンテナステーション) :

■ **電源 :**
規定電圧 : AC アダプタ 6 V

■ **外形寸法 :**
99 mm × 69.5 mm × 99.6 mm
(最大突起部含まず)

■ **質量 :**
280 g (アンテナステーションのみ)

■ **同梱品 :**
本体／アンテナステーション (CR19/CR18) ／AC アダプタ／AM ループアンテナ／ FM ケーブルアンテナ／ TV アンテナ／単 4 形ニッケル水素充電池 2 本／ USB 接続ケーブル／イヤホン／取扱説明書 (保証書付) ／かんたんガイド

録音時間 (めやす)

■ **内蔵メモリ (4 GB) :**

[高音質]	65 時間
[長時間音質]	175 時間

■ **microSD カード (1 GB) :**

[高音質]	16 時間
[長時間音質]	43 時間

■ **microSD カード (2 GB) :**

[高音質]	32 時間
[長時間音質]	87 時間

■ **microSD カード (4 GB) :**

[高音質]	64 時間
[長時間音質]	171 時間

■ **microSD カード (8 GB) :**

[高音質]	132 時間
[長時間音質]	352 時間

■ **microSD カード (16 GB) :**

[高音質]	264 時間
[長時間音質]	700 時間

■ **microSD カード (32 GB) :**

[高音質]	530 時間
[長時間音質]	1410 時間

ご注意

・上記の値はあくまでめやすです。
・小刻みに録音を繰り返すと、録音可能時間がこれより短くなることがあります (録音可能時間および録音時間表示はめやすとしてご使用ください)。

1 ファイルあたりの最長録音時間 * :

[高音質]	約 74 時間 30 分
[長時間音質]	約 198 時間

* [**ラジオ予約**] 機能で録音した場合は最大 23 時間 59 分となります。

電池持続時間（めやす）

■ **レコーダーモード：**

内蔵ステレオマイク録音時

録音音質	アルカリ電池	ニッケル水素充電池
［高音質］	約 34 時間	約 23 時間
［長時間音質］	約 37 時間	約 26 時間

■ **ラジオファイルモード / レコーダーモード：**

ファイル再生時

再生状況	アルカリ電池	ニッケル水素充電池
イヤホン再生時	約 48 時間	約 33 時間
スピーカ再生時	約 14 時間	約 11 時間

■ **ラジオモード：**

ワンセグ TV 受信時

再生状況	アルカリ電池	ニッケル水素充電池
イヤホン再生時	約 17 時間	約 12 時間

AM ラジオ受信時

再生状況	アルカリ電池	ニッケル水素充電池
イヤホン再生時	約 20 時間	約 16 時間

FM ラジオ受信時

再生状況	アルカリ電池	ニッケル水素充電池
イヤホン再生時	約 26 時間	約 19 時間

ワンセグ TV 録音時

アルカリ電池	約 10 時間
ニッケル水素充電池	約 9 時間

AM ラジオ録音時

アルカリ電池	約 16 時間
ニッケル水素充電池	約 12 時間

FM ラジオ録音時

アルカリ電池	約 17 時間
ニッケル水素充電池	約 12 時間

ご注意

・上記の値はあくまでめやすです。
・電池持続時間は当社試験法によるものです。使用電池、使用条件により大きくかわります。

本機の仕様および外観は性能改良などのため、予告なく変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。

NHK 第一放送（周波数リスト）

地　方	都府県	地　域	周波数
北海道	札　幌	札幌	567 kHz
		札幌大通り	567 kHz
		小樽	567 kHz
	函　館	函館	675 kHz
		江差	792 kHz
	旭　川	旭川	621 kHz
		遠別	792 kHz
		名寄	837 kHz
		稚内	927 kHz
	帯　広	帯広	603 kHz
	釧　路	釧路	585 kHz
	北　見	北見	1,188 kHz
		網走	1,188 kHz
	室　蘭	苫小牧	945 kHz
		室蘭	945 kHz
東　北	青　森	青森	963 kHz
		八戸	999 kHz
	岩　手	盛岡	531 kHz
		釜石	846 kHz
	宮　城	仙台	891 kHz
	秋　田	秋田	1,503 kHz
	山　形	山形	540 kHz
		米沢	1,026 kHz
		鶴岡	1,368 kHz
	福　島	郡山	846 kHz
		会津若松	1,161 kHz
		福島	1,323 kHz
		いわき	1,341 kHz

地　方	都府県	地　域	周波数
関　東	茨　城	水戸	594 kHz
		土浦	594 kHz
	栃　木	那須	594 kHz
		宇都宮	594 kHz
	群　馬	前橋	594 kHz
	埼　玉	さいたま	594 kHz
	千　葉	千葉	594 kHz
	東　京	東京	594 kHz
	神奈川	横浜	594 kHz
北陸・甲信越	新　潟	高田	792 kHz
		新潟	837 kHz
		魚沼	1,368 kHz
	富　山	富山	648 kHz
	石　川	七尾	540 kHz
		金沢	1,224 kHz
	福　井	福井	927 kHz
	山　梨	甲府	927 kHz
		富士吉田	1,584 kHz
	長　野	松本	540 kHz
		飯田	621 kHz
		長野	819 kHz
		木曽福島	981 kHz
東　海	岐　阜	岐阜	729 kHz
		高山	792 kHz
		中津川	1,161 kHz
	静　岡	浜松	576 kHz
		静岡	882 kHz
		三島	1,161 kHz
	愛　知	名古屋	729 kHz
		豊橋	1,161 kHz
	三　重	津	729 kHz

地　方	都府県	地　域	周波数
近　畿	滋　賀	彦根	945 kHz
	京　都	舞鶴	585 kHz
		京都	621 kHz
	大　阪	大阪	666 kHz
	兵　庫	神戸	666 kHz
	奈　良	奈良	666 kHz
	和歌山	和歌山	666 kHz
中　国	鳥　取	米子	963 kHz
		鳥取	1,368 kHz
		倉吉	1,026 kHz
	島　根	松江	1,296 kHz
		浜田	1,026 kHz
	岡　山	岡山	603 kHz
		津山	927 kHz
		新見	1,341 kHz
	広　島	広島	1,071 kHz
		福山	999 kHz
		三次	1,584 kHz
	山　口	岩国	585 kHz
		山口	675 kHz
		下関	1,026 kHz
		萩	963 kHz
四　国	徳　島	徳島	945 kHz
		池田	1,161 kHz
	香　川	高松	1,368 kHz
	愛　媛	新居浜	531 kHz
		宇和島	846 kHz
		松山	963 kHz
	高　知	高知	990 kHz
		四万十	999 kHz

地　方	都府県	地　域	周波数
九州・沖縄	福　岡	北九州	540 kHz
		福岡	612 kHz
		久留米	612 kHz
	佐　賀	佐賀	963 kHz
	長　崎	長崎	684 kHz
		五島	945 kHz
		佐世保	981 kHz
	熊　本	熊本	756 kHz
		人吉	846 kHz
		阿蘇	1,503 kHz
		水俣	1,341 kHz
	大　分	大分	639 kHz
	宮　崎	宮崎	540 kHz
		延岡	621 kHz
		日南	1,341 kHz
		高千穂	1,584 kHz
	鹿児島	鹿児島	576 kHz
		名瀬	792 kHz
		阿久根	1,026 kHz
		大口	1,503 kHz
	沖　縄	石垣	540 kHz
		那覇	549 kHz
		与那国	549 kHz
		竹富祖納	549 kHz

索引

記号

+ーボタン 13, 45, 56
▶▶I/I◀◀ ボタン 13, 23, 59
▲▼ボタン 13, 22
▶OK ボタン 13, 22, 56

アルファベット

A
A-B ボタン 13, 63
A-B リピート再生 63, 96
AC アダプタ 31
AM 画面表示 82, 83
AM ループアンテナ 31
D
Dirac HD 94, 97
DRM 111
F
FM ケーブルアンテナ 31
FM モード 82, 83
L
LED 99, 100
M
microSD/SDHC カード 29
microSD カード /USB 端子カバー 13, 26, 112
microSD カードスロット 13, 29
O
OFF タイマー 81
T
TV 二重音声 82, 86
U
USB 端子 13, 26, 112
V
VCVA 設定 91, 93, 122

あ

アンテナステーション 31
アンテナステーション出力 99, 102
アンテナ入力 82, 86

い

イコライザ 94, 96
イヤホンジャック 13, 47
インデックスボタン 13, 62
イントロ再生 99, 102

お

オート登録 84
遅聞きボタン 13, 60
音楽ファイル 61, 122
音声ガイド 23, 99, 101
音量 56, 101

か

外部マイク 54
カレンダー検索 64, 65

け

現在の局を登録 85

こ

コントラスト 99, 100

さ

再生 56
再生スピードダイヤル 14, 60
再生設定 94
再生範囲 95
再生モード 94, 95
サンプリングレート 61

し

しおり機能 94, 98
システム情報 103, 109
シャドーイング 94, 96
消去ボタン 13, 50, 67, 76
初期化 103, 107
初期設定 22
新規予約 69

す

スキャン感度 82, 83
少し進むボタン 14, 59, 94, 97
少し戻るボタン 13, 59, 94, 97
ストラップ取り付け部 13, 18
すべて（ファイル検索） 64, 66
スリープ 103, 104

せ

設定ボタン
..... 13, 82, 87, 91, 94, 99, 103
設定リセット 103, 106

た

ダイレクトボタン（1 ～ 5） 50

ち

地域で登録 23, 84

て

停止（■）ボタン 13, 51, 56
テレビ受信用アンテナ 34
電源／ホールドスイッチ 13, 21, 28
電池カバー 13, 19
電池充電 25
電池設定 22, 103, 104
電池表示 15, 16, 17, 20
テンプマーク 62

と

動作環境 110
時計設定 22, 103, 104
時計補正設定 23, 103, 105

な

内蔵ステレオマイク 13, 51, 91, 92
内蔵スピーカ 13, 99, 102

の

ノイズフィルタ 82, 83

は

バックライト 99, 100
早聞きボタン 13, 60

ひ

ビープ音 99, 100
ビットレート 53, 61, 122
表示画面 15, 16, 17

ふ

ファイル移動／コピー 88
ファイル検索 64
ファイル設定 87
ファイル分割 89
ファイルロック 87

ほ

放送局登録 82, 84
放送局リスト 45
ホールド 28
保存先 40
本体スピーカ出力 99, 102
本体設定 103

ま

マイク感度 91, 92
マイクジャック 13, 54
マルチチャンネル 49

み

未再生検索（ファイル検索） 64, 65

め

目覚まし 77
メモリ 122
メモリ情報 103, 108
メモリ選択 103, 104

も

戻る / リストボタン 13, 45, 56

よ

予約一覧 / 変更 72
予約録音 69, 74, 76

ら

ラジオ設定 82
ラジオ /TV/ 予約（）ボタン 13, 36, 44, 54, 69
ラジオファイル（）ボタン 13, 36, 56
ランダム再生 95

り

リピート再生 95

れ

レコーダー（）ボタン 13, 36, 51

ろ

録音 51
録音音質 82, 85, 91, 92
録音終了時間 54
録音設定 91
録音表示ランプ 13, 51, 52, 113
録音ファイル 40, 51, 53
録音（●）ボタン 13, 51

わ

ワンセグ TV 44

<保証規定>

1. この保証書は、取扱説明書、品質表示ラベル等の注意書に従った正常なお取扱いにより発生した故障に対して、お買い上げ日から満一年間、当社が無料修理の責任を負うことを保証するものです。
2. 有効期間内に故障して無料修理を受けられる場合は、商品と本書をご持参ご提示の上、お買い上げの販売店又は別紙の当社サービスステーションに依頼してください。当社では本機の補修用修理部品は、製造打ち切り後 6 年間をめやすに保有しており、期間中は原則として修理をお受けいたします。期間後でも修理可能の場合もありますのでお問い合わせください。
3. 販売店、または当社サービスステーションにご持参いただくに際しての諸費用は、お客様にご負担願います。製品を送る場合は、必ず書留小包または宅配便をご利用ください。また販売店と当社間の運賃諸掛につきましては、輸送方法によって（問屋便以外を使用した場合）一部ご負担いただく場合があります。
4. ご転居、ご贈答品等でお買い上げ販売店に依頼できない場合は、最寄りの当社サービスステーションにお問い合わせください。
5. この保証書は、本書に明示した期間、条件の元において無料修理をお約束するものです。従って、この保証書は、オリンパスイメージング株式会社、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
6. 本製品の故障に起因する付随的損害（録音、再生に要した諸費用及び録音、再生により得べかりし利益の損失等）については保証致しかねます。
7. 保証期間内でも次のような場合には有料修理になります。
   - イ. ご使用上の誤り及び当社サービスステーション及び指定する修理取扱い所以外で行われた修理・改造・分解・掃除等による故障。
   - ロ. お買い上げ後の輸送、落下等による故障及び損傷。
   - ハ. 火災・異常電圧・地震・水害・落雷・公害・その他、天災・地変による破損又は故障。
   - ニ. 本書のご提示がない場合。
   - ホ. 本書にお買い上げ年月日、シリアル No.、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
   - ヘ. 電池等の消耗品による故障。
8. 保証の対象は本体のみです。

<保証書取扱い上の注意>

本書は日本国内においてのみ有効です。（THIS WARRANTY CARD IS VALID ONLY IN JAPAN）
販売店名およびお買い上げ年月日が記載されていることを確認してください。記入もれがあった場合は直ちにお買い上げの販売店にお申し出ください。

<保証責任者・保証履行者>

オリンパス イメージング株式会社
〒 192-8507 東京都八王子市石川町 2951

保証書

本書は、本書記載内容で無料修理を行なうことをお約束するものです。お買い上げの日から 1 年以内に故障した場合は本書をご提示の上お買い上げの販売店または当社サービスステーションに修理をご依頼ください。

	無料修理保証期間	部 品 代	修 理 工 料
本 体	1 年	無 料	
品 名	ラジオサーバーポケット	型 名	**PJ-30 / PJ-35**
シリアルNo.		お買い上げ日	年 月 日
販 売 店 名			

無 効

OLYMPUS

オリンパス イメージング株式会社
〒192-8507 東京都八王子市石川町2951

● ホームページによる情報提供について

製品仕様・パソコンとの接続、OS対応の状況、Q&A等の各種情報を当社ホームページで提供しております。
また、オンライン修理受付の詳細やインターネットでのお申し込み、修理に関するお問い合わせ先（修理センター、国内サービスステーションなど）、カスタマーサポートセンターの営業日・営業時間につきましても当社ホームページで最新情報をお知らせしております。
オリンパスホームページ http://www.olympus.co.jp/ から「お客様サポート」のページをご参照ください。

● 製品に関するお問い合わせ先（カスタマーサポートセンター）

フリーコール **0120-084215**

携帯電話・PHSからは042-642-7499

FAX 042-642-7486

調査等の都合上、回答までにお時間をいただく場合がありますので、ご了承ください。

便利でお得なサービスメニューをご用意しています。

● オンライン修理受付のご案内

オンライン修理受付では、インターネットを利用して修理のお申し込みや修理の状況をご確認いただけます。また、下記にご案内しておりますピックアップサービス（引取修理）もオンライン修理受付からお申し込みいただけます。

● ピックアップサービス（引取修理）のご案内

オリンパス指定の運送業者が、梱包資材を持ってお客様のご指定の日時にご自宅へお伺いし、故障した製品をお預かりします。
お客様自身での梱包は不要です。その後弊社にて修理完成後、お客様のご自宅へ返送いたします。

電話でのお申し込みの場合：「オリンパス修理ピックアップ窓口」

0120-971995

営業時間：平日 8：00～21：00
土・日・祭日 9：00～17：00（指定休業日を除く）

※ 記載内容は変更されることがあります。

J1-BS1372-01 AP1306